

京都市子どもの生活状況等に関する調査

【結果報告書】

平成29年3月

京都市

目次

I 調査概要

- 1 調査の目的
- 2 調査概要
 - (1) 調査対象
 - (2) 調査方法等
 - (3) 調査件数・回収率
 - (4) 調査期間
- 3 調査結果の表示方法

II 調査結果

- 1 回答者の基本属性・世帯類型
 - (1) 世帯の基本属性 <問3～4>
 - ア 世帯構成
 - イ 世帯の可処分所得等<乳幼児：問25～28，小学生，中学生等：問31～34>
 - ウ 住居の状況 <問6>
 - (2) 保護者の基本属性
 - ア 子どもから見た統柄，年齢，障害の有無 <問1，問5>
 - イ 保護者の最終学歴 <問5>
 - (3) 子どもの基本属性
 - ア 子どもの性別，障害の有無 <問5>
 - イ 平日日中の保育等の利用状況【乳幼児のみ】 <乳幼児：問7>
 - ウ 学校教育機関等の在籍状況【小学生・中学生等のみ】 <小学生，中学生等：問8>
- 2 世帯の生活状況
 - (1) 保護者の就労状況 <乳幼児：問23，小学生，中学生等：問29>
 - ア 就業状況（仕事の有無，職業，今後の就業意向）
 - イ 勤務状況（日数，出勤時間，帰宅時間，労働時間）
 - (2) 暮らし向きに関する認識 <乳幼児：問24，小学生，中学生等：問30>
 - (3) 各種料金未払い等の状況<乳幼児：問29，小学生，中学生等：問35>
- 3 子どもの状況について
 - (1) 子どもの学力・学習等の状況
 - ア 学習塾や習い事の利用状況 <乳幼児：問8，小学生，中学生等：問11>
 - イ 学校での勉強の成績【小学生・中学生等のみ】 <小学生，中学生等：問9>
 - ウ 登校状況【小学生・中学生等のみ】 <小学生，中学生等：問10>
 - (2) 子どもの健康・生活習慣の状況
 - ア 食事の状況（朝食・夕食の状況，料理・外食等の頻度）
<乳幼児：問13～14，小学生，中学生等：問15～16>

- イ 起床・就寝時間 <乳幼児：問１２，小学生，中学生等：問１４>
- ウ むし歯の状況 <乳幼児：問１１，小学生，中学生等：問１３>
- エ 健康状態，身長・体重，健康診査の受診状況【健康状態以外は乳幼児のみ】
<乳幼児：問７，１０，小学生，中学生等：問７>
- オ 所有物（自分一人で使うものとして持っているもの）
<乳幼児：問１５，小学生，中学生等：問１７>
- カ テレビやスマートフォン等の使用時間
<乳幼児：問１６，小学生，中学生等：問１８>
- キ 放課後又は長期休業中の過ごし方【小学生・中学生等のみ】
<小学生，中学生等：問１９>
- ク 文化芸術活動・自然体験・スポーツ活動の機会・読書の状況【文化芸術等は小学生・中学生のみ】<乳幼児：問１７，小学生，中学生等：問２０～２１>
- (３) 子どもの自己肯定感【小学生・中学生等のみ】<小学生，中学生等：問２２>

４ 保護者の状況について

- (１) 保護者の健康状態 <問５>
- (２) 子どもと遊ぶ頻度（中学生等は話す頻度）・勉強を教える頻度【小学生・中学生等のみ】
<乳幼児：問１８，小学生，中学生等：問２３～２４>
- (３) 子どもに望む最終学歴，子育てにかかる時間やお金等の優先度
<乳幼児：問１９～２０，小学生，中学生等：問２５～２６>
- (４) 相談相手の状況<乳幼児：問２１，小学生，中学生等：問２７>
- (５) 悩んでいること <乳幼児：問３０，小学生，中学生等：問３６>
- (６) 町内会への加入状況 <乳幼児：問２２，小学生，中学生等：問２８>

５ 支援策について

- (１) 各種支援策の利用状況 <乳幼児：問９，小学生，中学生等：問１２>
- (２) 求めている子育て支援策 <乳幼児：問３１，小学生，中学生等：問３７>

<参考資料>

- ・ お住まいの行政区 <問２>
- ・ 世帯員の人数及び世帯員のうち１８歳までの子どもの数 <問３－１>
- ・ 登校状況について，「学校を休みがちである」と回答された方の休みがちになった時期
<小学生，中学生等：問１０－２>
- ・ 夕食をつくる頻度について，「月に数日（休日など）」又は「ほとんどつづらない」と回答された方の最も多い食事の内容 <乳幼児：問１４－２，小学生，中学生等：問１６－２>
- ・ 保護者の就労状況について，「今は働いていないがそのうち働きたい」と回答された方の仕事をしていない理由 <乳幼児：問２３－１，小学生，中学生等：問２９－１>
- ・ 市民アンケート調査における自由記載欄の回答内容

I 調査概要

１ 調査の目的

京都市では，貧困家庭の子どもや青少年に関する問題に対し，教育の支援，生活の支援，保護者に対する就労の支援，経済的支援を中心とした，多岐にわたる施策を全庁一丸となって融合・実施するため，平成２８年４月１日付けで「貧困家庭の子ども・青少年対策プロジェクトチーム」を設置しています。

この度，次代を担う子どもたちが，健やかに育っていくための今後の支援策を検討するため，貧困状態にある家庭だけでなく，貧困状態にない家庭も含めて，お子さんのおられる御家庭の様子，保護者の就労の状況，子育てについての困りごとなどをお伺いし，家庭の経済状況と子どもの生活習慣等との相関関係を把握することを目的として，「京都市子どもの生活状況等に関する調査」を実施しました。

２ 調査概要

(１) 調査対象

京都市内の０～１７歳（平成２８年４月１日時点）の子どもがいる家庭

なお，調査は，乳幼児（０～５歳），小学生（６～１１歳），中学生等（１２～１７歳）がいる家庭に区分して実施しました。（以下，調査の区分は「乳幼児」，「小学生」，「中学生等」と表示します。）

(２) 調査方法等

各家庭の経済状況のほか，生活の状況，教育の状況，家族や地域との関わりなど，家庭の「子育て力」の実態や，家庭が抱える悩み・課題等を把握するための調査票を住民基本台帳から無作為抽出した子育て世帯に郵送し，同封の返信用封筒にて返送いただきました。

なお，回答いただく際に，氏名・住所の記載を求めない無記名式の調査としました。

(３) 調査件数・回収率

１８，０００件

区分	配布数	有効回収数	有効回収率
乳幼児（０～５歳）	６，０００	３，２４８件	５４．１％
小学生（６～１１歳）	６，０００	２，８８９件	４８．２％
中学生等（１２～１７歳）	６，０００	２，６４２件	４４．０％
合 計	１８，０００	８，７７９件	４８．８％

(４) 調査期間

平成２８年８月５日から平成２８年８月２２日まで

【参考１】本市の支援施策を利用されている方に対するアンケート調査

「無作為抽出による市民アンケート調査」とは別に、支援を要する子どもや家庭の実態をより多く把握するため、本市の支援施策を利用されている方に対するアンケート調査を実施しました。

(１) 調査対象 ①子どものいる生活保護受給世帯、②児童扶養手当受給世帯

(２) 調査方法等

「無作為抽出による市民アンケート調査」調査票から収入に関する設問を削除した調査票を、無作為に抽出（市民アンケート調査と重複しないよう抽出）した世帯に郵送し、同封の返信用封筒にて返送いただきました。

なお、「無作為抽出による市民アンケート調査」と同様、無記名式の調査としました。

(３) 対象件数 ①②それぞれ３００件ずつ抽出し、合計６００件について実施

	配布数	有効回収数	有効回収率
生活保護受給世帯	３００	７４件	２４．７％
児童扶養手当受給世帯	３００	１０９件	３６．３％
合 計	６００	１８３件	３０．５％

(４) 調査期間

平成２８年８月９日から平成２８年８月２９日まで

３ 調査結果の表示方法

- ・ 回答は各質問の回答者数（ｎ）を基数とした百分率（％）で示しています。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が１００．０％にならない場合があります。

- ・ 複数回答（複数の選択肢から２つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。

このため、合計が１００．０％を超える場合があります。

- ・ クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。

なお、クロス集計とは、複数項目の組合せで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

- ・ 「本市の支援施策を利用されている方に対するアンケート調査」については、「無作為抽出による市民アンケート調査」と調査対象及び回答者数の母数が異なるため、本報告書内では参考として掲載しています。

【参考２】 本調査において世帯の所得が「貧困線」を下回るとする基準の算定方法

国においては、国民生活基礎調査を基に、世帯人数ごとの等価可処分所得（可処分所得（いわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割ったもの）の分布の中央値の半分の額を繋いだ「貧困線」とし、これを基に全国の貧困率を算出しています。一方、貧困線の都道府県、市町村別の数値が出されていないため、本調査においては、便宜的に、国が国民生活基礎調査により算出した全国の貧困線を基に、回答いただいた世帯がおおむね相対的貧困の状況にあると考えられるかどうかを判断することとしました。

また、国の貧困線算定に当たっての所得の把握方法としては、回答者が金額を記入する方式を採っていますが、京都市の調査では、回答いただく方の負担を考慮し、１００万円から２００万円単位で区分した金額の選択肢から選んでいただく方式により、概ねの可処分所得を把握することとしました。

◆ 貧困線の基準（国の基準（２５年度国民生活基礎調査による））

世帯人員	１人	２人	３人	４人	５人	６人	７人
等価可処分所得	122万円	173万円	212万円	244万円	273万円	299万円	323万円

※等価可処分所得：手取りの収入（可処分所得）を世帯人員の平方根で除したもの

◆ 本市における「貧困線」以上・以下の判定方法

アンケート調査で回答いただく収入の選択肢には幅がある（①０～１００万円、②１０１～２００万円・・・など）ため、回答いただいた選択肢の中央値を所得額と仮定して判定

（例）手取りの収入（可処分所得）を「２０１～３００万円」と回答した３人世帯の場合と２人世帯の場合

- ・ 手取りの収入の算定：選択肢における収入幅の中央値の２５０万円と仮定

- ・ 「貧困線」以上・以下の判定

等価可処分所得：２５０万円÷「√３」＝１４４．３万円＜２１２万円（３人世帯の貧困線）

⇒当該世帯は、「貧困線」以下にあると推計

：２５０万円÷「√２」≒１７７．１万円＞１７３万円（２人世帯の貧困線）

⇒当該世帯は、「貧困線」以上にあると推計

Ⅱ 調査結果

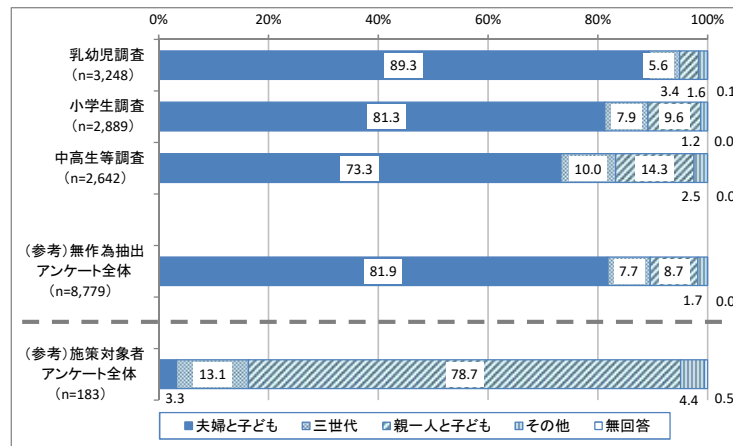
1 回答者の基本属性・世帯類型

(1) 世帯の基本属性

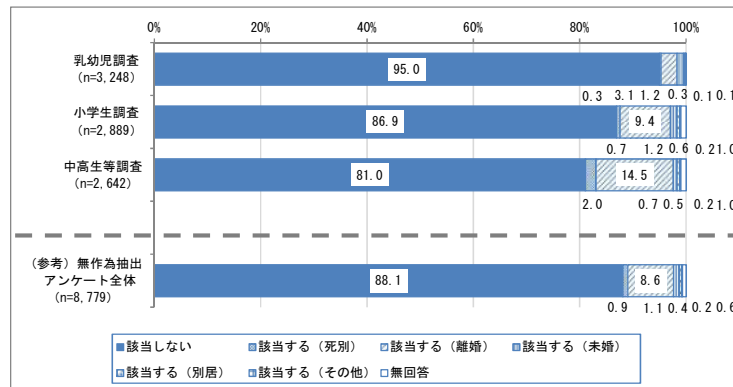
ア 世帯構成

- 世帯の構成については、「夫婦と子ども」が最も高くなっています。
- 「ひとり親世帯」（「死別」＋「離婚」＋「未婚」＋「別居」の合計）の割合は、子どもの年齢が上がるほど、高くなっています。

図表 1 世帯構成



図表 2 「ひとり親世帯」該当の有無



イ 世帯の可処分所得等

- 昨年1年間に所得のあった世帯員については、乳幼児、小学生、中学生等のいずれも「父親」の所得のあった割合が最も高くなっています。また、「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」では、全体的に「母親」の割合が高くなっています。
- 所得の種類については、乳幼児、小学生、中学生等のいずれも「給与所得」の割合が他の所得の割合より高くなっています。また、「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」では「給与所得」の割合がやや低く、「児童扶養手当」の割合が高くなっています。
- 可処分所得については、乳幼児、小学生では、「301万円～400万円」の割合が21.7%、16.6%と最も高く、次いで「401万円～500万円」が17.3%、15.5%と高くなっています。中学生等では、「301万円～400万円」、「401万円～500万円」、「601万円～800万円」の割合がいずれも13.4%～13.5%と最も高くなっています。一方、「ひとり親世帯」では、「0円～100万円」の割合が乳幼児28.8%、小学生19.4%、中学生等17.7%、「101万円～200万円」が乳幼児23.8%、小学生28.9%、中学生等30.1%となっています。
- 保護者の就労状況別の可処分所得の区分について、「正社員×正社員」では乳幼児、小学生、中学生等のいずれも「601万円～800万円」が最も高くなっている一方で、「正社員×パート等」や「専業主婦（夫）」では、乳幼児や小学生は「301万円～400万円」、中学生等では、「401万円～501万円」（正社員×パート等）や「601万円～801万円」（専業主婦（夫））の割合が高くなっています。
- 本調査において、所得が「貧困線」を下回ると考えられる世帯の割合について、全体では、乳幼児11.1%、小学生13.1%、中学生等15.6%となっていますが、「ひとり親世帯」では乳幼児53.1%、小学生49.4%、中学生等48.2%となっています。

図表 3 所得のあった世帯員

(単位: %)

	母親	父親	祖母	祖父	本人	きょうだい	その他	無回答
乳幼児調査 (n=3,248)	49.4	90.3	2.5	2.2	0.0	0.3	0.7	4.2
うち ひとり親世帯 (乳幼児) (n=160)	67.5	6.9	10.6	10.6	0.0	0.6	6.3	16.9
うち 貧困線以下の所得の 世帯(乳幼児) (n=360)	53.3	66.9	5.6	4.2	0.0	0.6	2.8	7.2
小学生調査 (n=2,889)	60.9	84.8	2.1	1.6	0.0	1.3	0.9	3.8
うち ひとり親世帯 (小学生) (n=350)	76.6	8.9	5.1	4.3	0.0	2.3	5.1	11.1
うち 貧困線以下の所得の 世帯(小学生) (n=379)	68.9	48.3	3.2	2.6	0.0	2.9	2.9	5.3
中高生等調査 (n=2,642)	69.7	79.2	2.0	1.5	1.8	9.6	0.9	4.0
うち ひとり親世帯 (中高生等) (n=475)	74.9	9.7	3.2	3.2	3.8	9.1	4.0	9.5
うち 貧困線以下の所得の 世帯(中高生等) (n=411)	74.2	38.2	1.7	1.2	2.7	8.0	2.9	6.8
(参考) 無作為抽出 アンケート全体 (n=8,779)	59.3	85.1	2.2	1.8	0.5	3.5	0.8	4.0
(参考) ひとり親世帯全体 (n=985)	74.3	8.9	5.1	4.8	1.8	5.3	4.8	11.3
(参考) 貧困線以下の所得 の世帯全体 (n=1,150)	65.9	50.5	3.4	2.6	1.0	4.0	2.9	6.4
(参考) 施策対象者 アンケート全体 (n=183)	71.6	3.3	4.4	3.3	3.3	5.5	3.3	20.2

図表 4 所得の種類

(単位: %)

	給与所得	財産による所得	公的年金 恩給	企業年金 個人年金等	雇用保険・失業 手当	児童手当	児童扶養手当	特別児童扶養 手当	生活保護	その他の社会保 険給付金	親 親族からの仕 送り	元夫・元妻か らの養育費	その他の所得	いずれも該当 しない	無 回 答
乳幼児調査 (n=3,248)	96.2	7.1	1.6	0.5	2.8	66.3	8.0	1.7	0.8	2.2	1.9	0.6	2.4	0.2	1.0
うち ひとり親世帯 (乳幼児) (n=160)	77.5	3.8	6.9	1.3	1.9	63.1	50.6	3.1	12.5	1.3	3.1	9.4	1.9	0.0	1.3
うち 貧困線以下の 所得の世帯(乳幼児) (n=360)	86.7	4.4	3.6	1.1	3.6	68.6	16.9	3.3	4.4	2.5	4.4	1.4	5.6	0.8	0.6
小学生調査 (n=2,889)	96.5	7.7	1.7	0.7	1.0	67.1	11.8	4.1	1.6	0.5	1.8	2.2	1.3	0.2	0.9
うち ひとり親世帯 (小学生) (n=350)	87.1	4.3	5.1	1.1	0.9	74.0	62.6	5.1	12.6	0.9	1.4	16.6	0.6	0.9	0.9
うち 貧困線以下の 所得の世帯(小学生) (n=379)	91.8	4.7	2.4	1.1	1.6	72.0	37.2	5.0	6.1	0.8	2.1	6.9	2.4	0.5	0.0
中高生等調査 (n=2,642)	94.5	8.5	4.4	1.2	1.2	41.9	12.9	3.1	3.2	0.4	1.7	1.6	2.2	0.2	1.3
うち ひとり親世帯 (中高生等) (n=475)	84.6	6.3	10.1	2.3	2.3	44.0	57.5	3.6	16.2	0.4	2.1	8.8	2.1	0.2	2.1
うち 貧困線以下の 所得の世帯(中高生等) (n=411)	87.3	5.6	8.8	1.7	3.9	51.8	39.7	5.1	10.9	0.7	3.9	5.8	4.1	0.5	0.0
(参考) 無作為抽出 アンケート全体 (n=8,779)	95.8	7.7	2.4	0.8	1.7	59.2	10.7	2.9	1.8	1.1	1.8	1.4	2.0	0.2	1.1
(参考) ひとり親世帯 全体 (n=985)	84.4	5.2	7.8	1.7	1.7	57.8	58.2	4.1	14.3	0.7	2.0	11.7	1.5	0.4	1.5
(参考) 貧困線以下の 所得の世帯全体 (n=1,150)	88.6	5.0	5.0	1.3	3.0	63.7	31.7	4.5	7.3	1.3	3.5	4.8	4.0	0.6	0.2
(参考) 施策対象者 アンケート全体 (n=183)	74.9	1.1	6.0	1.1	2.7	70.5	89.6	7.1	40.4	0.0	2.7	9.3	2.2	0.0	1.1

図表 5 可処分所得の区分

(単位: %)

	0～ 100万円	101万円 ～200万円	201万円 ～300万円	301万円 ～400万円	401万円 ～500万円	501万円 ～600万円	601万円 ～800万円	801万円～ 1,000万円	1,001万円 以上	無回答
乳幼児調査 (n=3,248)	4.2	5.2	14.3	21.7	17.3	11.5	10.5	3.4	1.7	10.3
うち ひとり親世帯 (乳幼児) (n=160)	28.8	23.8	14.4	10.6	3.1	2.5	0.6	0.6	0.6	15.0
うち 貧困線以下の 所得の世帯(乳幼児) (n=360)	37.5	46.1	16.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

小学生調査 (n=2,889)	4.7	6.3	10.7	16.6	15.5	12.4	12.1	5.5	3.3	12.9
うち ひとり親世帯 (小学生) (n=350)	19.4	28.9	18.3	9.1	4.9	1.1	1.4	1.1	0.6	15.1
うち 貧困線以下の 所得の世帯(小学生) (n=379)	35.6	48.0	16.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

中高生等調査 (n=2,642)	5.4	8.3	11.5	13.4	13.5	10.3	13.5	8.1	4.8	11.2
うち ひとり親世帯 (中高生等) (n=475)	17.7	30.1	20.4	8.2	5.7	2.5	1.5	1.3	0.6	12.0
うち 貧困線以下の 所得の世帯(中高生等) (n=411)	33.8	52.1	14.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(参考)無作為抽出 アンケート全体 (n=8,779)	4.7	6.5	12.3	17.5	15.5	11.4	11.9	5.5	3.2	11.4
(参考)ひとり親世帯 全体 (n=985)	20.1	28.6	18.7	8.9	5.0	2.0	1.3	1.1	0.6	13.6
(参考)貧困線以下の 所得の世帯全体 (n=1,150)	35.6	48.9	15.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 6 父母の就労状況別 可処分所得の区分

(単位: %)

	(n=)	0～100 万円	101 万円 ～200 万 円	201 万円 ～300 万 円	301 万円 ～400 万 円	401 万円 ～500 万 円	501 万円 ～600 万 円	601 万円 ～800 万 円	801 万円 ～1,000 万円	1,001 万 円以上	無回答
乳幼児調査	3,248	4.2	5.2	14.3	21.7	17.3	11.5	10.5	3.4	1.7	10.3
うち 正社員×正社員	873	1.8	2.1	10.1	14.0	19.5	16.6	19.8	6.4	2.2	7.6
うち 正社員×パート等	803	4.5	6.4	15.7	25.4	16.6	10.2	7.3	2.0	1.5	10.5
うち 専業主婦(夫)	1,205	2.3	3.6	15.5	26.1	18.8	10.0	7.6	2.8	1.4	11.8

小学生調査	2,889	4.7	6.3	10.7	16.6	15.5	12.4	12.1	5.5	3.3	12.9
うち 正社員×正社員	478	1.0	2.5	3.8	10.5	14.2	18.2	21.8	11.9	7.7	8.4
うち 正社員×パート等	1,204	3.2	2.9	10.5	21.4	18.8	13.8	10.2	3.2	2.1	13.8
うち 専業主婦(夫)	701	2.0	3.4	10.3	17.0	16.4	13.1	15.5	7.7	4.0	10.6

中高生等調査	2,642	5.4	8.3	11.5	13.4	13.5	10.3	13.5	8.1	4.8	11.2
うち 正社員×正社員	400	1.0	2.0	3.3	9.5	11.8	12.3	22.0	16.0	11.3	11.0
うち 正社員×パート等	1,127	2.8	2.8	8.5	17.0	17.9	13.8	16.1	7.6	3.6	9.8
うち 専業主婦(夫)	441	2.7	3.9	10.2	13.8	12.7	10.4	15.9	11.3	7.5	11.6

図表 7 父母の学歴別 可処分所得の区分

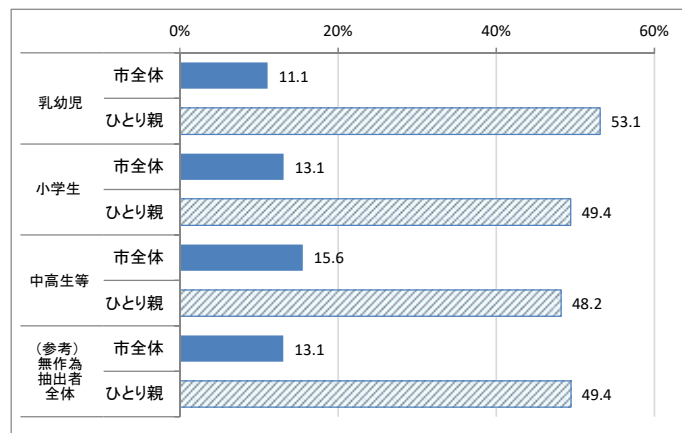
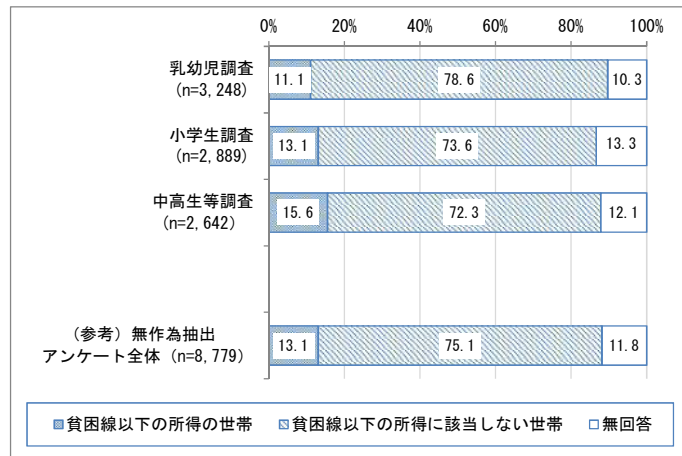
(単位: %)

	(n=)	0～100 万円	101 万円 ～200 万 円	201 万円 ～300 万 円	301 万円 ～400 万 円	401 万円 ～500 万 円	501 万円 ～600 万 円	601 万 円～800 万円	801 万円 ～1,000 万円	1,001 万 円以上	無回答
乳幼児調査	3,248	4.2	5.2	14.3	21.7	17.3	11.5	10.5	3.4	1.7	10.3
うち 高校等×高校等	945	4.2	6.3	21.8	24.9	18.0	7.8	3.5	0.6	0.3	12.5
うち 高校等×大学等	1,022	2.2	4.3	12.5	25.5	17.0	12.8	11.4	2.5	1.0	10.8
うち 大学等×大学等	1,040	2.4	1.9	8.8	16.7	19.6	15.3	17.7	7.3	3.9	6.3

小学生調査	2,889	4.7	6.3	10.7	16.6	15.5	12.4	12.1	5.5	3.3	12.9
うち 高校等×高校等	920	4.8	5.2	14.6	24.6	18.0	10.7	7.0	2.0	0.3	12.9
うち 高校等×大学等	857	1.4	2.1	8.5	16.5	19.3	14.0	16.1	5.8	2.8	13.5
うち 大学等×大学等	702	1.1	1.7	4.0	10.5	12.1	19.1	19.9	12.1	9.4	10.0

中高生等調査	2,642	5.4	8.3	11.5	13.4	13.5	10.3	13.5	8.1	4.8	11.2
うち 高校等×高校等	922	3.7	4.1	13.4	20.6	18.2	11.6	10.7	5.1	1.4	11.1
うち 高校等×大学等	754	2.4	3.2	7.2	11.5	14.7	13.3	19.8	11.5	6.8	9.7
うち 大学等×大学等	419	0.7	1.7	4.1	7.6	10.7	12.2	22.4	17.2	14.1	9.3

図表 8 「貧困線」を下回る所得の世帯の割合

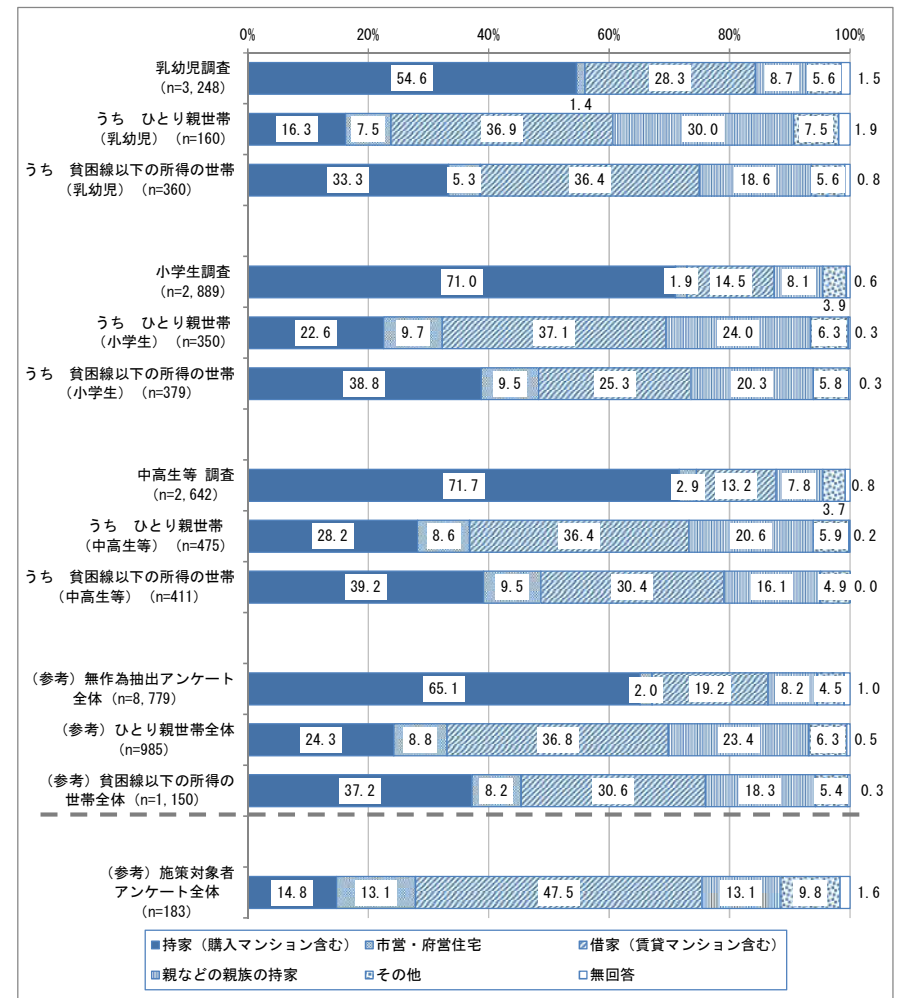


※ 国は、子どもの相対的貧困率（平成24年は16.3%）を公表していますが、これは子どもがいない世帯も対象として所得額（種別ごと）や控除額等を詳細に聴取する調査（国民生活基礎調査（所得票））に基づいて算出したものです。一方、本市調査は、「相対的貧困率」の算出を目的としたものではなく、子どもがいる世帯を対象にその生活実態を幅広い観点から把握するためのものであり、国調査とは対象や算定方法が異なるため、調査結果から国の相対的貧困率と比較し得る貧困率を算出することはできません。

ウ 住居の状況

- ・ 住居の状況については、乳幼児、小学生、中高生等のいずれも「持家（購入マンション含む）」の割合が最も高くなっています。
- ・ 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」では、「借家（賃貸マンション含む）」、「公営住宅」の割合が全体と比較して高くなっています。

図表 9 現在の住居の状況



(2) 保護者の基本属性

ア 子どもから見た続柄，年齢，障害の有無

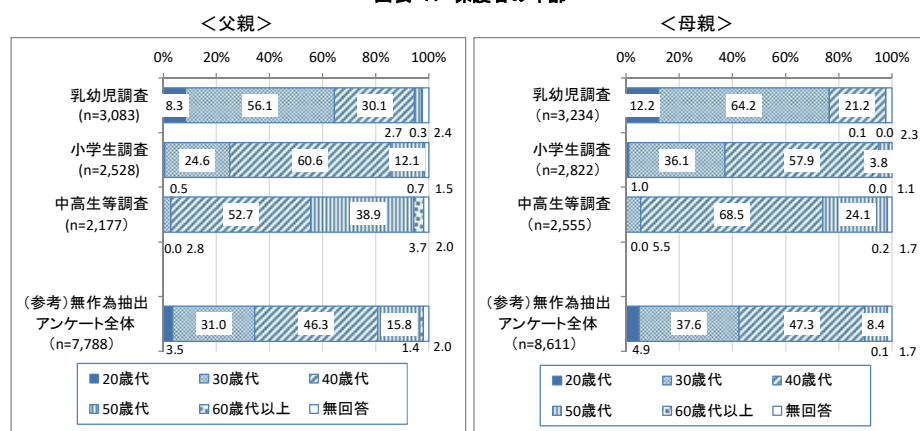
- ・ 回答者の続柄については，大半が「母親」になっています。
- ・ 保護者の年齢については，父親，母親のいずれも，乳幼児では「30 歳代」の割合が最も高く，小学生，中学生等で「40 歳代」の割合が最も高くなっています。
- ・ 障害の有無については，「貧困線以下の所得の世帯」や「ひとり親世帯」の母親において，「何らかの障害がある」割合がやや高くなっています。

図表 10 回答者の続柄

(単位: %)

	母親	父親	祖母	祖父	本人	その他	無回答
乳幼児調査 (n=3,248)	87.6	12.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1
小学生調査 (n=2,889)	84.2	14.9	0.2	0.1	0.0	0.1	0.5
中学生等調査 (n=2,642)	82.2	16.4	0.3	0.0	0.3	0.2	0.6
(参考)無作為抽出アンケート 全体(n=8,779)	84.9	14.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.4
(参考)施策対象者アンケート 全体(n=183)	94.0	3.8	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1

図表 11 保護者の年齢



図表 12 保護者の障害の有無

(単位: %)

	特 に な い	何 ら か の 障 害 が あ る	身 体 障 害	知 的 障 害	発 達 障 害	精 神 障 害	難 病 等	そ の 他 の 障 害	わ か ら な い	無 回 答
乳幼児調査 (n=3,083)	95.2	2.0	0.6	0.1	0.2	0.7	0.4	0.1	0.3	2.6
うち 貧困線以下の所得の 世帯(乳幼児)(n=274)	90.9	4.4	1.5	0.4	0.4	2.2	0.0	0.0	0.0	4.7
小学生調査 (n=2,528)	96.4	2.0	0.9	0.0	0.1	0.4	0.4	0.2	0.4	1.3
うち 貧困線以下の所得の 世帯(小学生)(n=205)	93.2	4.4	1.0	0.0	0.0	2.4	0.0	1.0	0.5	2.0
中学生等調査 (n=2,177)	95.1	2.3	1.0	0.0	0.1	0.4	0.4	0.4	0.5	2.2
うち 貧困線以下の所得の 世帯(中学生等)(n=188)	88.8	6.4	2.7	0.0	0.0	2.1	0.5	1.1	0.5	4.3
(参考)無作為抽出 アンケート全体(n=7,788)	95.5	2.1	0.8	0.1	0.1	0.5	0.4	0.2	0.3	2.0
(参考)貧困線以下の所得の 世帯全体(n=667)	91.0	4.9	1.6	0.1	0.1	2.2	0.1	0.6	0.3	3.7

※ ひとり親世帯及び施策対象者アンケートについては，父親の標本数が少ないため掲載していない。

<母親>

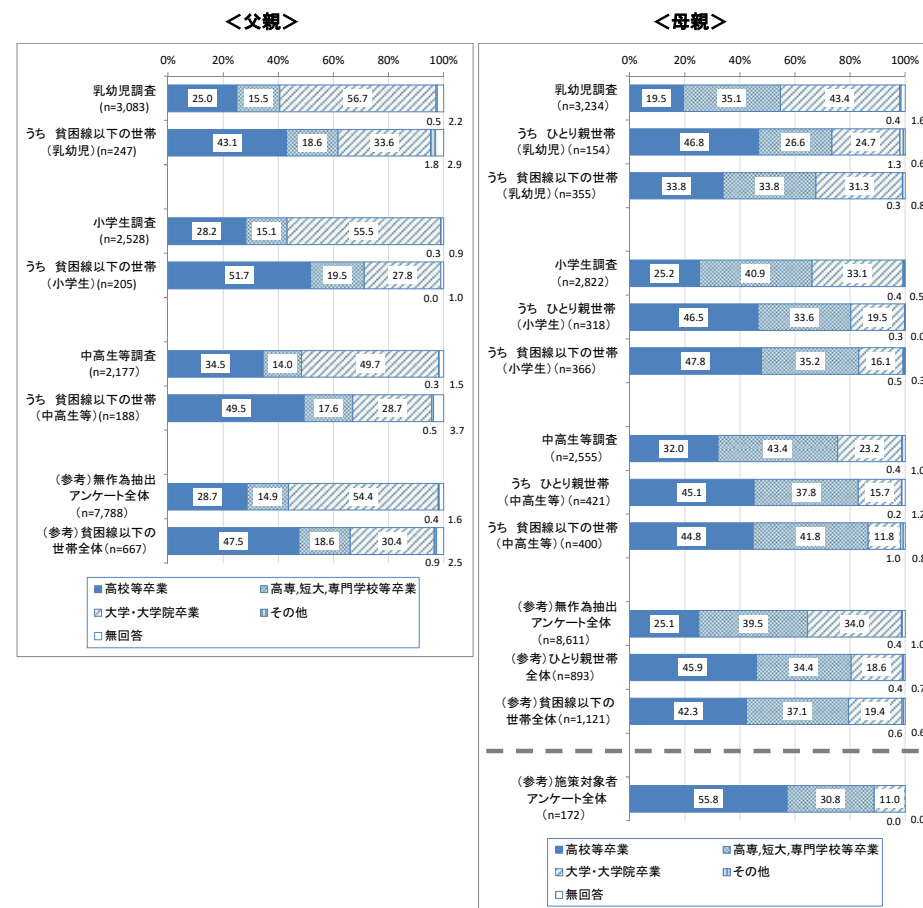
(単位: %)

	特 に ない	何 ら か の 障 害 が あ る	身 体 障 害	知 的 障 害	発 達 障 害	精 神 障 害	難 病 等	そ の 他 の 障 害	わ か ら ない	無 回 答
乳幼児調査 (n=3,234)	95.9	1.9	0.4	0.1	0.2	0.6	0.4	0.1	0.4	1.8
うち ひとり親世帯 (乳幼児) (n=154)	89.6	5.8	1.9	1.3	0.6	1.3	0.0	0.6	3.2	1.3
うち 貧困線以下の所得の 世帯(乳幼児) (n=355)	95.2	2.5	0.0	0.8	0.0	1.1	0.3	0.3	0.6	1.7
小学生調査 (n=2,822)	95.9	2.7	0.4	0.0	0.2	1.0	0.9	0.1	0.5	1.0
うち ひとり親世帯 (小学生) (n=318)	88.1	9.1	0.6	0.0	0.0	5.3	2.5	0.6	1.6	1.3
うち 貧困線以下の所得の 世帯(小学生) (n=366)	91.8	5.7	0.8	0.0	0.3	2.2	2.2	0.3	1.4	1.1
中学生等調査 (n=2,555)	94.3	3.4	0.9	0.0	0.2	1.1	0.8	0.5	0.5	1.7
うち ひとり親世帯 (中学生等) (n=421)	88.4	7.8	1.2	0.0	0.5	3.8	1.0	1.4	1.0	2.9
うち 貧困線以下の所得の 世帯(中学生等) (n=400)	89.8	5.8	0.5	0.0	0.3	2.5	1.8	0.8	1.8	2.8
(参考)無作為抽出 アンケート全体 (n=8,611)	95.4	2.6	0.6	0.1	0.2	0.9	0.7	0.2	0.5	1.5
(参考)ひとり親世帯全体 (n=893)	88.5	8.0	1.1	0.2	0.3	3.9	1.3	1.0	1.6	2.0
(参考)貧困線以下の所得の 世帯全体 (n=1,121)	92.1	4.7	0.4	0.3	0.2	2.0	1.4	0.4	1.2	1.9
(参考)施策対象者 アンケート全体 (n=172)	89.0	7.0	0.6	0.0	0.6	5.2	0.0	1.7	2.3	1.7

イ 保護者の最終学歴

- ・ 父親の最終学歴は、子どもの年齢に関わらず「大学・大学院卒業」が最も高く、次いで「高校等卒業」となっています。
- ・ 母親の最終学歴については、乳幼児は「大学・大学院卒業」が、小学生と中学生等は「高専、短大、専門学校等卒業」が最も高くなっており、次いで乳幼児は「高専、短大、専門学校等卒業」、小学生は「大学・大学院卒業」、中学生等は「高校等卒業」が高くなっています。
- ・ 「ひとり親世帯」の母親及び「貧困線以下の所得の世帯」については、乳幼児、小学生、中学生等のいずれも「高校等卒業」の割合が最も高くなっています。

図表 13 保護者の最終学歴



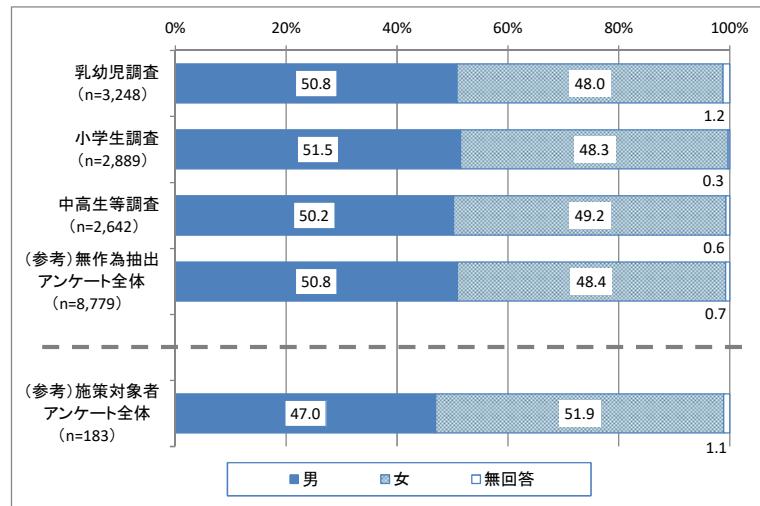
※ ひとり親世帯及び施策対象者アンケートでの父親の標本数が少ないため、<父親>のグラフに掲載していない。

(3) 子どもの基本属性

ア 子どもの性別、障害の有無

- ・ 子どもの性別はおおむね同割合となっています。
- ・ 障害の有無については、何らかの障害がある子どもが、乳幼児 2.8%，小学生 6.0%，中学生等 6.1%となっています。

図表 14 対象となる子どもの性別



図表 15 対象となる子どもの障害の有無

(単位: %)

	特 に な い	何 ら か の 障 害 が あ る							わ か ら な い	無 回 答
			身 体 障 害	知 的 障 害	発 達 障 害	精 神 障 害	難 病 等	そ の 他 の 障 害		
乳幼児調査 (n=3,248)	94.0	2.8	0.3	0.7	1.6	0.0	0.4	0.4	1.7	1.5
うち ひとり親世帯 (乳幼児) (n=160)	94.4	1.9	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.6	2.5	1.3
うち 貧困線以下の所得の世帯(乳幼児) (n=360)	95.8	2.5	0.3	0.3	1.1	0.0	0.6	0.8	0.6	1.1
小学生調査 (n=2,889)	91.9	6.0	0.6	1.8	4.4	0.6	0.3	0.6	1.2	0.9
うち ひとり親世帯 (小学生) (n=350)	88.6	7.4	0.9	1.7	6.6	0.6	0.3	0.9	3.1	0.9
うち 貧困線以下の所得の世帯(小学生) (n=379)	91.3	4.7	0.3	0.5	4.2	0.5	0.3	0.5	2.1	1.8
中学生等調査 (n=2,642)	92.2	6.1	0.6	1.7	3.5	0.5	0.4	0.7	0.7	1.0
うち ひとり親世帯 (中学生等) (n=475)	89.5	8.0	0.8	1.1	4.6	0.8	0.4	1.7	1.7	0.8
うち 貧困線以下の所得の世帯(中学生等) (n=411)	91.0	6.6	0.7	1.2	3.9	0.7	0.2	1.2	1.5	1.0
(参考)無作為抽出アンケート全体 (n=8,779)	92.8	4.8	0.5	1.4	3.2	0.4	0.4	0.6	1.3	1.2
(参考)ひとり親世帯全体 (n=985)	89.9	6.8	0.7	1.1	4.8	0.6	0.3	1.2	2.3	0.9
(参考)貧困線以下の所得の世帯全体 (n=1,150)	92.6	4.7	0.4	0.7	3.1	0.4	0.3	0.9	1.4	1.3
(参考)施策対象者アンケート全体 (n=183)	87.1	9.1	0.0	2.7	4.8	0.5	0.0	1.1	2.2	1.6

イ 平日常中の保育等の利用状況【乳幼児のみ】

- ・ 平日常中の保育等の利用状況については、「保育園（所）」が 39.3%と最も高く、次いで「利用していない」が 29.6%、「幼稚園」が 18.7%となっています。
- ・ 年齢別にみると、「0歳」では「利用していない」が 76.4%であるのに対し、5歳では「保育園（所）」が 49.0%、「幼稚園」が 38.8%、となっています。
- ・ 「ひとり親世帯」、「貧困線以下の所得の世帯」では、「保育園（所）」の利用率が全体と比較して高くなっています。

図表 16 平日常中の保育等の利用状況

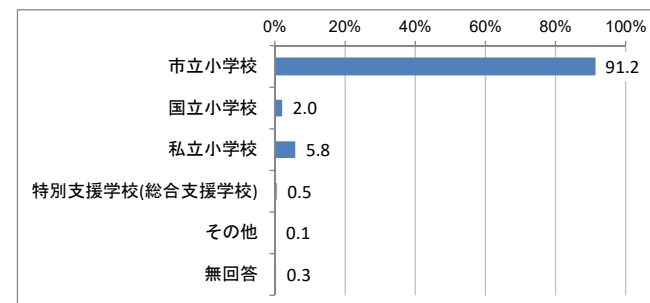
(単位: %)

	幼稚園	幼稚園＋預かり保育	保育園（所）	認定こども園	小規模保育	事業所内保育施設	認可外保育施設	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
乳幼児 (n=3,248)	18.7	3.0	39.3	4.0	1.2	0.5	0.9	0.1	2.6	29.6	1.5
うち 0歳 (n=585)	0.5	0.0	18.5	0.7	1.7	0.3	0.0	0.0	1.0	76.4	1.0
うち 1歳 (n=611)	0.3	0.3	39.9	3.4	2.0	1.5	2.5	0.2	3.8	46.8	0.0
うち 2歳 (n=579)	7.8	0.7	42.3	5.5	2.4	0.9	1.4	0.2	6.0	33.2	0.5
うち 3歳 (n=505)	35.2	5.9	49.1	5.0	0.2	0.0	0.4	0.0	1.2	4.8	0.6
うち 4歳 (n=459)	43.8	5.9	44.0	5.7	0.2	0.2	0.2	0.2	2.2	0.7	0.2
うち 5歳 (n=449)	38.8	7.8	49.0	4.7	0.2	0.0	0.4	0.0	0.9	0.4	0.2
(参考)ひとり親世帯 (n=160)	9.4	1.9	65.0	8.1	1.9	0.6	0.6	0.0	0.6	10.6	1.3
(参考)貧困線以下の所得の世帯 (n=360)	12.8	2.8	45.8	5.3	1.7	0.6	0.8	0.0	1.7	28.1	0.8

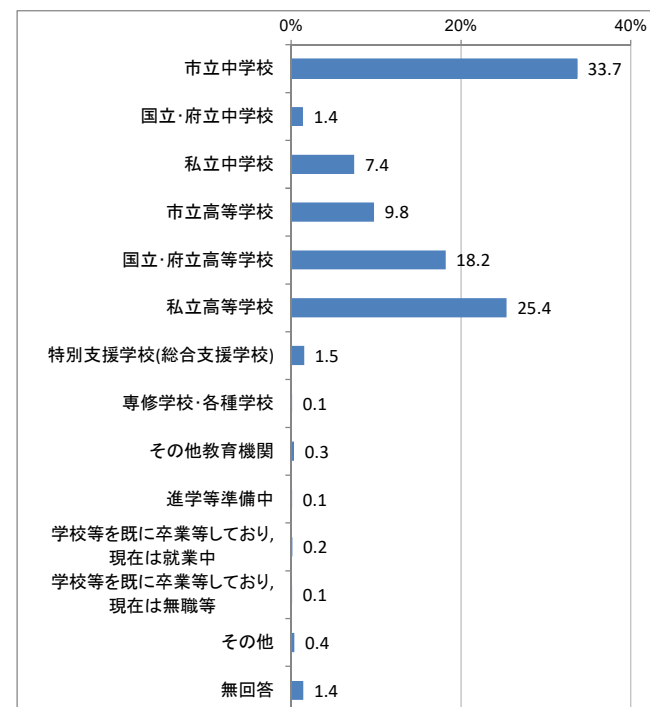
ウ 学校教育機関等の在籍状況【小学生・中高生等のみ】

- ・ 学校教育機関等の在籍状況について、小学生では「市立小学校」の割合が最も高くなっています。
- ・ 中学では「市立中学校」の割合が、「国立・府立中学校」や「私立中学校」と比べ、突出して高くなっていますが、高校では「私立高等学校」が「国立・府立高等学校」と並んで高い割合を占めています。

図表 17 学校教育機関等の在籍状況(小学生n=2,889)



図表 18 学校教育機関等の在籍状況(中高生等 n=2,642)



2 世帯の生活状況

(1) 保護者の就労状況

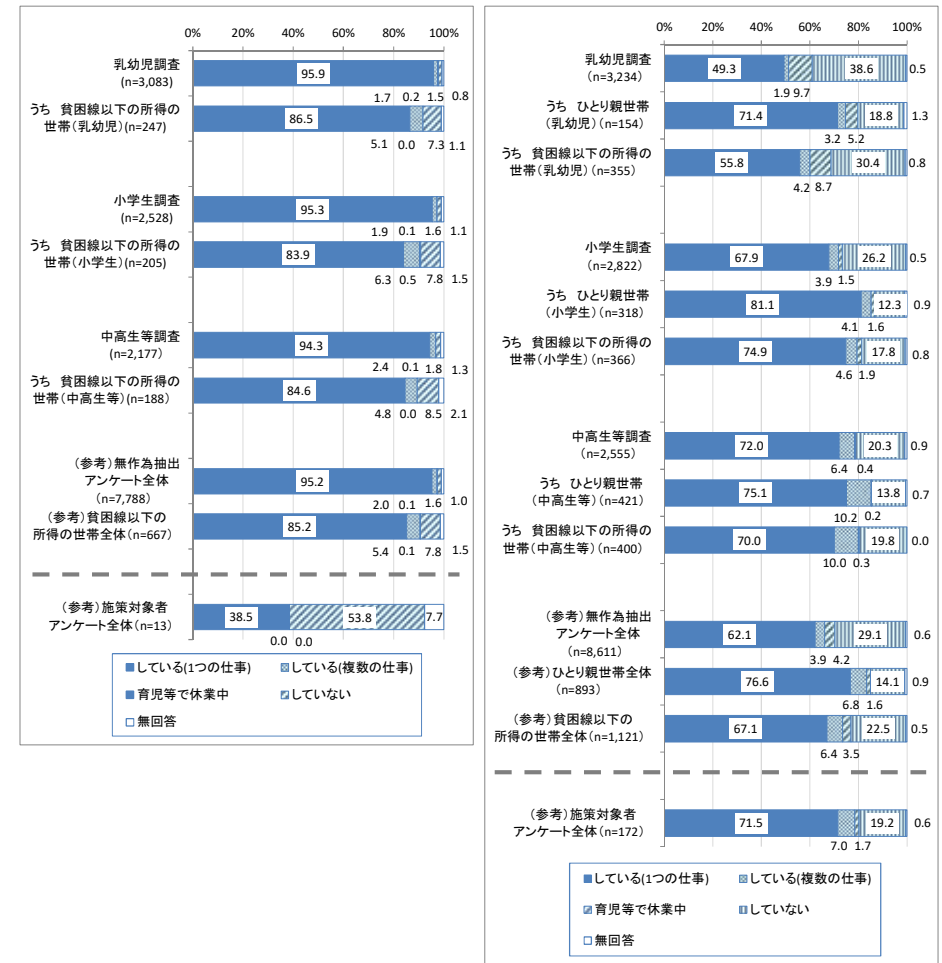
ア 就業状況（仕事の有無，職業，今後の就業意向）

- 保護者の仕事の有無については，父親は「している」が大半を占めています。母親は，「している」が乳幼児 49.3%，小学生 67.9%，中学生等 72.0%となっている一方で，「ひとり親世帯」の母親は，乳幼児 71.4%，小学生 81.1%，中学生等 75.1%と，特に乳幼児において全体と比較して割合が高くなっています。
- 就労形態については，父親は「正社員・正規職員」が80%前後となっているのに対し，母親では，乳幼児は「正社員・正規職員」が46.4%，小学生，中学生等は「パート・アルバイト」が53.7%と高くなっています。
- 「貧困線以下の所得の世帯」の父親については，「正社員・正規職員」の割合が全体と比較して低くなっている一方で，「自営業主」の割合が高くなっています。また，「ひとり親世帯」の母親については，小学生，中学生等において「正社員・正規職員」の割合が全体と比較して高くなっている一方で，「貧困線以下の所得の世帯」の母親については，「正社員・正規職員」の割合が全体と比較して低くなっています。
- 保護者の最終学歴別の就労状況について，父親では，乳幼児，小学生，中学生等とも大学卒業等では「正社員・正規職員」が大半を占めています。また，母親については，乳幼児の「大学卒業等」を除いて，乳幼児，小学生，中学生等のいずれも「パート・アルバイト，派遣等」の割合が高くなっています。
- 現在就労していない保護者の今後の就労意向については，父親，母親のいずれも「今は働いていないがそのうち働きたい」の割合が最も高くなっています。

図表 19 保護者の就労状況

<父親>

<母親>



※ ひとり親世帯及び施策対象者アンケートでの父親の標本数が少ないため，<父親>のグラフに掲載していない。

図表 20 保護者の就労形態

＜父親＞ (単位: %)

	正社員・ 正規職員	パート・ア ルバイト	嘱託・契約社 員・準社員・ 臨時職員	人材派遣 会社の 派遣社員	自営業主	自家営業 の手伝い	その他	無回答
乳幼児調査 (n=3,013)	81.9	1.9	2.4	0.2	10.7	1.1	1.0	2.2
うち 貧困線以下の所得 の世帯(乳幼児) (n=251)	52.6	6.0	3.6	0.4	33.9	3.2	3.2	1.6
小学生調査 (n=2,460)	80.4	1.6	2.4	0.1	14.7	0.9	1.1	0.4
うち 貧困線以下の 所得の世帯(小学生) (n=186)	46.8	5.4	5.9	0.0	41.4	1.6	2.7	1.6
中高生等調査 (n=2,108)	76.4	1.9	2.9	0.3	16.7	1.3	1.6	0.9
うち 貧困線以下の 所得の世帯(中高生等) (n=168)	44.6	8.9	4.8	1.8	38.7	4.2	1.8	0.0
(参考)無作為抽出 アンケート全体(n=7,581)	79.9	1.8	2.5	0.2	13.6	1.1	1.2	1.3
(参考)貧困線以下の 所得の世帯全体(n=605)	48.6	6.6	4.6	0.7	37.5	3.0	2.6	1.2

※ ひとり親世帯及び施策対象者アンケートについては、父親の標本数が少ないため掲載していない。

＜母親＞ (単位: %)

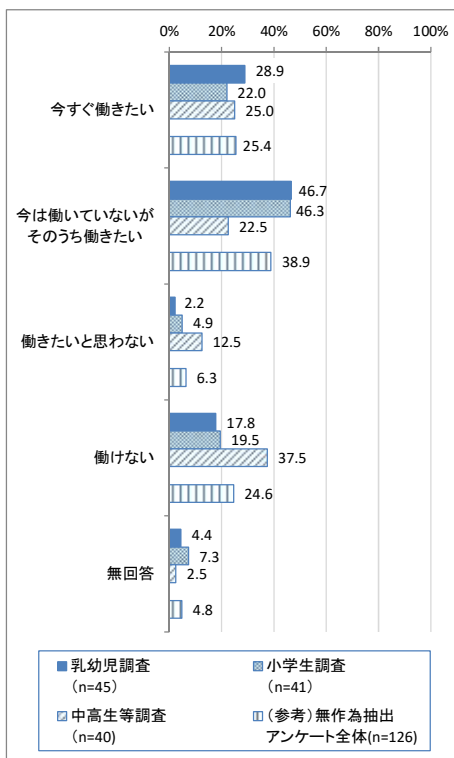
	正社員・ 正規職員	パート・ア ルバイト	嘱託・契約社 員・準社員・ 臨時職員	人材派遣 会社の 派遣社員	自営業主	自家営業 の手伝い	その他	無回答
乳幼児調査 (n=1,969)	46.4	33.3	6.1	2.3	5.2	5.3	2.0	1.1
うち ひとり親世帯 (乳幼児) (n=123)	41.5	42.3	8.1	3.3	4.1	0.0	2.4	0.0
うち 貧困線以下の 所得の世帯(乳幼児) (n=244)	24.6	42.6	8.2	3.3	6.6	12.7	3.3	0.8
小学生調査 (n=2,069)	28.4	53.7	5.3	2.5	3.2	6.8	2.4	0.3
うち ひとり親世帯 (小学生) (n=276)	41.7	44.2	8.3	3.6	2.9	0.7	0.7	0.0
うち 貧困線以下の 所得の世帯(小学生) (n=298)	22.1	56.4	7.0	2.0	4.4	10.1	2.0	0.0
中高生等調査 (n=2,012)	26.1	53.7	7.6	2.4	3.9	7.8	2.1	0.4
うち ひとり親世帯 (中高生等 n=360)	39.2	41.1	11.4	3.1	6.7	2.2	0.6	0.6
うち 貧困線以下の 所得の世帯(中高生等) (n=321)	15.6	60.1	7.8	4.4	5.9	9.0	3.1	0.6
(参考)無作為抽出 アンケート全体(n=6,050)	33.5	47.1	6.3	2.4	4.1	6.7	2.2	0.6
(参考)ひとり親世帯全体 (n=759)	40.4	42.4	9.7	3.3	4.9	1.3	0.9	0.3
(参考)貧困線以下の 所得の世帯全体(n=863)	20.4	53.9	7.6	3.2	5.6	10.4	2.8	0.5
(参考)施策対象者 アンケート全体(n=138)	16.7	65.9	8.0	2.2	8.7	0.0	2.2	0.7

図表 21 学歴別 保護者の就労形態

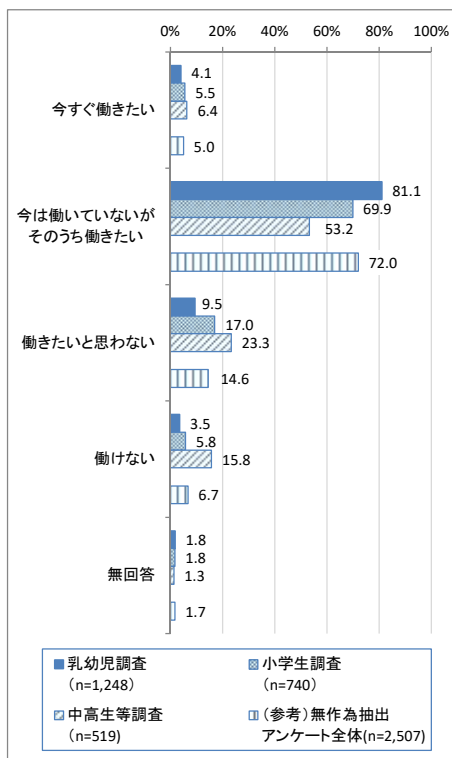
＜父親＞ (単位: %)							＜母親＞ (単位: %)						
	(n=)	正社員・ 正規職員	派遣等 パート・ アルバイト	自営業	その他	無回答		(n=)	正社員・ 正規職員	派遣等 パート・ アルバイト	自営業	その他	無回答
乳幼児調査	3,013	81.9	5.6	10.7	1.0	2.2	乳幼児調査	1,969	46.4	47.1	5.2	2.0	1.1
うち 中学卒業	115	55.7	12.2	29.6	1.7	1.7	うち 中学卒業	62	19.4	72.6	4.8	4.8	1.6
うち 高校卒業等	1,104	78.1	5.6	14.4	1.0	2.0	うち 高校卒業等	956	40.3	54.0	4.5	1.9	1.2
うち 大学卒業等	1,719	86.6	4.8	6.7	0.8	2.3	うち 大学卒業等	912	55.2	37.4	6.1	2.1	1.0
小学生調査	2,460	80.4	5.0	14.7	1.1	0.4	小学生調査	2,069	28.4	68.3	3.2	2.4	0.3
うち 中学卒業	83	54.2	9.6	37.3	2.4	0.0	うち 中学卒業	59	11.9	89.8	5.1	0.0	0.0
うち 高校卒業等	971	76.5	4.9	18.5	0.6	0.6	うち 高校卒業等	1,339	24.4	73.3	2.4	2.2	0.3
うち 大学卒業等	1,381	84.8	4.7	10.6	1.3	0.4	うち 大学卒業等	659	38.1	56.4	4.6	2.7	0.5
中高生等調査	2,108	76.4	6.5	16.7	1.6	0.9	中高生等調査	2,012	26.1	71.5	3.9	2.1	0.4
うち 中学卒業	108	49.1	13.0	35.2	2.8	2.8	うち 中学卒業	60	11.7	80.0	5.0	3.3	3.3
うち 高校卒業等	916	72.3	7.1	20.2	0.8	0.7	うち 高校卒業等	1,483	24.2	74.1	3.7	1.8	0.3
うち 大学卒業等	1,056	83.4	5.5	11.3	1.9	0.8	うち 大学卒業等	446	34.3	61.4	4.7	2.9	0.7

図表 22 就労していない保護者の今後の就労意向

<父親>



<母親>

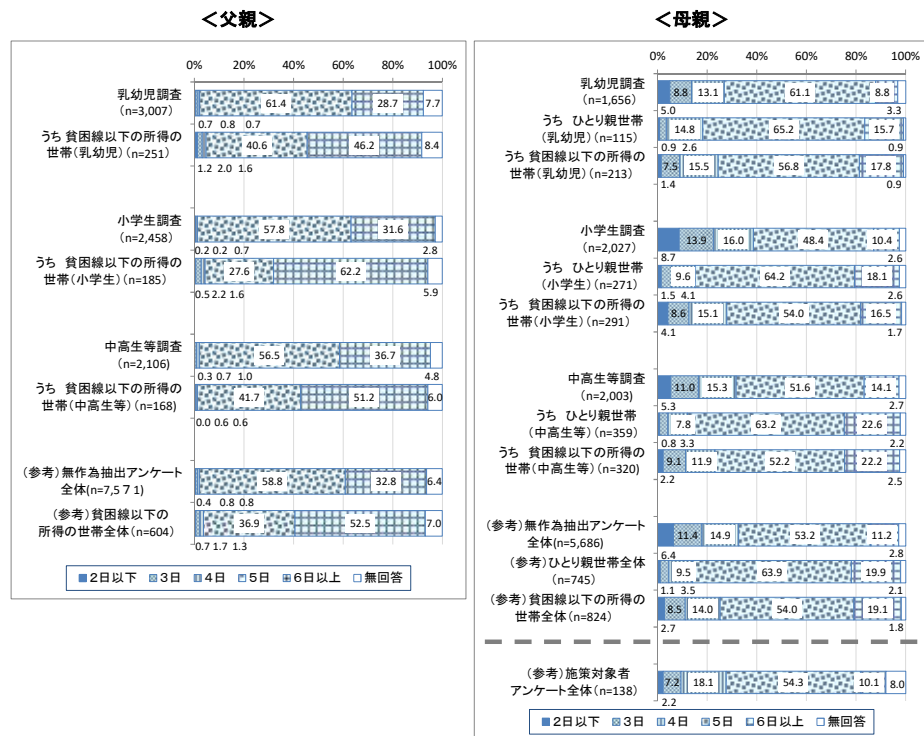


※ひとり親世帯、貧困線以下の所得の世帯、施策対象者アンケートについては、標本数が少ないため、掲載していない。

イ 勤務状況（日数、出勤時間、帰宅時間、労働時間）

- 保護者の就労日数については、乳幼児、小学生、中高生等のいずれも父親、母親ともに、「5日」の割合が最も高くなっていますが、母親は父親と比べ、「6日以上」の割合が低くなっています。
- 「貧困線以下の所得の世帯」の父親の就労日数については、全体と比較して「6日以上」の割合が高くなっています。
- 家を出る時間は、乳幼児、小学生、中高生等のいずれも父親は「～7時台」の割合が最も高くなっていますが、母親は「8時台」の割合が最も高くなっています。
- 帰宅時間は、乳幼児、小学生、中高生等のいずれも、父親は「22時以降」が最も高く、「19時台」、「20時台」、「21時台」もおおむね同割合となっていますが、母親は「15～16時台」、「17時台」、「18時台」の割合が高くなっています。
- 1週間当たりの就労時間については、父親は「40～50時間未満」の割合が最も高く、次いで「60時間以上」、「50～60時間未満」となっています。母親については、ばらつきがあり、「20時間未満」、「20～30時間未満」、「30～40時間未満」、「40～50時間未満」の割合が高くなっています。
- ひとり親世帯の母親については、乳幼児、小学生、中高生等のいずれも帰宅時間「18時台」以降の割合が全体と比較して高くなっており、就労時間「40時間以上」の割合も全体と比較しておおむね高くなっています。

図表 23 保護者の就労日数



※ ひとり親世帯及び施策対象者アンケートでの父親の標本数が少ないため、＜父親＞のグラフに掲載していない。

図表 24 保護者の家を出る時間

(単位: %)

	～7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	無回答
乳幼児調査 (n=3,013)	48.7	29.6	8.1	1.6	0.6	2.1	9.3
うち 貧困線以下の所得の世帯(乳幼児) (n=251)	38.6	24.3	15.5	2.8	1.6	5.6	11.6
小学生調査 (n=2,460)	50.9	29.3	7.5	1.6	0.6	2.0	8.1
うち 貧困線以下の所得の世帯(小学生) (n=185)	43.8	23.8	13.5	4.3	1.6	4.3	8.6
中学生等調査 (n=2,108)	54.6	27.4	6.5	1.7	0.5	2.0	7.3
うち 貧困線以下の所得の世帯(中学生等) (n=168)	47.6	22.0	8.9	4.2	1.8	3.6	11.9
(参考) 無作為抽出アンケート全体 (n=7,581)	51.0	28.9	7.4	1.6	0.6	2.1	8.4
(参考) 貧困線以下の所得の世帯全体 (n=604)	42.7	23.5	13.1	3.6	1.7	4.6	10.8

※ ひとり親世帯及び施策対象者アンケートについては、父親の標本数が少ないため掲載していない。

(単位: %)

	～7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	無回答
乳幼児調査 (n=1,656)	19.0	45.5	20.4	6.0	1.0	2.1	6.0
うち ひとり親世帯(乳幼児) (n=115)	27.8	40.9	20.0	5.2	1.7	1.7	2.6
うち 貧困線以下の所得の世帯(乳幼児) (n=213)	16.0	40.4	22.5	12.7	1.4	3.8	3.3
小学生調査 (n=2,027)	11.7	45.5	26.8	6.9	1.1	2.5	5.6
うち ひとり親世帯(小学生) (n=271)	17.0	49.8	21.8	5.9	0.7	1.8	3.0
うち 貧困線以下の所得の世帯(小学生) (n=291)	9.6	47.1	27.1	8.9	1.0	2.7	3.4
中学生等調査 (n=2,003)	14.5	43.8	22.2	6.7	1.6	4.8	6.3
うち ひとり親世帯(中学生等) (n=359)	20.1	49.3	15.9	4.5	1.1	4.2	5.0
うち 貧困線以下の所得の世帯(中学生等) (n=320)	14.7	44.1	22.5	5.9	2.2	5.3	5.3
(参考) 無作為抽出アンケート全体 (n=5,686)	14.8	44.9	23.3	6.6	1.3	3.2	6.0
(参考) ひとり親世帯全体 (n=745)	20.1	48.2	18.7	5.1	1.1	3.0	3.9
(参考) 貧困線以下の所得の世帯全体 (n=824)	13.2	44.2	24.2	8.7	1.6	4.0	4.1
(参考) 施策対象者アンケート全体 (n=138)	8.0	49.3	23.9	5.8	1.4	2.2	9.4

図表 25 保護者の帰宅時間

＜父親＞ (単位: %)

	～11 時台	12～14 時台	15～16 時台	17 時台	18 時台	19 時台	20 時台	21 時台	22 時 以降	無回答
乳幼児調査 (n=3,013)	0.1	0.3	0.9	3.3	10.9	17.4	18.8	17.6	20.7	10.0
うち 貧困線以下の所得 の世帯(乳幼児)(n=251)	0.0	0.4	1.6	4.8	10.8	21.9	18.7	8.8	21.1	12.0
小学生調査 (n=2,460)	0.6	0.7	0.6	2.9	10.9	17.2	18.7	16.8	23.1	8.6
うち 貧困線以下の所得 の世帯(小学生)(n=185)	0.0	1.1	0.5	6.5	17.8	17.8	16.2	9.2	21.6	9.2
中高生等調査 (n=2,108)	0.1	0.8	1.0	3.9	11.7	20.2	19.8	14.4	20.3	7.6
うち 貧困線以下の所得 の世帯(中高生等) (n=168)	0.6	1.2	3.6	7.7	19.0	16.1	16.7	6.0	17.3	11.9
(参考)無作為抽出アン ケート全体(n=7,581)	0.3	0.6	0.8	3.3	11.1	18.1	19.0	16.4	21.4	8.9
(参考)貧困線以下の 所得の世帯全体(n=604)	0.2	0.8	1.8	6.1	15.2	19.0	17.4	8.1	20.2	11.1

※ ひとり親世帯及び施策対象者アンケートについては、父親の標本数が少ないため掲載していない。

＜母親＞ (単位: %)

	～11 時台	12～14 時台	15～16 時台	17 時台	18 時台	19 時台	20 時台	21 時台	22 時 以降	無回答
乳幼児調査 (n=1,656)	0.2	6.8	17.0	24.6	29.8	10.3	2.6	1.1	1.2	6.3
うち ひとり親世帯 (乳幼児)(n=115)	0.0	1.7	15.7	15.7	41.7	15.7	5.2	1.7	0.0	2.6
うち 貧困線以下の所得 の世帯(乳幼児)(n=213)	0.5	6.6	20.7	26.3	24.4	9.4	4.2	0.5	4.2	3.3
小学生調査 (n=2,027)	0.5	15.7	22.4	16.6	21.1	10.6	3.7	1.8	1.9	5.7
うち ひとり親世帯 (小学生)(n=271)	0.7	3.0	15.1	14.4	30.3	19.2	7.7	3.0	3.3	3.3
うち 貧困線以下の所得 の世帯(小学生)(n=291)	0.3	7.2	24.1	16.5	25.4	12.4	5.2	1.4	3.8	3.8
中高生等調査 (n=2,003)	0.5	11.6	16.7	16.0	23.2	13.6	7.0	2.2	2.7	6.3
うち ひとり親世帯 (中高生等)(n=359)	0.6	3.6	5.6	12.3	30.9	18.7	13.6	4.5	5.0	5.3
うち 貧困線以下の所得 の世帯(中高生等) (n=320)	0.6	10.0	12.5	11.9	27.8	14.7	8.4	3.1	5.3	5.6
(参考)無作為抽出 アンケート全体(n=5,686)	0.4	11.6	18.0	17.7	24.1	12.5	5.4	1.9	2.2	6.2
(参考)ひとり親世帯 全体(n=745)	0.5	3.1	10.6	13.6	32.3	18.4	10.2	3.5	3.6	4.2
(参考)貧困線以下の 所得の世帯全体(n=824)	0.5	8.1	18.7	17.2	26.1	12.5	6.2	1.8	4.5	4.4
(参考)施策対象者 アンケート全体(n=138)	0.0	7.2	15.9	19.6	25.4	10.9	7.2	1.4	2.9	9.4

図表 26 保護者の1週間当たりの就労時間

＜父親＞ (単位: %)

	20 時間 未満	20～30 時間 未満	30～40 時間 未満	40～50 時間 未満	50～60 時間 未満	60 時間 以上	無回答
乳幼児調査 (n=3,013)	0.6	0.8	2.8	33.4	20.5	25.5	16.4
うち 貧困線以下の所得の 世帯(乳幼児)(n=251)	0.8	2.8	2.8	33.9	17.9	25.5	16.3
小学生調査 (n=2,460)	1.2	0.7	2.3	30.0	21.7	28.2	15.9
うち 貧困線以下の所得の 世帯(小学生)(n=185)	2.2	1.6	2.7	26.5	9.2	37.8	20.0
中高生等調査 (n=2,108)	0.4	0.7	3.6	36.0	18.6	26.7	13.9
うち 貧困線以下の所得の 世帯(中高生等)(n=168)	0.0	3.0	6.5	32.7	11.3	31.0	15.5

※ ひとり親世帯及び施策対象者アンケートについては、父親の標本数が少ないため掲載していない。

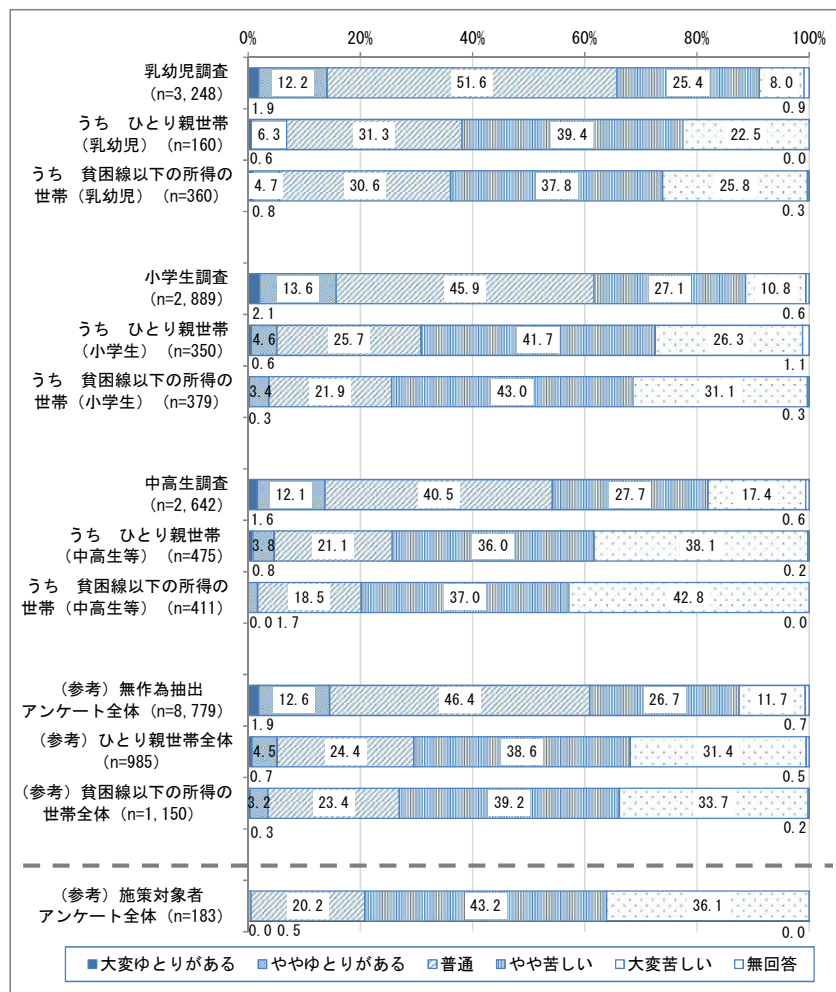
＜母親＞ (単位: %)

	20 時間 未満	20～30 時間 未満	30～40 時間 未満	40～50 時間 未満	50～60 時間 未満	60 時間 以上	無回答
乳幼児調査 (n=1,656)	13.6	18.8	27.1	26.9	3.6	2.1	7.9
うち ひとり親世帯 (乳幼児)(n=115)	4.3	18.3	29.6	39.1	2.6	4.3	1.7
うち 貧困線以下の所得の 世帯(乳幼児)(n=213)	10.8	27.2	23.9	24.9	2.3	6.1	4.7
小学生調査 (n=2,027)	24.6	21.3	18.2	22.6	4.0	2.4	6.8
うち ひとり親世帯 (小学生)(n=271)	5.5	12.2	25.8	37.3	8.1	4.1	7.0
うち 貧困線以下の所得の 世帯(小学生)(n=291)	14.4	18.2	24.4	27.8	4.1	4.1	6.9
中高生等調査 (n=2,003)	17.5	24.4	16.9	27.7	4.8	2.6	6.1
うち ひとり親世帯 (中高生等)(n=359)	3.9	12.3	22.3	43.2	7.8	3.9	6.7
うち 貧困線以下の所得の 世帯(中高生等)(n=320)	11.9	23.1	18.4	30.6	3.8	5.6	6.6
(参考)無作為抽出 アンケート全体(n=5,686)	18.9	21.7	20.3	25.6	4.2	2.4	6.9
(参考)ひとり親世帯 全体(n=745)	4.6	13.2	24.7	40.4	7.1	4.0	6.0
(参考)貧困線以下の 所得の世帯全体(n=824)	12.5	22.5	22.0	28.2	3.5	5.2	6.2
(参考)施策対象者 アンケート全体(n=138)	13.8	16.7	27.5	26.8	5.8	1.4	8.0

(2) 暮らし向きに関する認識

- 暮らし向きに関する認識については、乳幼児、小学生、中高生等のいずれも、おおむね同じ傾向となっており、「普通」の割合が最も高く、次いで「やや苦しい」となっています。
- 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」では、「やや苦しい」、「大変苦しい」の割合が全体よりも高くなっています。

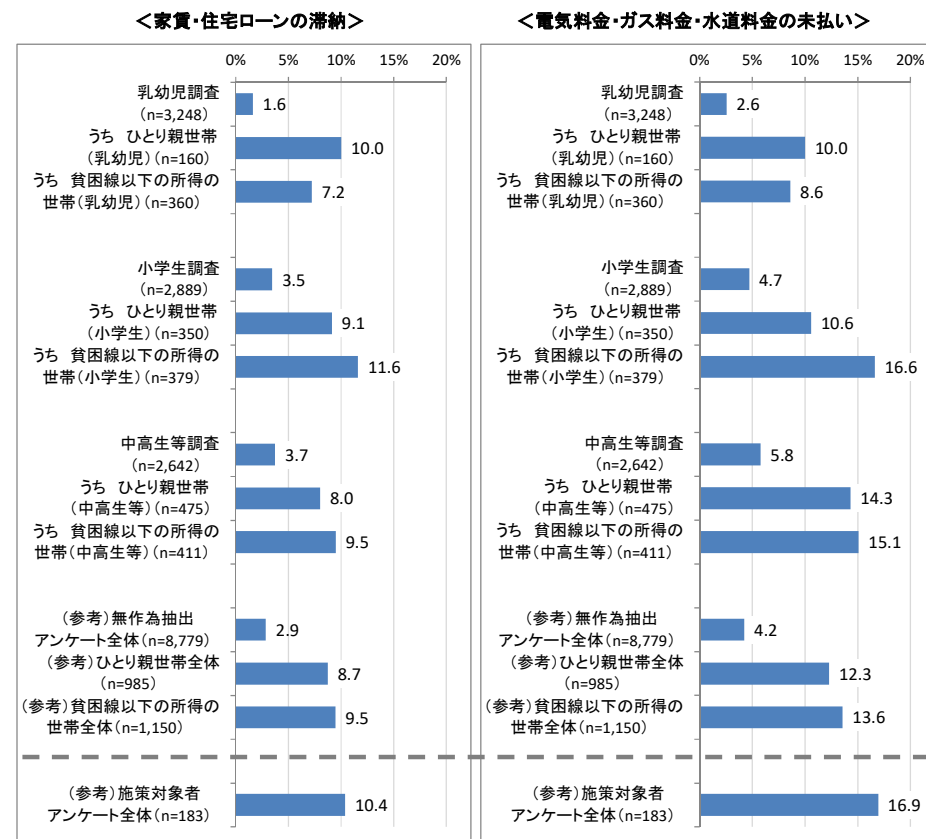
図表 27 暮らし向きに関する認識



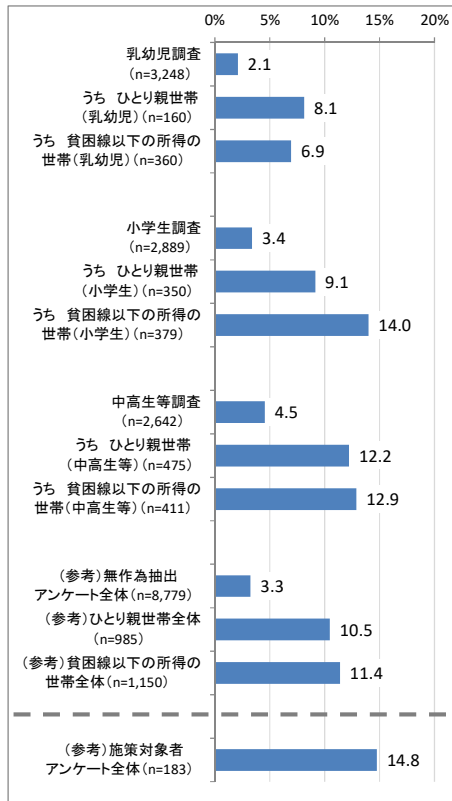
(3) 各種料金未払い等の状況

- 滞納・未払い経験の有無については、「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」において、滞納や未払いの経験のある世帯が全体と比較して高い割合となっています。

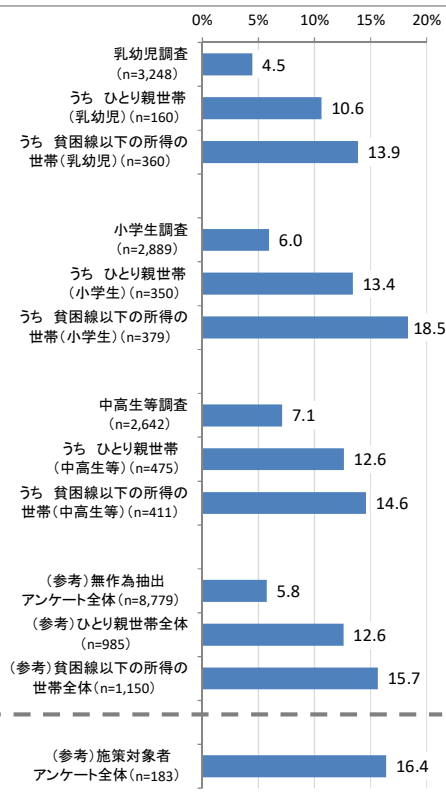
図表 28 滞納・未払いの経験の有無(「あった」とする割合のみ)



<電話料金の未払い>



<その他の債務不履行・滞納・未払い>



3 子どもの状況について

(1) 子どもの学力・学習等の状況

ア 学習塾や習い事の利用状況

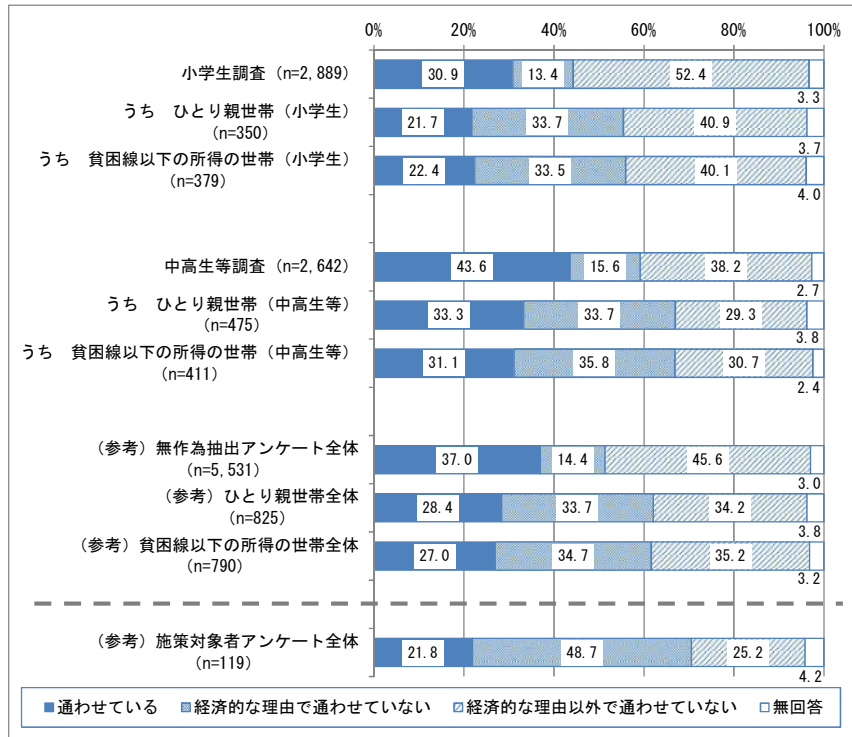
【学習塾の利用状況】

- 小学生や中学生等の学習塾の利用状況について、「通わせている」割合は、小学生が30.9%、中学生等が43.6%となっています。
- 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」では、「通わせている」割合が全体と比較して低く、「経済的な理由で通わせていない」が小学生、中学生等のいずれも30%を超えています。
- 子どもに望む最終学歴として、「高校等」よりも「大学等」の方が学習塾に「通わせている」割合が高くなっており、最終学歴の希望が「特にない、わからない」という回答において「経済的な理由以外で通わせていない」の割合が、他と比較して高くなっています。

【習い事の利用状況】

- 習い事の利用状況について、「通わせている」割合は、小学生が74.0%と高い割合となっており、乳幼児や中学生等では25.0%、25.2%となっています。
- 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」では、小学生では、「通わせている」割合が53.7%、57.8%と半数を超えているものの、「経済的な理由で通わせていない」割合が全体と比較して高く、乳幼児や中学生等でも同様の状況となっています。
- 子どもに望む最終学歴別では、乳幼児、小学生、中学生のいずれも、「大学等」を希望している場合における「通わせている」の割合が、他と比較して高くなっています。

図表 29 学習塾の利用状況



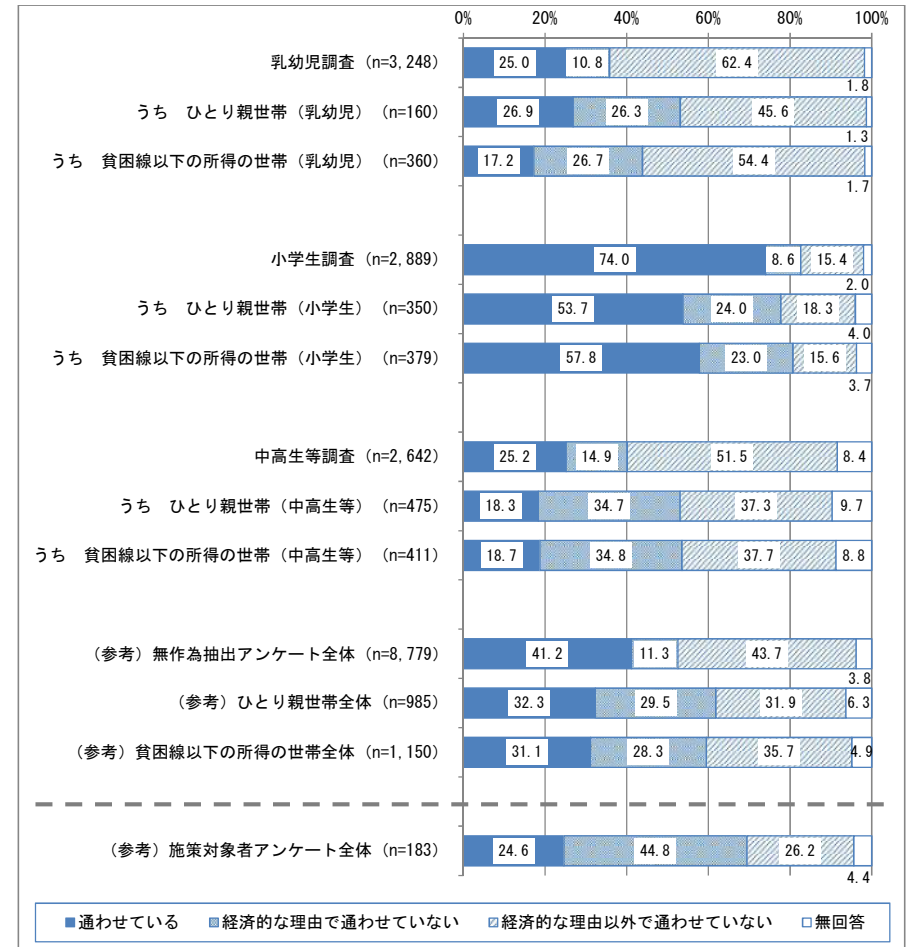
図表 30 子どもに望む最終学歴別 学習塾の利用状況

(単位: %)

	(n=)	通わせている	経済的な理由で通わせていない	経済的な理由以外で通わせていない	無回答
小学生調査	2,889	30.9	13.4	52.4	3.3
うち 子どもに望む最終学歴が高等学校等	540	16.1	25.2	52.6	6.1
うち 子どもに望む最終学歴が大学等	2,035	37.2	10.3	49.8	2.7
うち 子どもに望む最終学歴が特にない・わからない	263	14.4	13.3	70.7	1.5
中学生調査	2,642	43.6	15.6	38.2	2.7
うち 子どもに望む最終学歴が高等学校等	447	27.1	28.4	42.1	2.5
うち 子どもに望む最終学歴が大学等	1,891	50.1	11.7	36.0	2.2
うち 子どもに望む最終学歴が特にない・わからない	213	24.9	24.4	45.5	5.2

※ 「子どもに望む最終学歴が特にない・わからない」、「子どもに望む最終学歴が特にない」と「わからない」と回答した人の合計

図表 31 習い事の利用状況



図表 32 子どもに望む最終学歴別 習い事の利用状況 (単位: %)

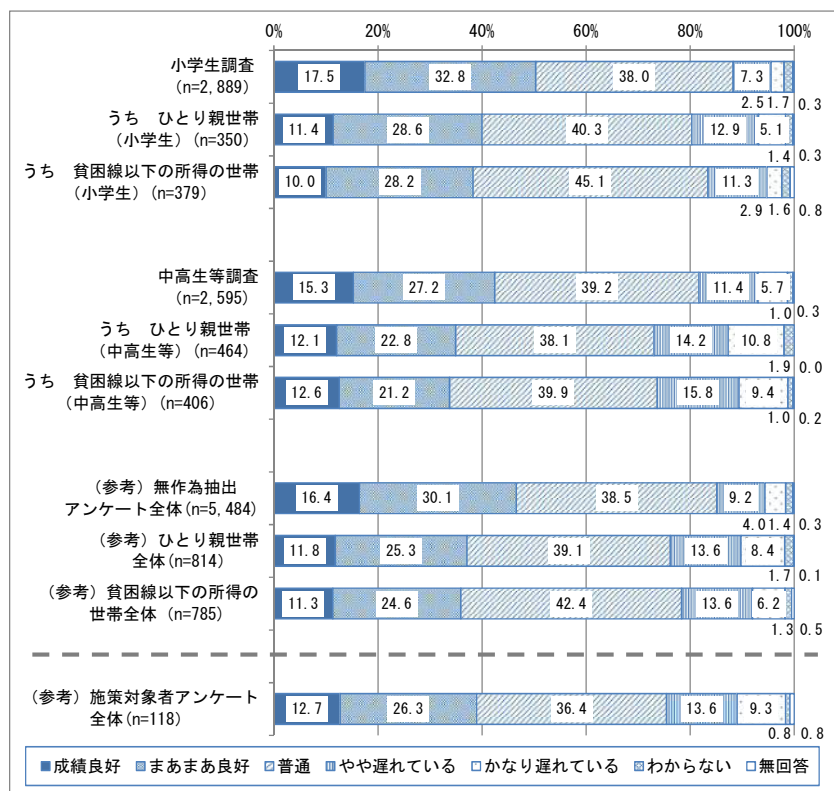
	(n=)	通わせている	経済的な理由で 通わせていない	経済的な理由以外 で通わせていない	無回答
乳幼児調査	3,248	25.0	10.8	62.4	1.8
うち 子どもに望む最終学歴が高等学校等	425	15.3	18.4	63.5	2.8
うち 子どもに望む最終学歴が大学等	2,325	28.5	9.2	60.9	1.5
うち 子どもに望む最終学歴が特にな い・わからない	457	15.8	12.5	69.6	2.2
小学生調査	2,889	74.0	8.6	15.4	2.0
うち 子どもに望む最終学歴が高等学校等	540	58.7	15.7	22.0	3.5
うち 子どもに望む最終学歴が大学等	2,035	79.6	6.7	12.1	1.6
うち 子どもに望む最終学歴が特にな い・わからない	263	65.0	9.5	25.1	0.4
中高生等調査	2,642	25.2	15.0	51.5	8.4
うち 子どもに望む最終学歴が高等学校等	447	21.3	29.1	43.0	6.7
うち 子どもに望む最終学歴が大学等	1,891	26.9	11.3	53.4	8.5
うち 子どもに望む最終学歴が特にな い・わからない	213	21.1	19.2	51.6	8.0

※ 「子どもに望む最終学歴が特にない・わからない」、「子どもに望む最終学歴が特にない」と「わからない」と回答した人の合計

イ 学校での勉強の成績【小学生・中高生等のみ】

- ・ 学校での成績について、小学生、中高生等のいずれも「普通」の割合が最も高く、次いで「まあまあ良好」、「成績良好」となっています。
- ・ 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」については、全体と比較して、小学生、中高生等のいずれも「遅れている（「やや遅れている」と「かなり遅れている」の合計）」の割合が高くなっています。
- ・ むし歯の有無別では、小学生、中高生等のいずれも、むし歯が「ない」の場合、成績「良好」の割合が他と比較して高くなっています。
- ・ 小学生の子どもと一緒に遊んでいる頻度別では、「ほぼ毎日」一緒に遊んでいる場合、成績「良好」の割合が他と比較して高くなっています。
- ・ 中高生等の子どもと話す頻度別の成績については、「ほぼ毎日」会話している場合、成績「良好」の割合が他と比較して高くなっています。
- ・ 子どもに勉強を教える頻度別では、小学生で「よくある」、「ときどきある」の場合、成績「良好」の割合が他と比較して高くなっていますが、中高生等では、大きな差はありません。
- ・ 文化芸術活動・自然体験・**スポーツ活動**の経験の有無別では、頻度が高いほど成績「良好」の割合が高くなっています。
- ・ 読書の状況別では、「読まない・わからない」の場合、成績「遅れている」の割合が高くなっており、読書の冊数が多いほど成績「良好」の割合が高い傾向にあります。
- ・ 子育てにかかる時間やお金等の優先度別では、「最も優先すべき」の場合、成績「良好」の割合が他と比較して高くなっています。

図表 33 学校での勉強の成績の状況



図表 34 むし歯の有無別 学校での勉強の成績状況

(単位: %)

	(n=)	良好	普通	遅れている	わからない	無回答
小学生調査	2,889	50.3	38.0	9.8	1.7	0.3
うち ある(未治療)・わからない	180	36.1	41.7	21.1	1.1	0.0
うち あった・ある (治療中) 普通	1,348	48.4	39.9	10.5	1.2	0.0
うち ない	1,346	54.5	35.7	7.6	2.2	0.1
中高生等調査	2,595	42.5	39.2	17.0	1.0	0.3
うち ある(未治療)・わからない	318	29.2	40.9	28.6	0.9	0.3
うち あった・ある (治療中) 普通	1,000	43.3	38.9	16.4	1.1	0.3
うち ない	1,272	45.0	39.2	14.6	1.0	0.2

図表 35 子どもと一緒に遊ぶ頻度別 学校での成績の状況(小学生のみ)

(単位: %)

	(n=)	良好	普通	遅れている	わからない	無回答
小学生調査	2,889	50.3	38.0	9.8	1.7	0.3
うち ほぼ毎日	441	59.0	31.1	6.8	2.9	0.2
うち 週に3~4日	516	54.7	36.8	7.2	1.2	0.2
うち 週に1~2日	1,299	48.1	40.3	9.2	1.8	0.5
うち 月1~2日・めったにない	605	45.0	39.3	14.7	0.8	0.2

※ 「月1~2日・めったにない」は、「月1~2日」と「めったにない」と回答した人の合計

図表 36 子どもと話す頻度別 学校での成績の状況(中高生等のみ)

(単位: %)

	(n=)	良好	普通	遅れている	わからない	無回答
中高生等調査	2,595	42.5	39.2	17.0	1.0	0.3
うち ほぼ毎日	1,578	45.8	38.7	14.3	1.0	0.2
うち 週に3~4日	486	38.7	41.8	19.1	0.4	0.0
うち 週に1~2日	315	35.9	39.0	23.8	0.6	0.6
うち 月1~2日・めったにない	157	31.2	41.4	24.8	1.9	0.6

※ 「月1~2日・めったにない」は、「月1~2日」と「めったにない」と回答した人の合計

図表 37 子どもに勉強を教える頻度別 学校での勉強の成績の状況

(単位: %)

	(n=)	良好	普通	遅れている	わからない	無回答
小学生調査	2,889	50.3	38.0	9.8	1.7	0.3
うち よくある	1,245	55.5	34.1	7.9	2.0	0.5
うち とときどきある	1,247	47.2	41.0	10.7	1.0	0.2
うち あまりない	304	43.8	43.1	10.9	2.0	0.3
うち ない	65	40.0	32.3	20.0	7.7	0.0
中高生等調査	2,595	42.5	39.2	17.0	1.0	0.3
うち よくある	161	41.6	40.4	15.5	2.5	0.0
うち とときどきある	644	41.5	40.4	17.5	0.6	0.0
うち あまりない	887	45.7	38.1	15.2	0.7	0.3
うち ない	849	39.7	39.9	18.8	1.2	0.4

図表 38 文化芸術活動・自然活動・スポーツ活動の機会別 学校での勉強の成績の状況

<文化芸術活動> (単位: %)

	(n=)	良好	普通	遅れている	わからない	無回答
小学生調査	2,889	50.3	38.0	9.8	1.7	0.3
うち 月1回以上	458	62.2	29.5	7.2	1.1	0.0
うち 年数回以上	1,494	52.3	37.2	8.8	1.4	0.3
うち 年1回程度	488	42.8	43.0	11.7	2.0	0.4
うち まったくない・わからない	406	38.7	44.1	14.3	2.7	0.2
中高生等調査	2,595	42.5	39.2	17.0	1.0	0.3
うち 月1回以上	329	48.6	35.0	14.9	1.5	0.0
うち 年数回以上	1,218	44.3	40.1	15.2	0.3	0.1
うち 年1回程度	429	43.8	37.5	17.2	0.9	0.5
うち まったくない・わからない	545	32.8	42.6	21.7	2.2	0.7

※ 「まったくくない・わからない」は、「まったくくない」と「わからない」と回答した人の合計

<自然体験> (単位: %)

	(n=)	良好	普通	遅れている	わからない	無回答
小学生調査	2,889	50.3	38.0	9.8	1.7	0.3
うち 月1回以上	389	55.0	33.7	9.0	2.1	0.3
うち 年数回以上	1,604	52.4	37.7	8.4	1.4	0.2
うち 年1回程度	575	46.1	39.8	12.0	1.7	0.3
うち まったくない・わからない	280	40.7	41.8	14.6	2.5	0.4
中高生等調査	2,595	42.5	39.2	17.0	1.0	0.3
うち 月1回以上	77	46.8	31.2	18.2	3.9	0.0
うち 年数回以上	720	46.1	37.5	15.3	0.7	0.4
うち 年1回程度	781	43.8	39.7	16.0	0.4	0.1
うち まったくない・わからない	934	37.6	41.8	18.8	1.5	0.3

※ 「まったくくない・わからない」は、「まったくくない」と「わからない」と回答した人の合計

<スポーツ活動> (単位: %)

	(n=)	良好	普通	遅れている	わからない	無回答
小学生調査	2,889	50.3	38.0	9.8	1.7	0.3
うち 月1回以上	1,609	53.0	37.3	8.4	1.1	0.3
うち 年数回以上	545	53.2	36.3	8.8	1.7	0.0
うち 年1回程度	200	48.5	37.5	10.5	3.0	0.5
うち まったくない・わからない	465	38.7	42.4	15.7	2.8	0.4
中高生等調査	2,595	42.5	39.2	17.0	1.0	0.3
うち 月1回以上	1,072	45.1	38.5	15.2	0.8	0.4
うち 年数回以上	402	48.0	38.3	13.7	0.0	0.0
うち 年1回程度	270	45.6	34.4	18.1	1.5	0.4
うち まったくない・わからない	771	34.1	43.6	20.5	1.6	0.3

※ 「まったくくない・わからない」は、「まったくくない」と「わからない」と回答した人の合計

図表 39 読書の状況別 学校での勉強の成績の状況

(単位: %)

	(n=)	良好	普通	遅れている	わからない	無回答
小学生調査	2,889	50.3	38.0	9.8	1.7	0.3
うち 読まない・わからない	438	27.9	45.2	23.3	3.4	0.2
うち 1冊	436	39.7	48.9	10.6	0.7	0.2
うち 2～5冊	1,159	52.7	37.6	8.1	1.3	0.3
うち 6～10冊	394	61.2	30.7	5.6	2.0	0.5
うち 11冊以上	421	68.4	26.4	3.3	1.7	0.2
中高生等調査	2,595	42.5	39.2	17.0	1.0	0.3
うち 読まない・わからない	1,061	32.5	41.4	23.8	2.1	0.3
うち 1冊	753	47.1	40.6	11.8	0.1	0.3
うち 2～5冊	587	52.3	35.6	11.4	0.3	0.3
うち 6～10冊	66	53.0	30.3	16.7	0.0	0.0
うち 11冊以上	66	40.9	36.4	21.2	1.5	0.0

※ 「読まない・わからない」は、「読まない」と「わからない」と回答した人の合計

図表 40 子育てにかかる時間やお金等の優先度別 学校での勉強の成績の状況 (単位: %)

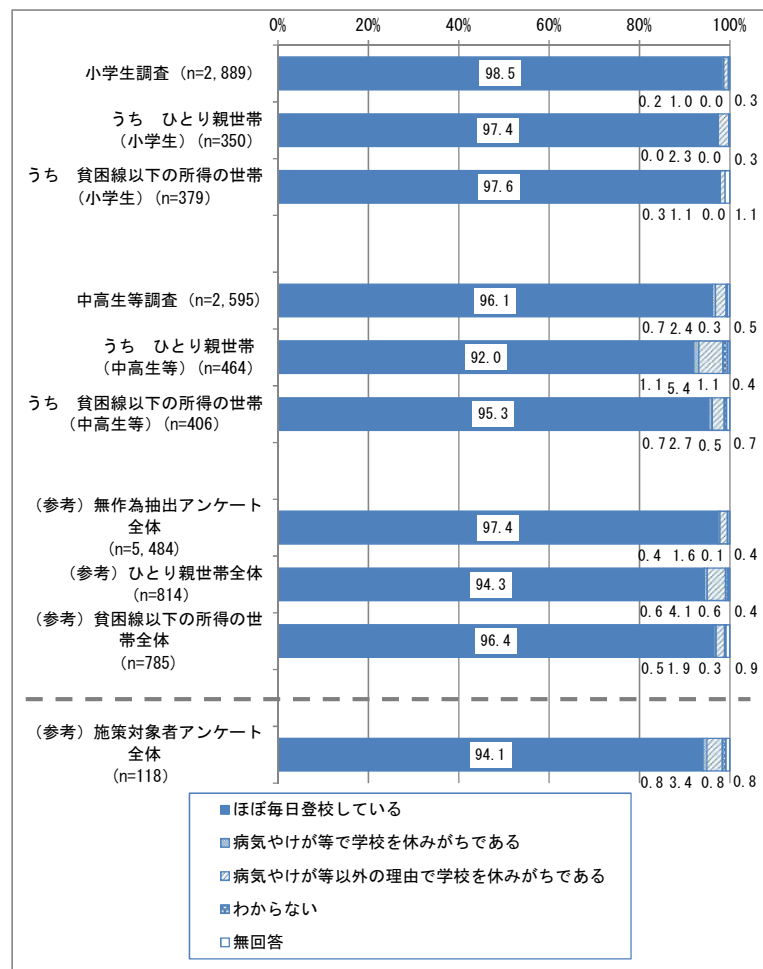
	(n=)	良好	普通	遅れている	わからない	無回答
小学生調査	2,889	50.3	38.0	9.8	1.7	0.3
うち 最も優先すべき	980	56.1	34.5	7.2	1.7	0.4
うち できるなら優先すべき	1,807	47.5	39.8	10.8	1.6	0.3
うち 他に優先すべきことがある・わからない	73	38.4	43.8	15.1	2.7	0.0
中高生等調査	2,595	42.5	39.2	17.0	1.0	0.3
うち 最も優先すべき	992	45.9	39.4	13.8	0.7	0.2
うち できるなら優先すべき	1,496	40.8	39.0	18.8	1.1	0.3
うち 他に優先すべきことがある・わからない	54	22.2	50.0	22.2	3.7	1.9

※ 「他に優先すべきことがある・わからない」は、「他に優先すべきことがある」と「わからない」と回答した人の合計

ウ 登校状況【小学生・中学生等のみ】

登校状況については、小学生、中学生等のいずれも大きな違いはありませんが、「ひとり親世帯」で「病気やけが等以外の理由で学校を休みがちである」の割合が、全体と比較して高くなっています。

図表 41 登校状況



(2) 子どもの健康・生活習慣の状況

ア 食事の状況（朝食・夕食の状況、料理・外食等の頻度）

【朝食・夕食の回数】

- 朝食や夕食の状況については、乳幼児、小学生、中学生等のいずれも「ほぼ毎日」食べているが大半を占めています。
- 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」も同様となっていますが、「ひとり親世帯」では、朝食を「ほとんど食べない」の割合が乳幼児 3.8%、小学生 2.3%、中学生等 9.1%と、全体と比較して高くなっております。

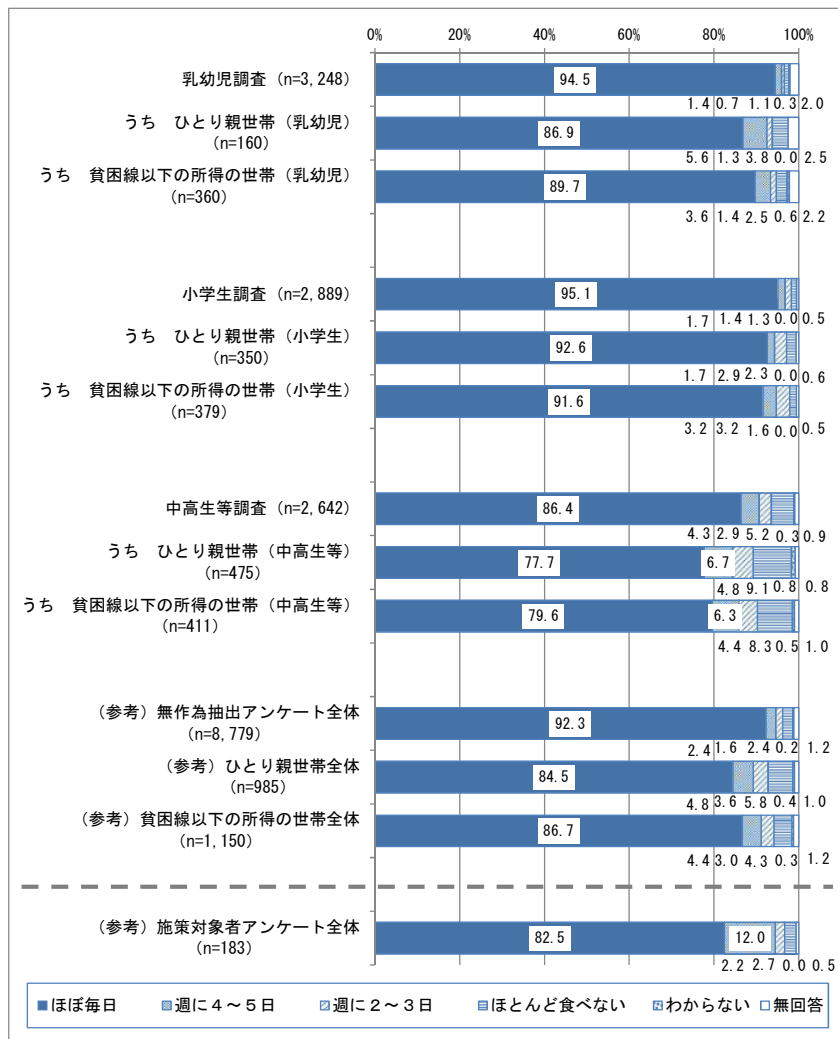
【朝食・夕食を一緒に食べる人】

- 朝食・夕食を一緒に食べる人については、乳幼児、小学生、中学生等のいずれも「母親」と一緒に食べる割合が最も高く、次いで「きょうだい（兄弟姉妹）」となっています。
- 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」も同様となっていますが、朝食においては、「ひとり親世帯」の「本人のみ」で食べる割合が、他と比較して高くなっています。

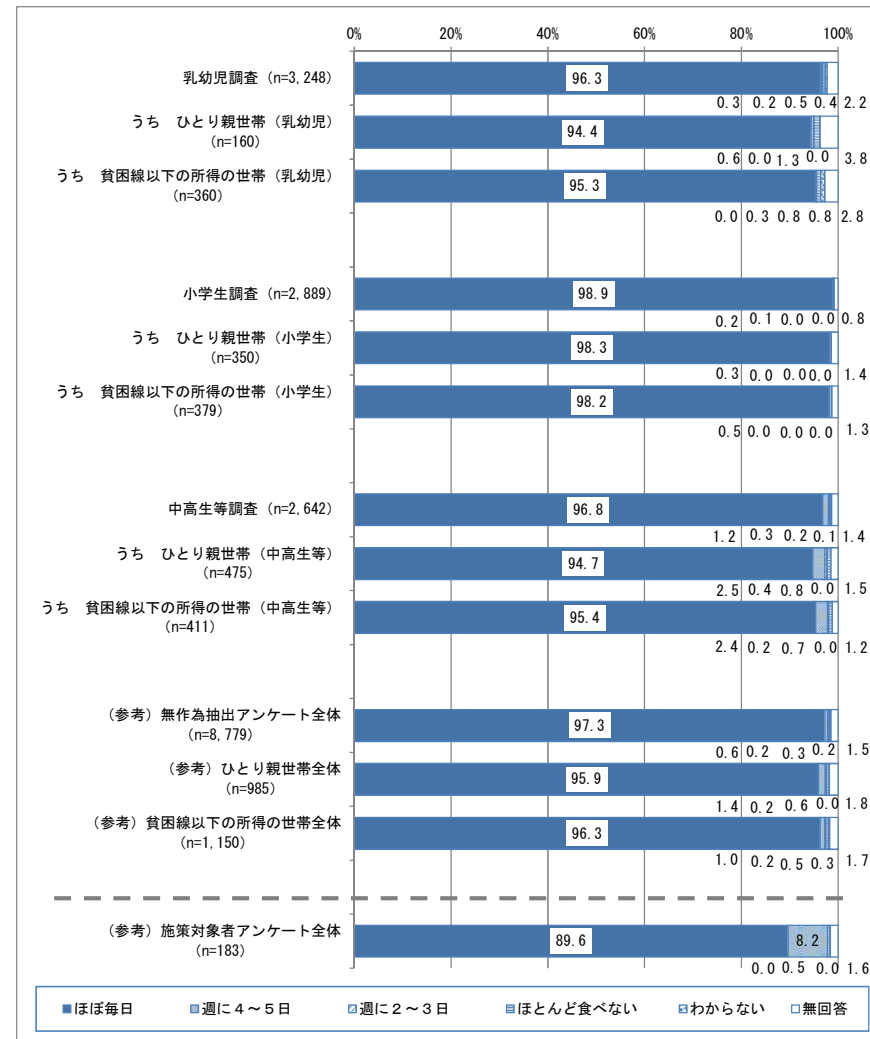
【夕食をつくる頻度】

- 夕食をつくる頻度については、乳幼児、小学生、中学生等のいずれも「ほとんど毎日」の割合が最も高くなっています。
- 「ひとり親世帯」では、夕食をつくる頻度が「ほとんど毎日」の割合が、他と比較して低くなっています。

図表 42 朝食の回数



図表 43 夕食の回数



図表 44 朝食と一緒に食べる人

(単位: %)

	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい(兄弟姉妹)	本人(宛名のお子さん)のみ	その他	わからない	無回答
乳幼児調査(n=3,248)	88.7	33.2	5.2	2.7	39.8	2.6	0.6	0.2	2.2
うち ひとり親世帯(乳幼児)(n=160)	78.8	3.1	30.0	15.0	26.9	4.4	1.9	0.0	1.9
うち 貧困線以下の所得の世帯(乳幼児)(n=360)	86.4	27.5	13.3	7.5	42.2	2.5	1.4	0.3	2.5
小学生調査(n=2,889)	75.7	30.4	4.7	1.8	61.8	4.9	0.5	0.1	0.8
うち ひとり親世帯(小学生)(n=350)	67.7	4.6	16.6	5.1	40.6	9.7	2.3	0.3	1.1
うち 貧困線以下の所得の世帯(小学生)(n=379)	72.0	14.8	10.3	2.6	57.0	5.0	1.1	0.0	1.3
中高生等調査(n=2,642)	55.5	22.6	3.5	1.3	40.0	22.1	1.5	0.2	2.8
うち ひとり親世帯(中高生等)(n=475)	53.9	4.2	8.6	3.2	29.1	23.8	3.4	0.0	3.4
うち 貧困線以下の所得の世帯(中高生等)(n=411)	58.9	14.1	5.6	1.9	35.8	23.4	1.7	0.2	3.2
(参考)無作為抽出アンケート全体(n=8,779)	74.5	29.1	4.5	2.0	47.1	9.2	0.8	0.1	1.9
(参考)ひとり親世帯全体(n=985)	62.8	4.2	14.9	5.8	32.8	15.6	2.7	0.1	2.3
(参考)貧困線以下の所得の世帯全体(n=1,150)	71.8	18.5	9.6	3.9	44.8	10.8	1.4	0.2	2.3
(参考)施策対象者アンケート全体(n=183)	67.2	10.9	13.1	4.4	51.9	7.1	0.5	7.7	2.2

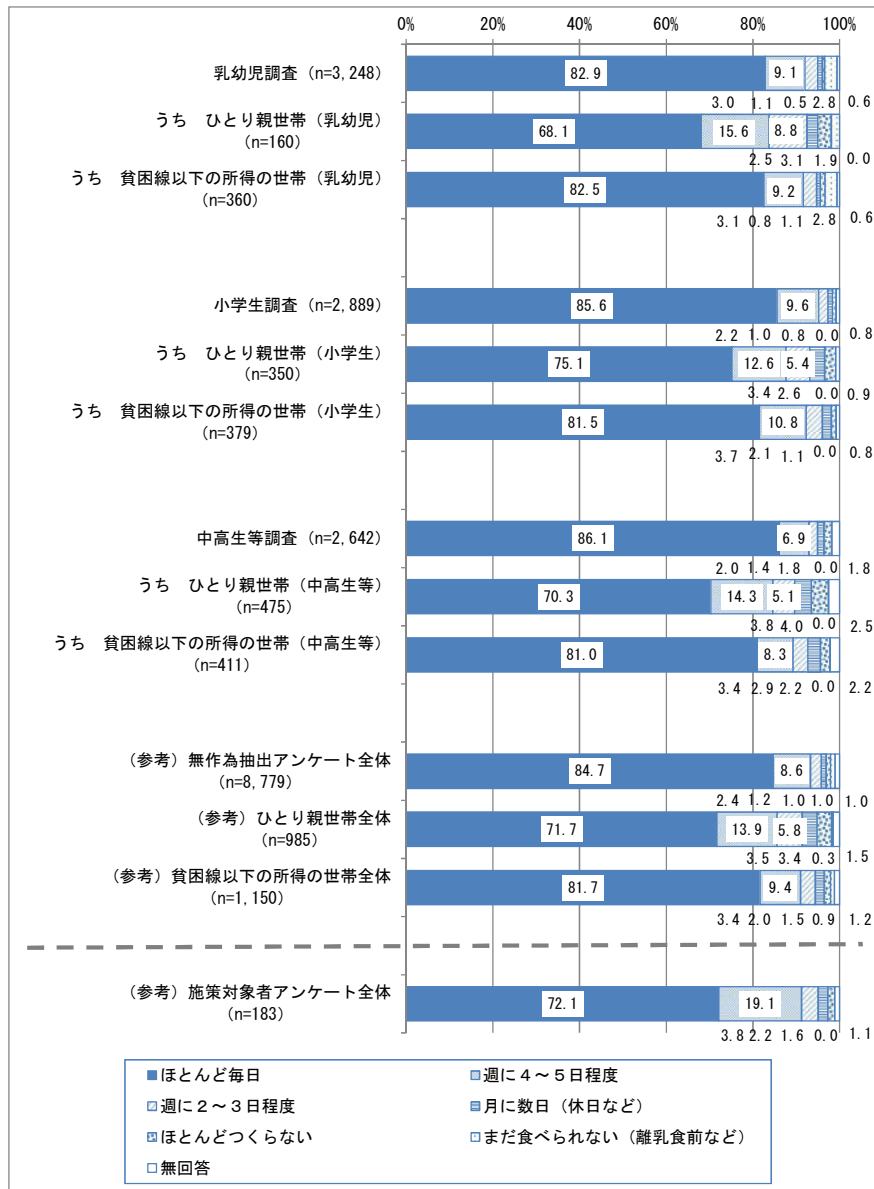
図表 45 夕食と一緒に食べる人

(単位: %)

	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい(兄弟姉妹)	本人(宛名のお子さん)のみ	その他	わからない	無回答
乳幼児調査(n=3,248)	92.8	35.8	9.8	5.8	42.2	2.0	1.3	0.2	2.6
うち ひとり親世帯(乳幼児)(n=160)	86.9	4.4	39.4	23.1	27.5	0.6	5.0	0.0	4.4
うち 貧困線以下の所得の世帯(乳幼児)(n=360)	91.7	35.6	17.5	11.7	44.2	1.1	3.1	0.3	3.9
小学生調査(n=2,889)	92.0	35.5	11.0	5.6	65.8	0.5	1.8	0.0	0.8
うち ひとり親世帯(小学生)(n=350)	78.6	7.7	28.3	13.1	43.1	0.3	5.1	0.3	1.7
うち 貧困線以下の所得の世帯(小学生)(n=379)	87.6	27.4	18.5	6.9	60.4	0.0	2.9	0.0	1.3
中高生等調査(n=2,642)	83.5	36.9	8.8	4.2	54.1	5.5	2.2	0.2	1.6
うち ひとり親世帯(中高生等)(n=475)	71.6	6.3	17.5	9.3	41.1	7.2	4.6	0.2	2.5
うち 貧困線以下の所得の世帯(中高生等)(n=411)	82.7	27.3	11.7	5.6	51.8	5.4	2.9	0.2	1.5
(参考)無作為抽出アンケート全体(n=8,779)	89.7	36.1	9.9	5.3	53.6	2.6	1.7	0.1	1.7
(参考)ひとり親世帯全体(n=985)	76.5	6.5	24.9	12.9	39.6	3.7	4.9	0.2	2.5
(参考)貧困線以下の所得の世帯全体(n=1,150)	87.1	29.9	15.7	7.9	52.3	2.3	3.0	0.2	2.2
(参考)施策対象者アンケート全体(n=183)	80.3	12.6	21.3	8.7	56.3	4.4	2.2	0.0	2.2

図表 46 夕食をつくる頻度

(単位: %)



イ 起床・就寝時間

【起床時間】

- 起床時間については、乳幼児、小学生、中高生等のいずれも「7時台」の割合が最も高くなっており、「ひとり親世帯」、「貧困線以下の所得の世帯」でも大きな違いはありません。

【就寝時間】

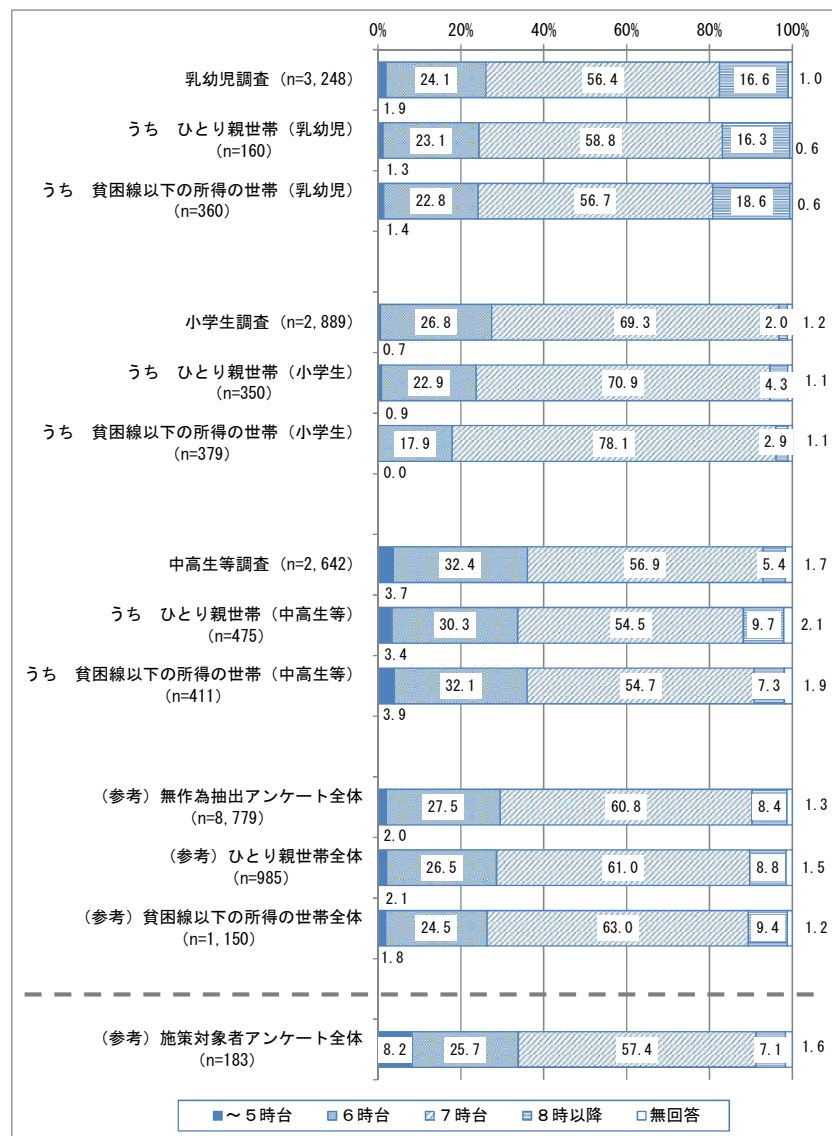
- 就寝時間について、乳幼児は「21時台」が51.3%、小学生は「22時台」が45.1%と最も高くなっています。中高生等は「23時台」、「0時以降」が40.1%、42.1%とおおむね同割合となっています。また、乳幼児、小学生、中高生等のいずれも「ひとり親世帯」では、遅い時間帯の割合が他に比較して高くなっています。

【睡眠時間】

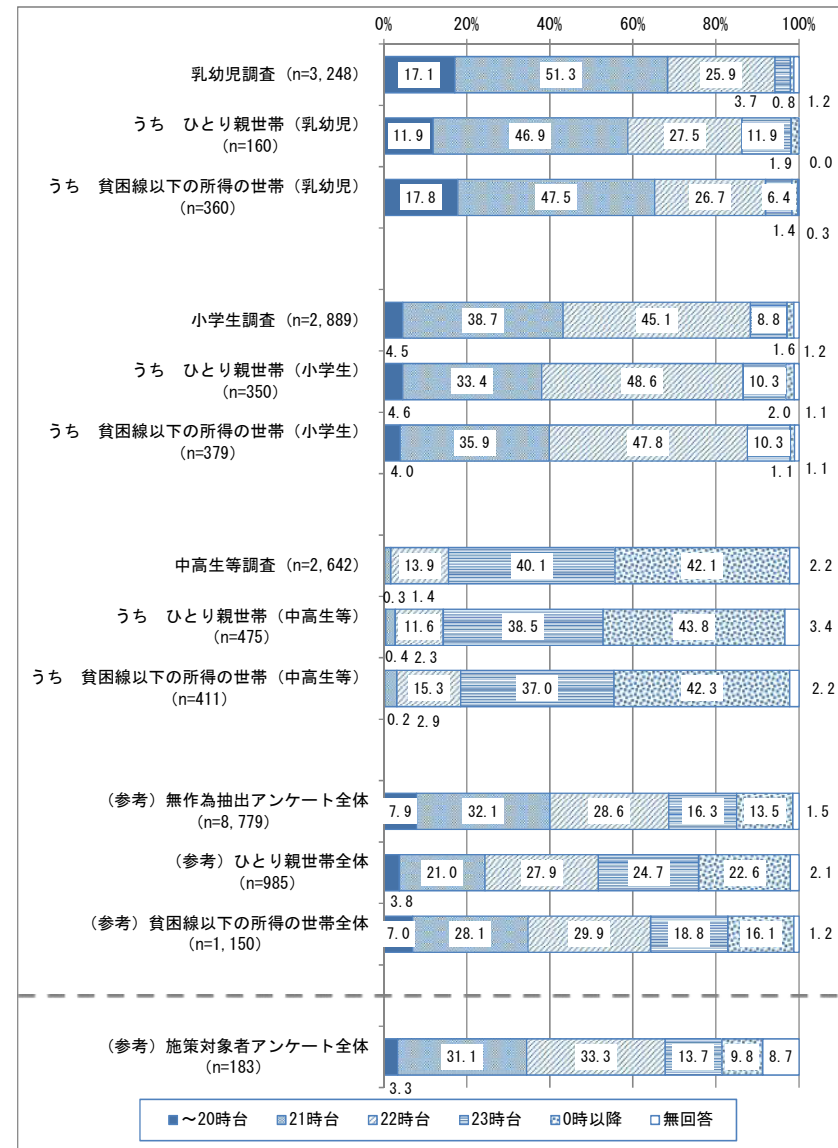
- 睡眠時間については、乳幼児は「10時間以上」が58.7%、小学生は「9～10時間未満」が55.2%と最も高くなっています。中高生等は「7～8時間未満」と「8～9時間未満」が38.6%、31.1%となっています。一方で、「ひとり親世帯」では、乳幼児の「10時間以上」の割合が全体と比較して低くなっています。

図表 47 子どもの起床時間・就寝時間

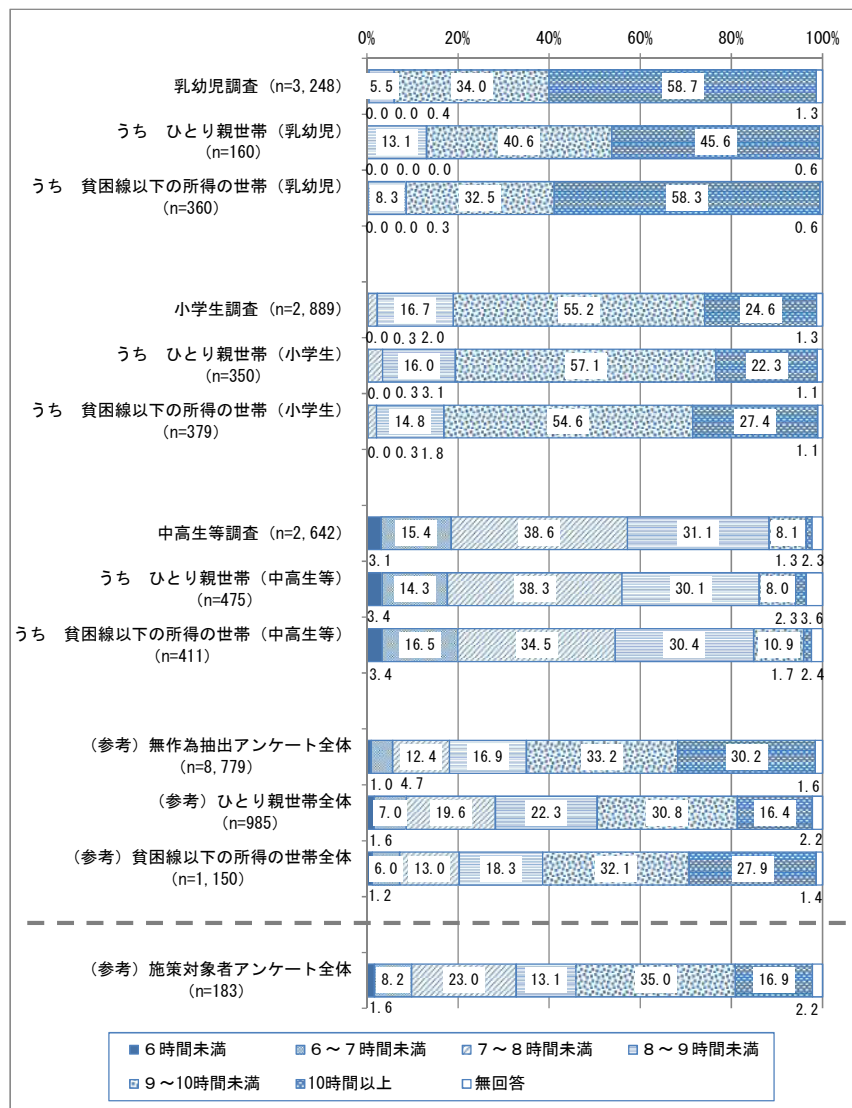
<起床時間>



<就寝時間>



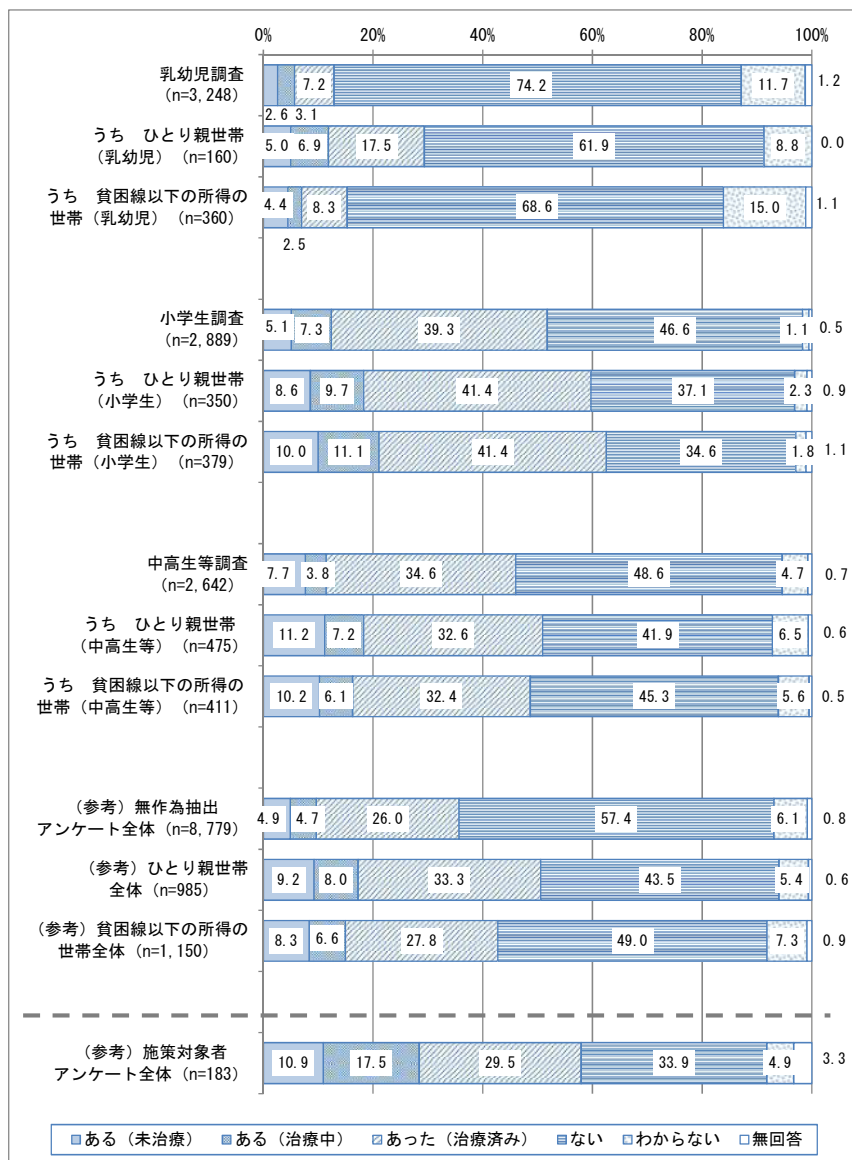
図表 48 睡眠時間



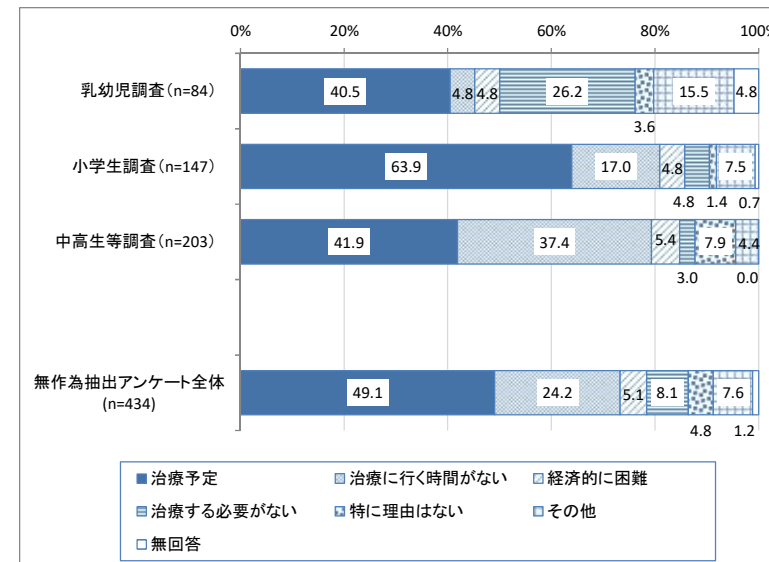
ウ むし歯の状況

- ・ むし歯について、「ない」が乳幼児 74.2%、小学生 46.6%、中学生等 48.6%と最も高くなっている一方で、「ある（未治療）」が、乳幼児は 2.6%、小学生は 5.1%、中学生等は 7.7%となっています。
- ・ 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」は全体的に「ある（未治療）」の割合が全体と比較して高く、「ない」の割合が低くなっています。
- ・ むし歯を治療していない理由については、「治療予定」以外で、乳幼児では「治療する必要がない」、小学生、中学生等では「治療に行く時間がない」が多くなっています。「経済的に困難」の割合は、乳幼児、小学生、中学生等のいずれも約 5%となっています。
- ・ 子育てにかかる時間やお金等の優先度別のむし歯の有無について、乳幼児、小学生、中学生等のいずれも、子育てにかかる時間やお金を「最も優先すべき」の場合、むし歯が「ない」の割合が他と比較して高くなっています。

図表 49 むし歯の有無



図表 50 むし歯を治療していない理由



※ ひとり親世帯や貧困線以下の所得の世帯、施策対象者アンケートについては、標本数が少ないため掲載していない。

図表 51 子育てにかかる時間やお金等の優先度別 むし歯の有無 (単位: %)

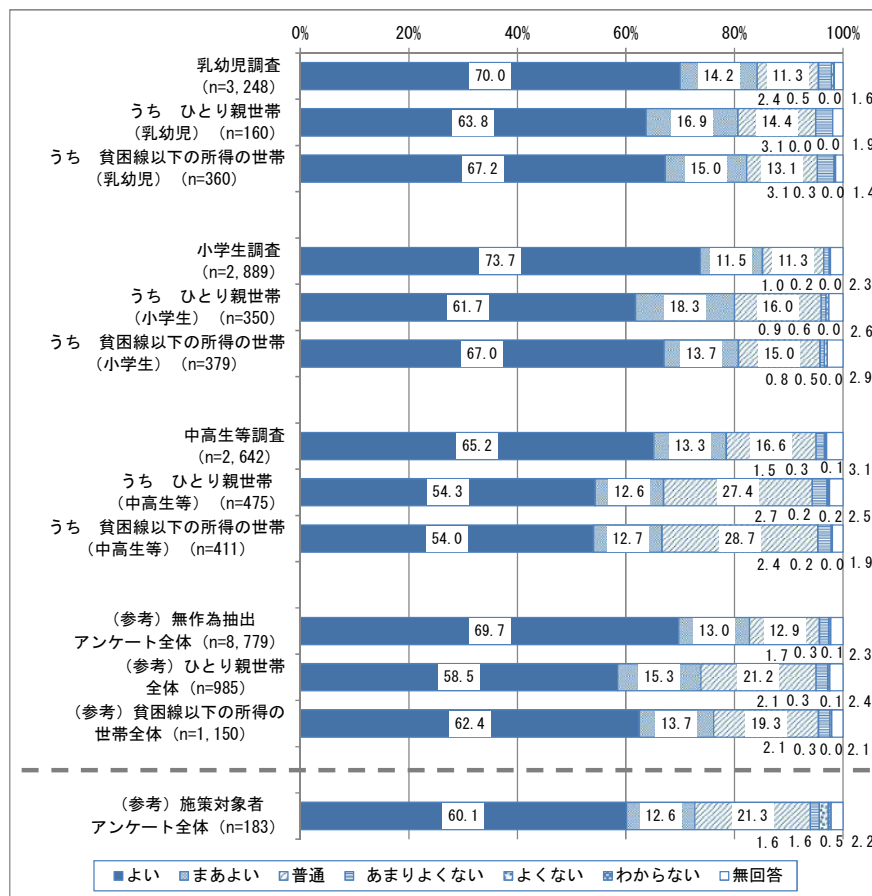
	(n=)	ある(未治療・わからない)	あった(治療中)	ない	無回答
乳幼児調査	3,248	14.3	10.3	74.2	1.2
うち 最も優先すべき	1,197	14.0	9.2	75.4	1.4
うち できるなら優先すべき	1,961	14.1	11.0	73.8	1.1
うち 他に優先すべきことがある・わからない	83	20.5	12.0	67.5	0.0
小学生調査	2,889	6.2	46.7	46.6	0.5
うち 最も優先すべき	980	5.8	43.4	50.1	0.7
うち できるなら優先すべき	1,807	6.2	48.3	45.0	0.4
うち 他に優先すべきことがある・わからない	73	11.0	52.1	37.0	0.0
中高生等調査	2,642	12.4	38.3	48.6	0.7
うち 最も優先すべき	1,005	9.6	34.1	55.7	0.6
うち できるなら優先すべき	1,520	13.4	41.4	44.5	0.7
うち 他に優先すべきことがある・わからない	57	26.3	28.1	43.9	1.8

※ 「他に優先すべきことがある・わからない」は「他に優先すべきことがある」と「わからない」と回答した人の合計

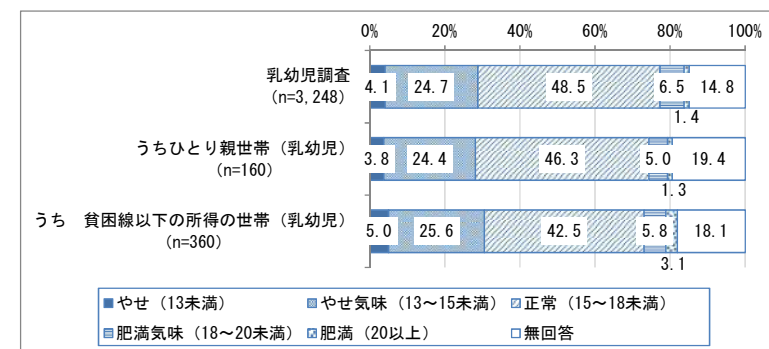
エ 健康状態、身長・体重、健康診査の受診状況【健康状態以外は乳幼児のみ】

- 子どもの健康状態については、乳幼児、小学生、中学生等のいずれも、大半が「よい」や「まあよい」と回答していますが、「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」の「よい」の割合が全体と比較して低くなっています。
- 健康診査の受診状況については、「受診している」と「その他」（健診を受けられる年齢になっていない、健診当時に京都市外に住んでいた等）で大半を占めています。

図表 52 子どもの健康状態



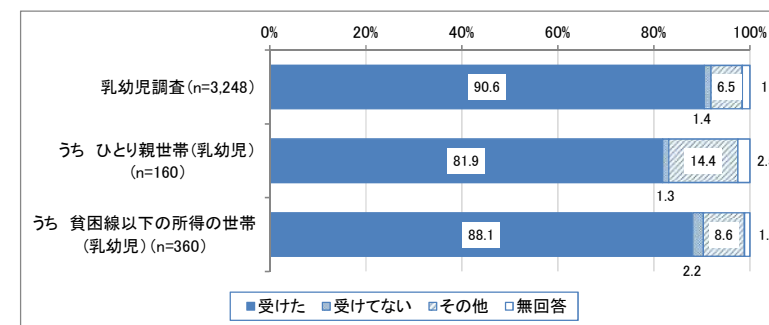
図表 53 カウプ指数(乳幼児)



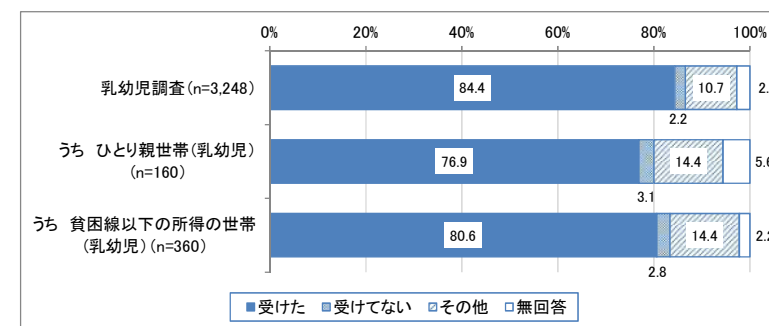
※ カウプ指数とは：乳幼児の発育の程度を表す指数。体重[g]÷(身長[cm]×身長[cm])×10で算出。

図表 54 乳幼児健診の受診状況(乳幼児)

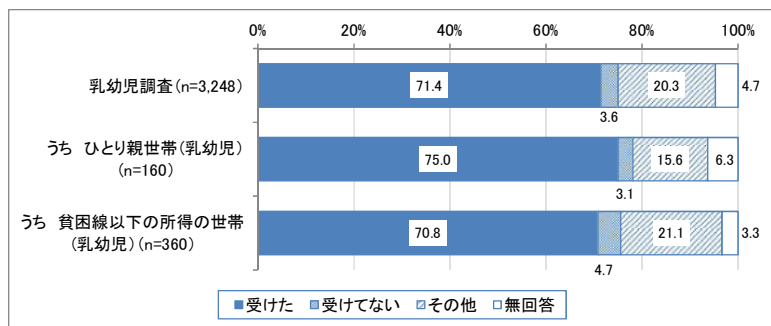
<乳幼児健康診査(生後4か月)>



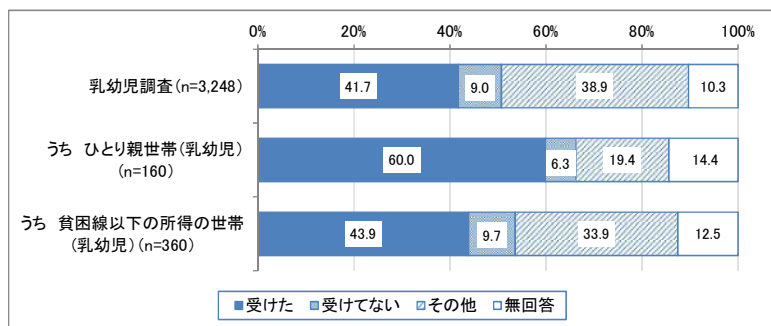
<乳幼児健康診査(生後8か月)>



<1歳6か月健康診査>



<3歳児健康診査>



オ 所有物（自分一人で使うものとして持っているもの）

- ・ 所有物（自分一人で使うものとして持っているもの）について、乳幼児は「どれも持っていない」の割合が86.6%、小学生、中学生等は「勉強机」の割合が63.2%、82.1%と最も高くなっています。
- ・ 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」では、小学生、中学生等において、「勉強机」、「部屋」は全体と比較して低い一方、小学生においては、「テレビ」、「携帯電話」、「スマートフォン」、「携帯ゲーム機」が、中学生等においては、「テレビ」、「スマートフォン」の割合が高い傾向にあります。

図表 55 所有物（自分一人で使うものとして持っているもの）

（単位：％）

	テレビ	携帯電話 スマートフォンを除く	スマートフォン	パソコン	タブレット端末	テレビゲーム	携帯ゲーム機	勉強机	部屋	どれも持っていない	無回答
乳幼児調査 (n=3,248)	1.0	0.2	0.9	0.2	2.3	0.4	2.5	3.9	4.2	86.6	1.0
うち ひとり親世帯 (乳幼児) (n=160)	3.1	2.5	0.6	0.0	5.0	2.5	5.0	3.8	8.8	73.8	1.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (乳幼児) (n=360)	1.7	0.6	1.1	0.8	2.2	1.1	3.3	3.9	3.9	85.3	1.1
小学生調査 (n=2,889)	2.5	23.8	3.8	1.5	9.9	13.4	47.7	63.2	30.5	13.2	1.5
うち ひとり親世帯 (小学生) (n=350)	6.3	30.6	9.1	2.9	12.0	20.9	56.0	57.7	28.3	10.3	1.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (小学生) (n=379)	5.3	24.5	6.3	1.3	9.8	13.7	54.1	55.7	25.1	12.7	1.1
中学生等調査 (n=2,642)	10.8	11.5	72.2	12.7	16.0	17.5	43.8	82.1	62.8	0.8	1.6
うち ひとり親世帯 (中学生等) (n=475)	14.9	11.2	76.8	14.1	13.1	18.3	37.5	70.9	53.5	1.3	1.3
うち 貧困線以下の所得の世帯 (中学生等) (n=411)	11.7	10.7	75.9	12.9	12.9	17.3	40.4	72.0	49.9	1.7	1.0
(参考) 無作為抽出 アンケート全体 (n=8,779)	4.5	11.4	23.3	4.4	8.9	9.8	29.8	47.0	30.5	36.6	1.3
(参考) ひとり親世帯全体 (n=985)	9.9	16.6	40.4	7.8	11.4	16.6	38.8	55.3	37.3	16.2	1.3
(参考) 貧困線以下の所得の世帯全体 (n=1,150)	6.4	12.1	29.6	5.3	8.5	11.0	33.3	45.3	27.3	31.5	1.0
(参考) 施策対象者 アンケート全体 (n=183)	4.4	20.8	20.8	9.8	5.5	6.6	22.4	32.8	14.2	34.4	1.1

カ テレビやスマートフォン等の使用時間

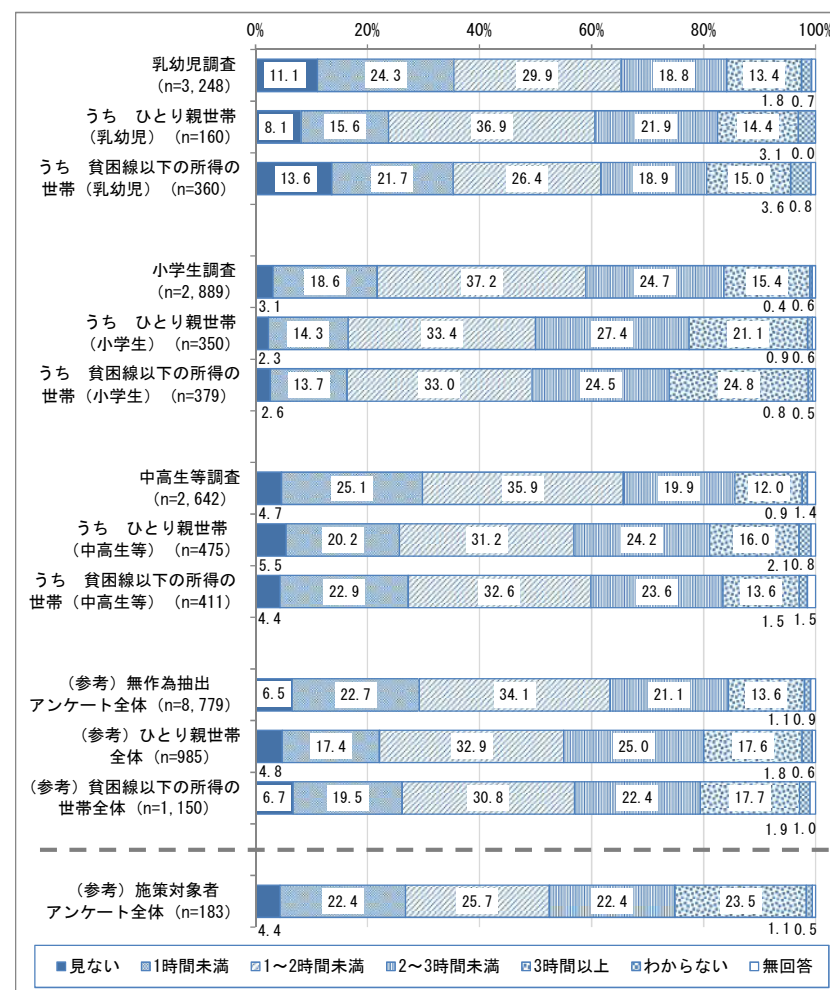
【テレビの視聴時間】

- ・ 乳幼児，小学生，中学生等のいずれも「1～2時間未満」が最も高くなっています。
- ・ 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」について，小学生，中学生等で「3時間以上」の割合が全体と比較して高くなっています。

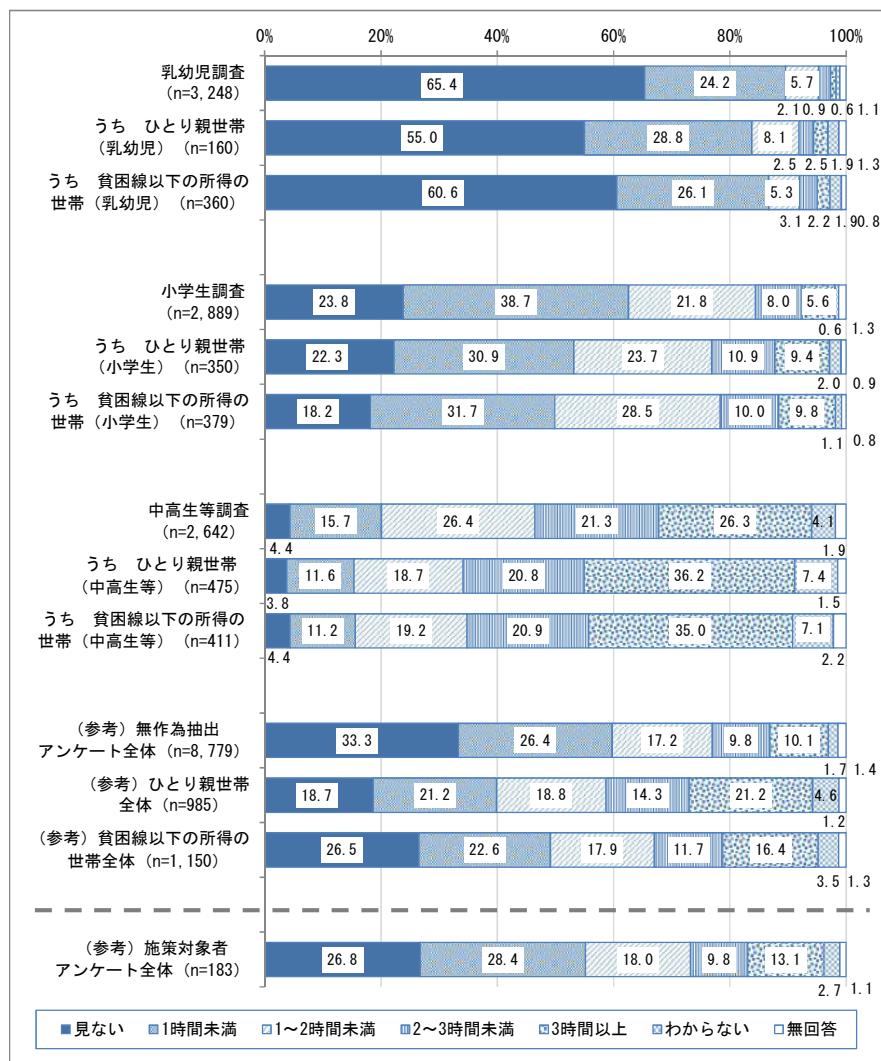
【携帯ゲームやスマートフォン等の使用時間】

- ・ 乳幼児では「見ない」の割合が，小学生では「1時間未満」の割合が，中学生等で「1～2時間未満」の割合が，それぞれ最も高くなっています。
- ・ 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」について，小学生，中学生等で「3時間以上」の割合が全体と比較して高くなっています。
- ・ 子どもとの関わり別について，乳幼児，小学生では，「ほぼ毎日」子どもと遊んでいる場合の「見ない」割合が他と比較して高くなっています。また，中学生等では，「ほぼ毎日」子どもと会話する機会がある場合，「1時間未満」の割合が，他と比較してやや高くなっています。

図表 56 テレビの視聴時間



図表 57 携帯ゲームやスマートフォン等の使用時間



図表 58 子どもとの関わり別 携帯ゲームやスマートフォン等の使用時間

(乳幼児、小学生は、子どもと遊ぶ頻度、中学生等は子どもと会話する頻度) (単位: %)

	(n=)	見ない	1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	わからない	無回答
乳幼児調査	3,248	65.4	24.2	5.7	2.1	0.9	0.6	1.1
うち ほぼ毎日	2,127	68.7	22.1	4.7	2.0	0.8	0.6	1.2
うち 週に3～4日	451	57.0	30.8	6.9	2.0	2.0	0.4	0.9
うち 週に1～2日	581	61.6	26.3	8.1	1.9	0.7	0.5	0.9
うち 月1～2日・めったにない	74	55.4	27.0	8.1	5.4	1.4	2.7	0.0

小学生調査	2,889	23.8	38.7	21.8	8.0	5.6	0.6	1.3
うち ほぼ毎日	441	29.9	35.4	20.9	7.0	4.8	0.9	1.1
うち 週に3～4日	516	24.2	39.5	21.1	9.5	3.7	0.4	1.6
うち 週に1～2日	1,299	24.4	40.0	21.7	7.3	5.1	0.2	1.3
うち 月1～2日・めったにない	605	17.5	37.7	23.8	9.3	9.1	1.5	1.2

中学生等調査	2,642	4.4	15.7	26.4	21.3	26.3	4.1	1.9
うち ほぼ毎日	1,600	4.3	18.7	28.5	21.1	23.0	2.9	1.5
うち 週に3～4日	493	4.1	12.2	25.4	22.9	28.0	5.3	2.2
うち 週に1～2日	322	4.0	12.4	20.2	22.4	33.9	5.9	1.2
うち 月1～2日・めったにない	161	3.7	9.3	23.0	14.3	39.1	8.7	1.9

※「月1～2日・めったにない」は「月1～2日」と「めったにない」と回答した人の合計

キ 放課後又は長期休業中の過ごし方【小学生・中高生等のみ】

【小学生】

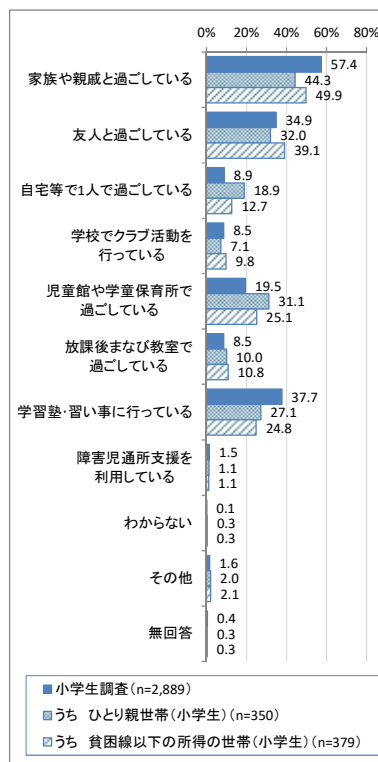
- 小学生では放課後、長期休業中ともに「家族や親戚と過ごしている」が57.4%、79.1%と最も高く、次いで「学習塾・習い事に行っている」が37.7%、30.7%となっています。
- 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」では、放課後、長期休業中ともに、全体と比較して「学習塾・習い事に行っている」の割合が低くなっており、「自宅等で1人で過ごしている」、「児童館や学童保育所で過ごしている」の割合が高くなっています。

【中高生等】

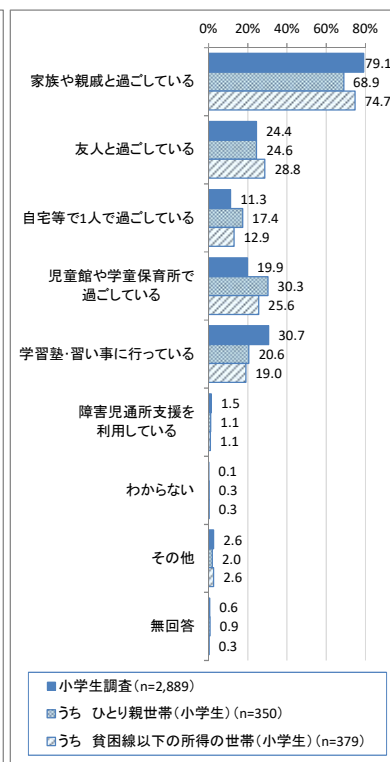
- 中高生等では、放課後、長期休業中ともに「学校でクラブ活動を行っている」の割合が61.1%、52.9%と最も高く、次いで「家族や親戚と過ごしている」が36.8%、49.6%となっています。
- 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」も同様の傾向となっていますが、「友人と過ごしている」、「自宅等で1人で過ごしている」割合がやや高い傾向にあります。

図表 59 放課後又は長期休業中の過ごし方(小学生)

<放課後>

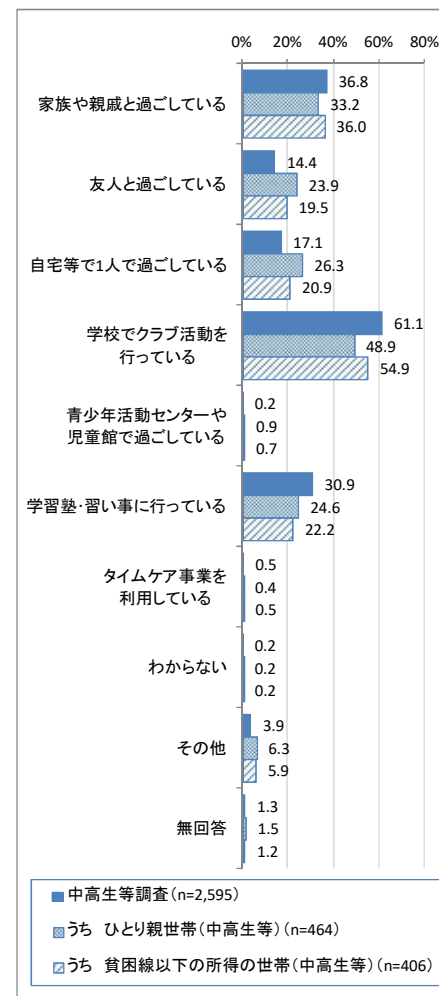


<長期休業中>

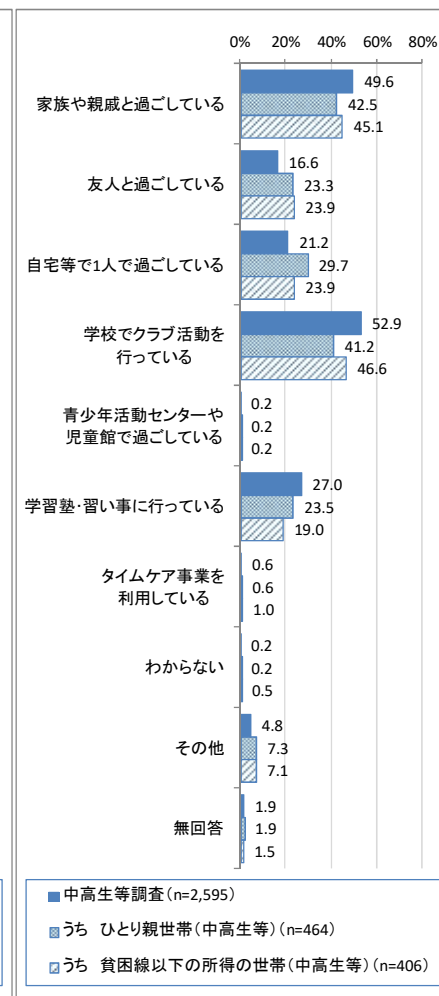


図表 60 放課後又は長期休業中の過ごし方(中高生等)

<放課後>



<長期休業中>



ク 文化芸術活動・自然体験・スポーツ活動の機会・読書の状況

【文化芸術活動・自然体験・スポーツ活動の機会は小学生・中高生等のみ】

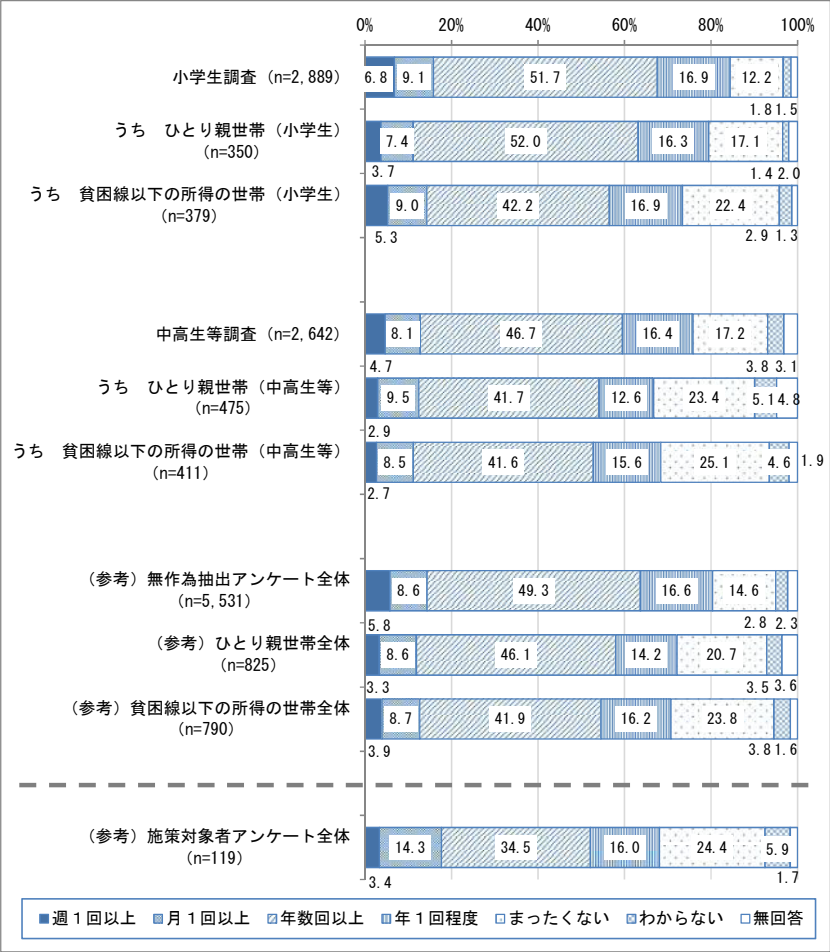
【文化芸術活動・自然体験・スポーツ活動の機会】

- 文化芸術活動については、小学生、中高生等のいずれも大きな違いはみられず、「年数回以上」が半数前後を占めています。
- 自然体験の機会については、小学生は「年数回以上」の割合が 55.5%と最も高くなっていますが、中高生等では「まったくない」の割合が 31.4%と最も高くなっています。
- スポーツ活動については、小学生、中高生等のいずれも大きな違いはなく、「週 1 回以上」の割合がいずれも 45.4%、35.9%と最も高くなっています。
- 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」は、文化芸術活動、自然体験、スポーツの機会のいずれも、それぞれの全体に比較して「まったくない」割合が高くなっています。

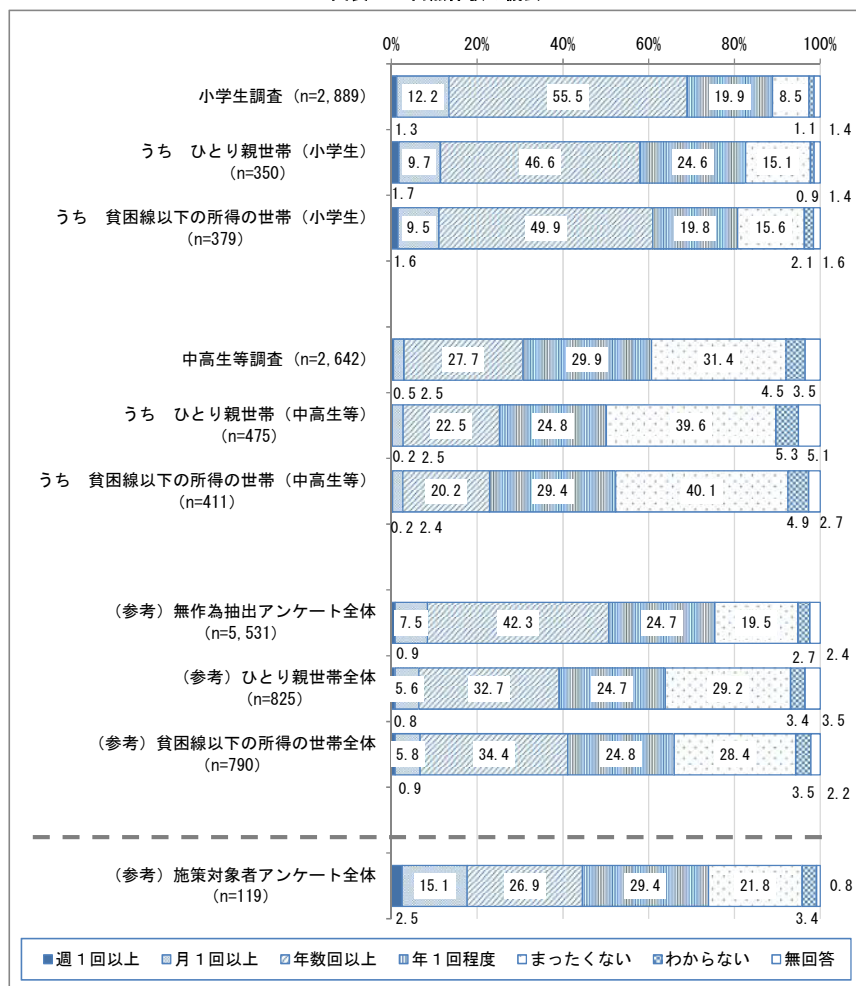
【読書の状況】

- この 1 か月間の本の読書の状況については、乳幼児は「2～5 冊」の割合が 32.4%と最も高く、次いで「11 冊以上」となっている一方で、中高生等では「読まない」の割合が 33.3%と最も高くなっています。
- 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」では、「読まない」の割合が全体と比較して高くなっています。
- マンガや雑誌については、小学生で「読まない」の割合が 37.0%と最も高い一方で、中高生等では「2～5 冊」の割合が 29.5%と最も高く、次いで「読まない」が 27.8%となっています。「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」もおおむね同様の傾向となっています。

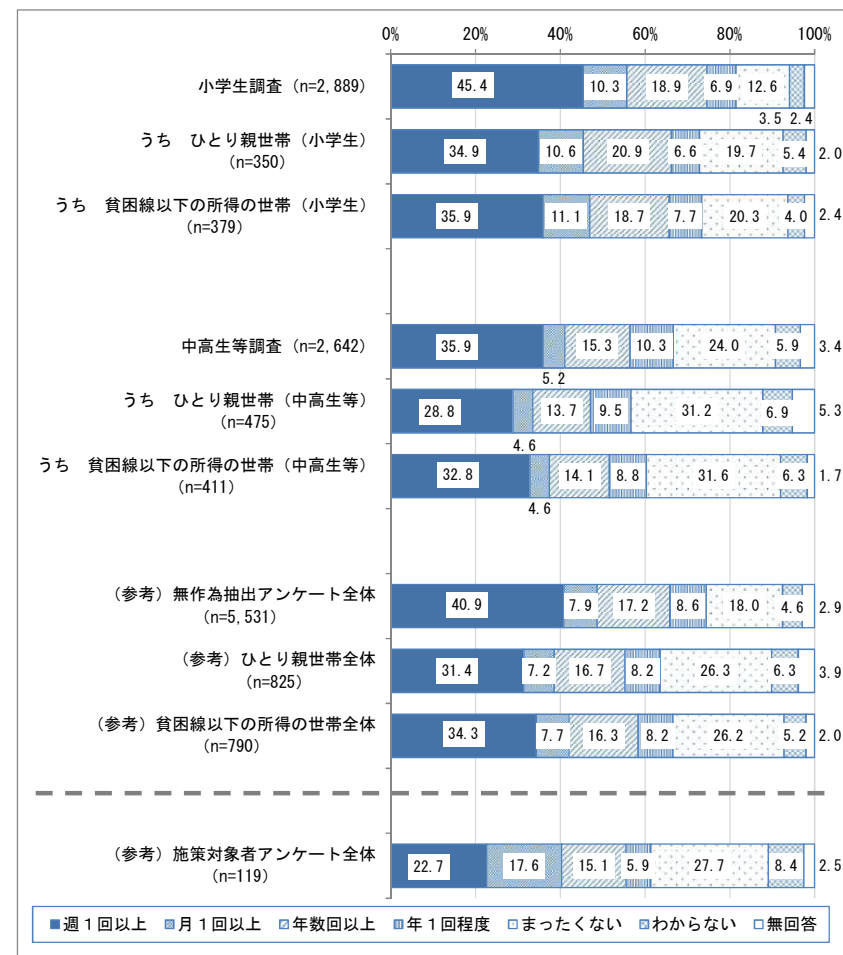
図表 61 文化芸術活動の機会



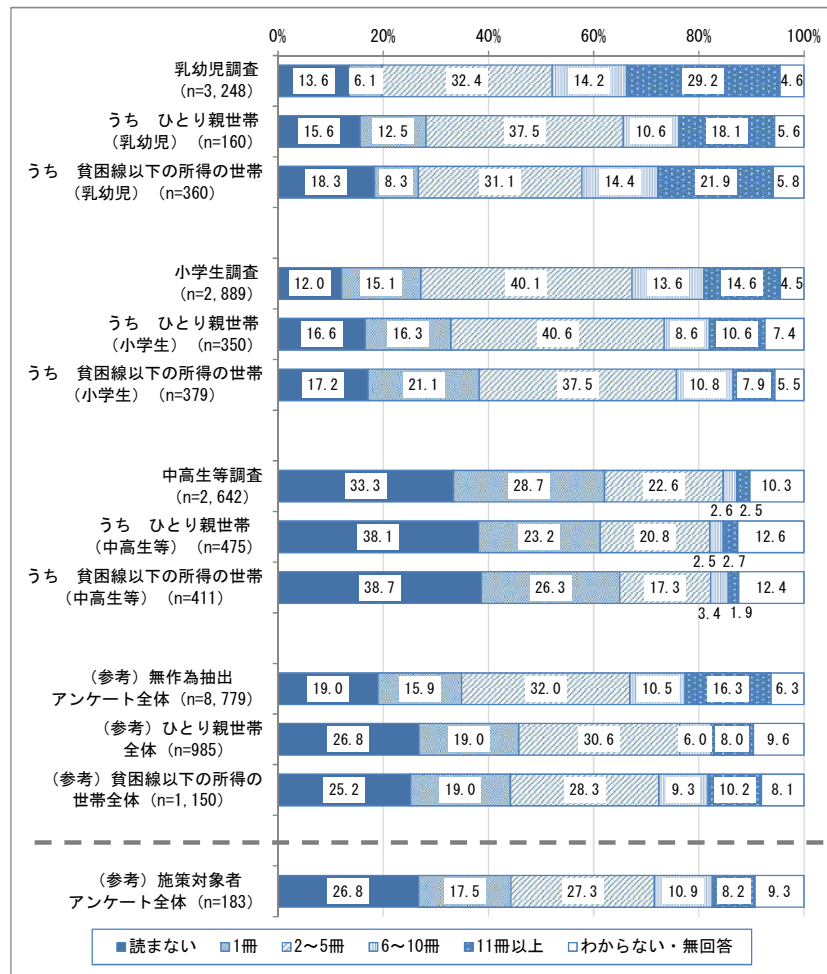
図表 62 自然体験の機会



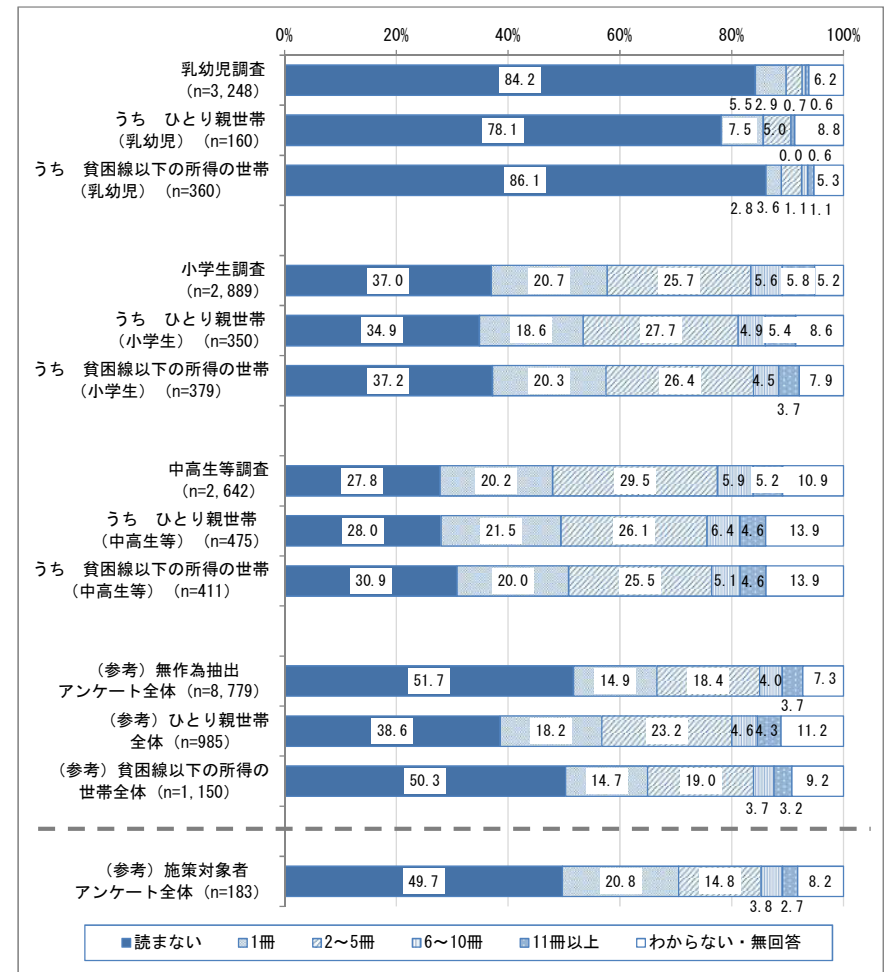
図表 63 スポーツ活動の機会



図表 64 読書の状況
＜本(マンガや雑誌を除く)＞



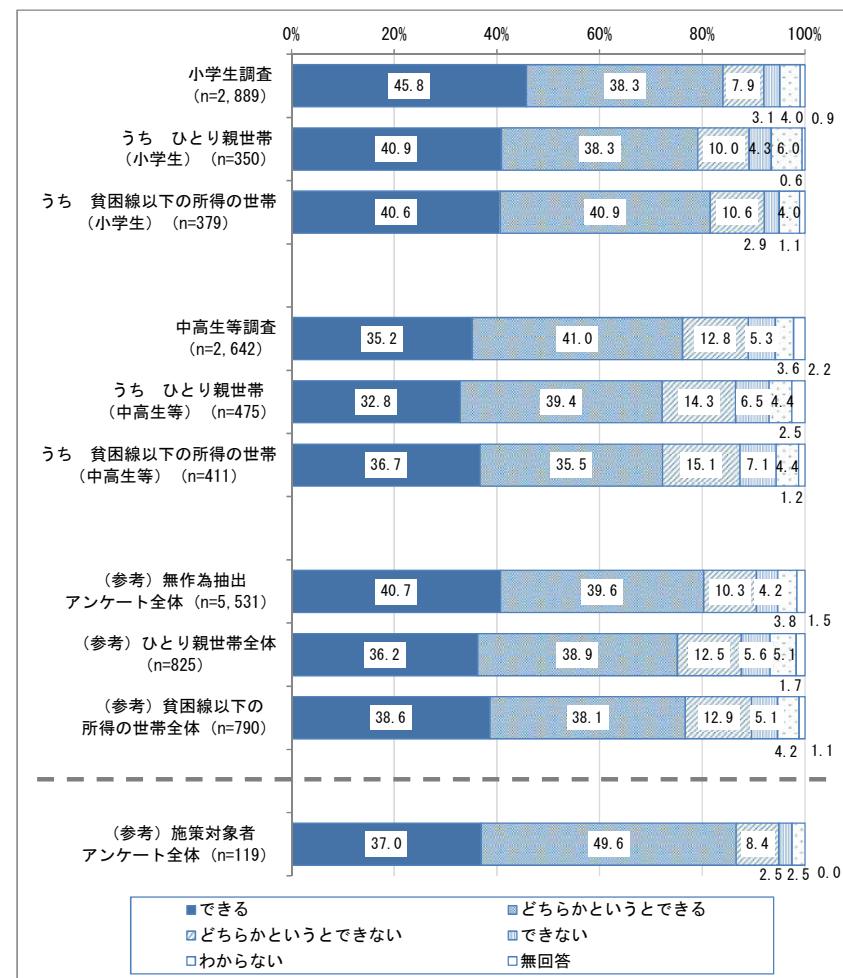
＜マンガや雑誌＞



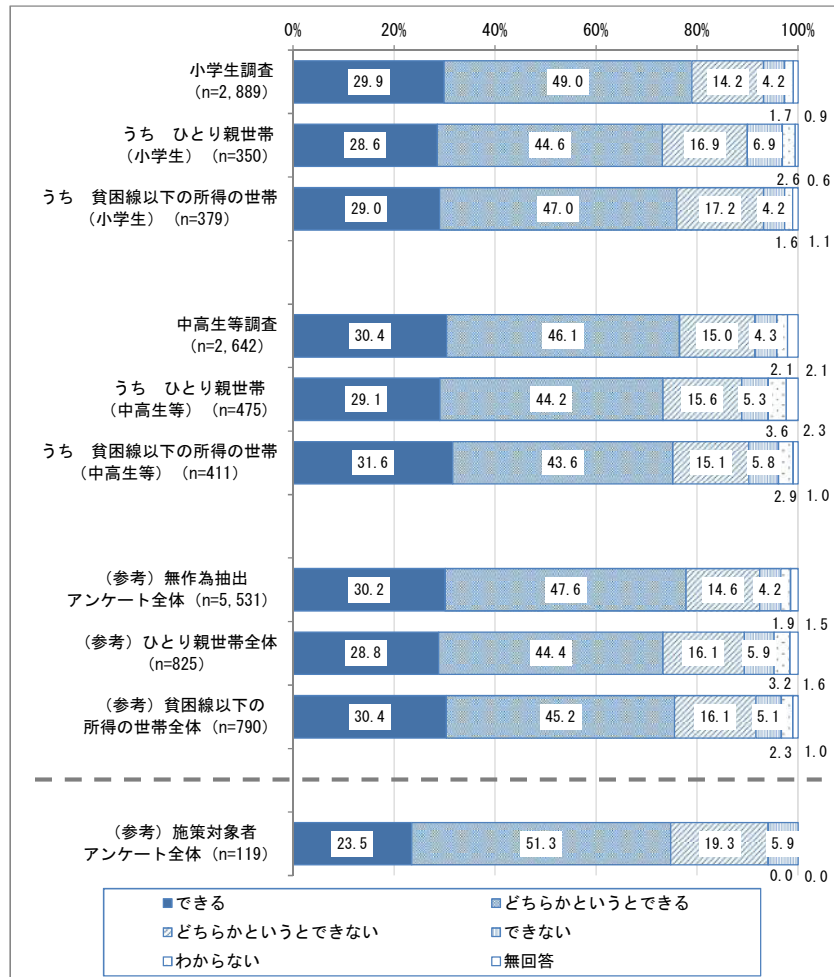
(3) 子どもの自己肯定感【小学生・中高生等のみ】

- 子どもの自己肯定感に関する「将来の明るい希望を話することができる」、「自信を持って、行動したり人と関わることができる」、「目標に向かって努力することができる」の設問に対し、小学生、中高生等のいずれも「できる」や「どちらかというところできる」の割合が高くなっています。
- 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」については、全体と比較して「どちらかというところできない」や「できない」の割合がやや高くなっています。
- 3問のすべてで、「できる」又は「どちらかというところできる」と回答した人（「自己肯定感が高い」）の割合について、小学生では70.3%、中高生等では67.1%となっています。
- 朝食について、「ほぼ毎日」食べている及び「家族の誰かと食べている」場合に、「自己肯定感が高い」割合が高くなっています。
- むし歯の有無について、小学生、中高生等のいずれも、「むし歯があった（治療済み）」、「むし歯がない」の場合において、「自己肯定感が高い」割合が、「むし歯がある（未治療）・わからない」に比べ高くなっています。
- 文化芸術活動・自然体験・スポーツ活動の機会の有無について、小学生、中高生等のいずれも、各活動の機会が「月1回以上」、「年数回以上」の場合、「自己肯定感が高い」割合が他と比較して高くなっています。
- 親との遊びや会話の関わり状況について、小学生、中高生等のいずれも、「ほぼ毎日」の場合、「自己肯定感が高い」割合が、他と比較して高くなっています。
- 子育てにかかる時間やお金などの優先度について、小学生、中高生等のいずれも、「最も優先すべき」の場合、「自己肯定感が高い」割合が、他と比較して高くなっています。

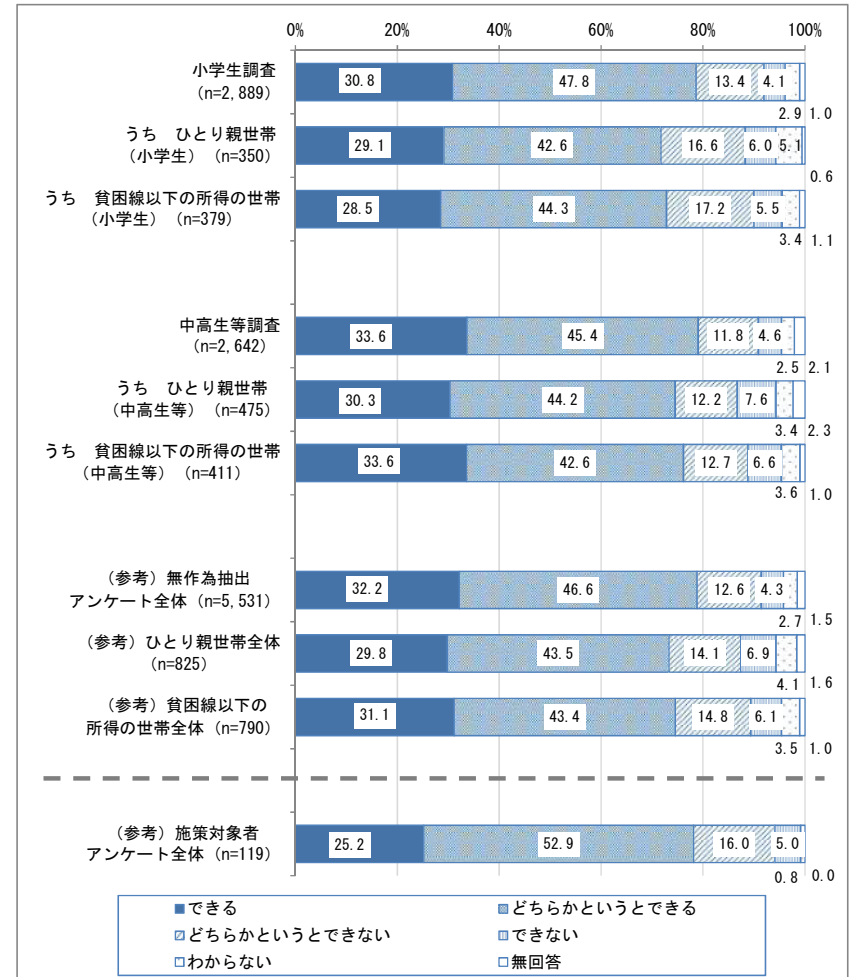
図表 65 将来の明るい希望を話することができる



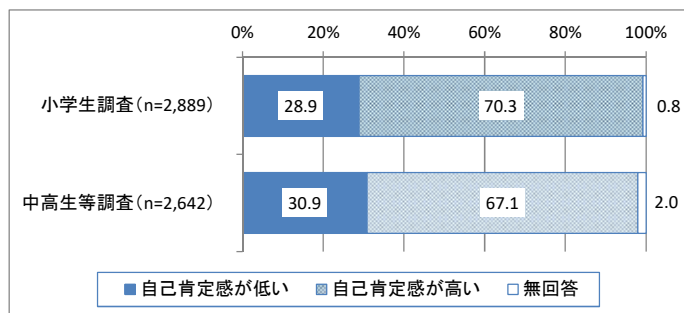
図表 66 自信を持って、行動したり人と関わることができる



図表 67 目標に向かって努力することができる



図表 68 自己肯定感の状況(まとめ)



※ 自己肯定感の状況：「将来の明るい希望を話することができる」、「自信を持って、行動したり人と関わることができる」、「目標に向かって努力することができる」について、すべてに「できる」又は「どちらかというところ」で回答した人は「自己肯定感が高い」、いずれかで「どちらかというところできない」又は「できない」と回答した人は「自己肯定感が低い」としている。

図表 69 朝食の回数別 自己肯定感の状況 (単位: %)

	(n=)	自己肯定感が低い	自己肯定感が高い	無回答
小学生調査	2,889	28.9	70.3	0.8
うち ほぼ毎日	2,748	28.2	70.9	0.8
うち 週に4~5日	49	40.8	59.2	0.0
うち 週に2~3日以下・わからない	78	44.9	55.1	0.0
中高生等調査	2,642	30.9	67.1	2.0
うち ほぼ毎日	2,283	28.8	69.4	1.8
うち 週に4~5日	113	35.4	61.9	2.7
うち 週に2~3日以下・わからない	221	52.5	45.2	2.3

※ 「週に2~3日以下・わからない」は「週に2~3日以下」と「わからない」と回答した人の合計

図表 70 朝食を一緒に食べる人別 自己肯定感の状況 (単位: %)

	(n=)	自己肯定感が低い	自己肯定感が高い	無回答
小学生調査	2,889	28.9	70.3	0.8
うち 家族の誰かと食べている	2,721	28.0	71.3	0.8
うち 本人のみ	143	45.5	53.8	0.7
中高生等調査	2,642	30.9	67.1	2.0
うち 家族の誰かと食べている	1,978	29.4	68.8	1.8
うち 本人のみ	585	36.6	61.4	2.1

図表 71 むし歯の有無別 自己肯定感の状況 (単位: %)

	(n=)	自己肯定感が低い	自己肯定感が高い	無回答
小学生調査	2,889	28.9	70.3	0.8
うち ある(未治療)・わからない	180	36.7	62.2	1.1
うち あった	1,348	28.9	70.3	0.7
うち ない	1,346	27.9	71.3	0.8
中高生等調査	2,642	30.9	67.1	2.0
うち ある(未治療)・わからない	327	40.7	56.6	2.8
うち あった	1,013	29.4	68.3	2.3
うち ない	1,283	29.7	68.7	1.6

※ 「ある(未治療)・わからない」は「ある(未治療)」と「わからない」と回答した人の合計

図表 72 文化芸術活動・自然体験・スポーツ活動の機会の有無別 自己肯定感の状況

<文化芸術活動> (単位: %)

	(n=)	自己肯定感が低い	自己肯定感が高い	無回答
小学生調査	2,889	28.9	70.3	0.8
うち 月1回以上	458	19.0	81.0	0.0
うち 年数回以上	1,494	27.1	72.8	0.1
うち 年1回程度	488	34.4	65.6	0.0
うち まったくない・わからない	406	42.1	57.9	0.0

中高生等調査	2,642	30.9	67.1	2.0
うち 月1回以上	337	23.4	76.6	0.0
うち 年数回以上	1,235	26.3	73.5	0.2
うち 年1回程度	432	37.0	63.0	0.0
うち まったくない・わからない	555	43.8	56.0	0.2

※ 「まったくない・わからない」は「まったくない」と「わからない」と回答した人の合計

<自然体験> (単位: %)

	(n=)	自己肯定感が低い	自己肯定感が高い	無回答
小学生調査	2,889	28.9	70.3	0.8
うち 月1回以上	389	25.7	74.3	0.0
うち 年数回以上	1,604	25.9	74.1	0.0
うち 年1回程度	575	33.9	65.9	0.2
うち まったくない・わからない	280	43.6	56.4	0.0

中高生等調査	2,642	30.9	67.1	2.0
うち 月1回以上	78	24.4	75.6	0.0
うち 年数回以上	733	26.1	73.8	0.1
うち 年1回程度	791	29.2	70.7	0.1
うち まったくない・わからない	948	38.3	61.6	0.1

※ 「まったくない・わからない」は「まったくない」と「わからない」と回答した人の合計

<スポーツ活動>

(単位: %)

	(n=)	自己肯定感が低い	自己肯定感が高い	無回答
小学生調査	2,889	28.9	70.3	0.8
うち 月1回以上	1,609	23.7	76.3	0.0
うち 年数回以上	545	30.3	69.7	0.0
うち 年1回程度	200	35.5	64.5	0.0
うち まったくない・わからない	465	44.3	55.7	0.0

中高生等調査	2,642	30.9	67.1	2.0
うち 月1回以上	1,086	26.4	73.4	0.2
うち 年数回以上	404	23.0	77.0	0.0
うち 年1回程度	273	31.1	68.9	0.0
うち まったくない・わからない	790	42.9	57.0	0.1

※「まったくない・わからない」は「まったくない」と「わからない」と回答した人の合計

図表 73 親との関わり状況別 自己肯定感の状況
(小学生は親と遊ぶ頻度, 中高生等は親との日常生活の会話の頻度) (単位: %)

	(n=)	自己肯定感が低い	自己肯定感が高い	無回答
小学生調査	2,889	28.9	70.3	0.8
うち ほぼ毎日	441	20.4	79.4	0.2
うち 週に3~4日	516	22.5	77.5	0.0
うち 週に1~2日	1,299	30.8	69.1	0.1
うち 月1~2日・めったにない	605	36.9	63.0	0.2

中高生等調査	2,642	30.9	67.1	2.0
うち ほぼ毎日	1,600	24.2	75.7	0.1
うち 週に3~4日	493	34.5	65.3	0.2
うち 週に1~2日	322	48.1	51.6	0.3
うち 月1~2日・めったにない	161	58.4	41.6	0.0

※「月1~2日・めったにない」は「月1~2日」と「めったにない」と回答した人の合計

図表 74 子育てにかかる時間やお金などの優先度別 自己肯定感の状況 (単位: %)

	(n=)	自己肯定感が低い	自己肯定感が高い	無回答
小学生調査	2,889	28.9	70.3	0.8
うち 最も優先すべき	980	22.4	77.4	0.1
うち できるなら優先すべき	1,807	32.2	67.7	0.1
うち 他に優先すべきことがある・わからない	73	39.7	60.3	0.0
中高生等調査	2,642	30.9	67.1	2.0
うち 最も優先すべき	1,005	24.2	75.8	0.0
うち できるなら優先すべき	1,520	35.7	64.2	0.1
うち 他に優先すべきことがある・わからない	57	40.4	56.1	3.5

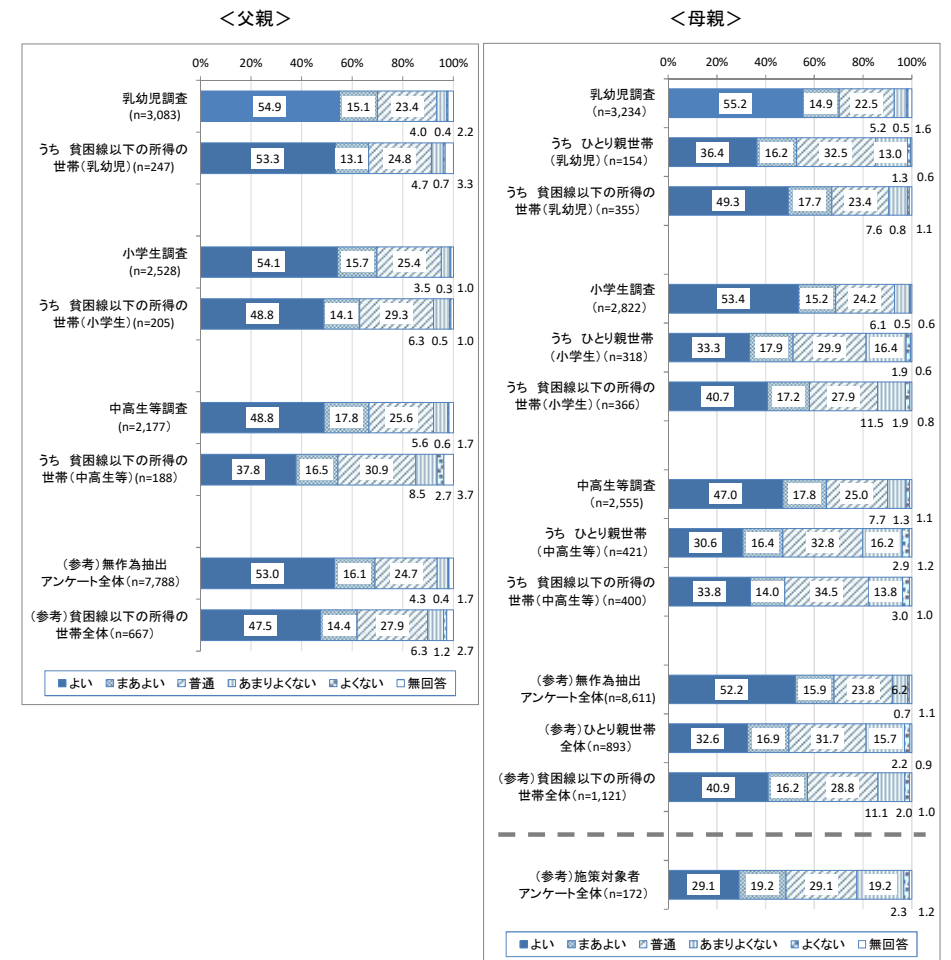
※「他に優先すべきことがある・わからない」は「他に優先すべきことがある」と「わからない」と回答した人の合計

4 保護者の状況について

(1) 保護者の健康状態

- 健康状態については、「よい」、「まあよい」という回答が半数以上を占めています。
- 「ひとり親世帯」の母親や「貧困線以下の所得の世帯」については、全体と比較して「よい」の割合が低くなっており、「よくない（「よくない」+「あまりよくない」の合計）」の割合が、全体と比較して高くなっています。

図表 75 保護者の健康状態



※ ひとり親世帯及び施策対象者アンケートでの父親の標本数が少ないため、<父親>のグラフに掲載していない。

(2) 子どもと遊ぶ頻度（中高生等は話す頻度）・勉強を教える頻度

【小学生・中高生等のみ】

【子どもと遊ぶ頻度（乳幼児・小学生）】

- 子どもと遊ぶ頻度について、乳幼児は「ほぼ毎日」が65.5%と最も高くなっていますが、小学生は「週1～2日」が最も高くなっています。
- 「ひとり親世帯」について、乳幼児では「週1～2日」が35.0%と全体と比較して高く、「ほぼ毎日」が少なくなっています。
- 父母の就労状況別について、小学生では「正社員×正社員」の「ほぼ毎日」の割合が他と比較して低くなっています。

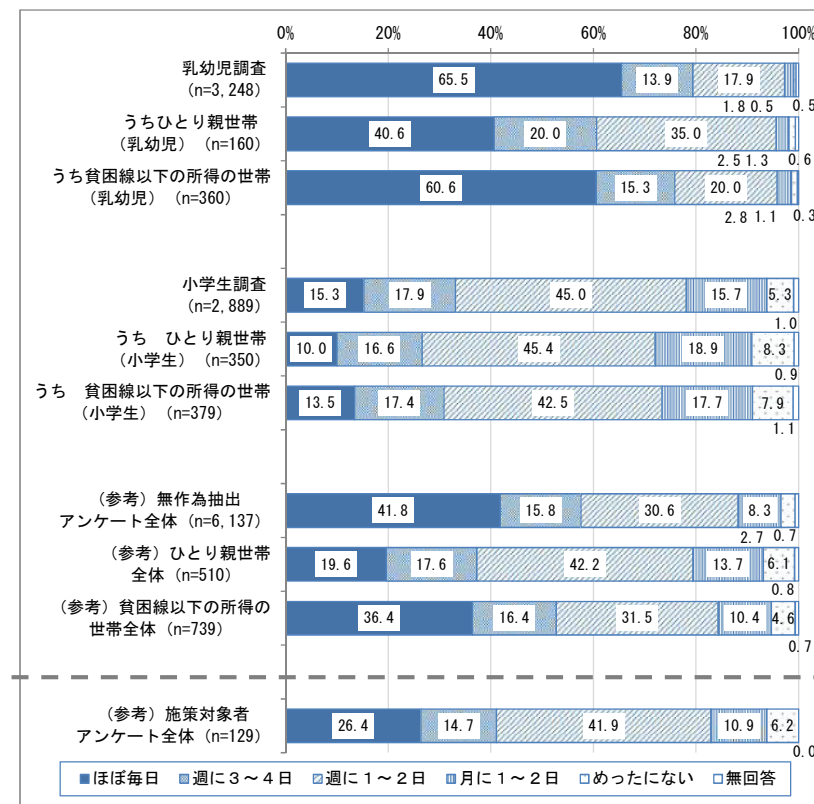
【話す頻度（中高生等）】

- 中高生等の子どもと話す機会については、「ほぼ毎日」が60.6%と最も高くなっています。

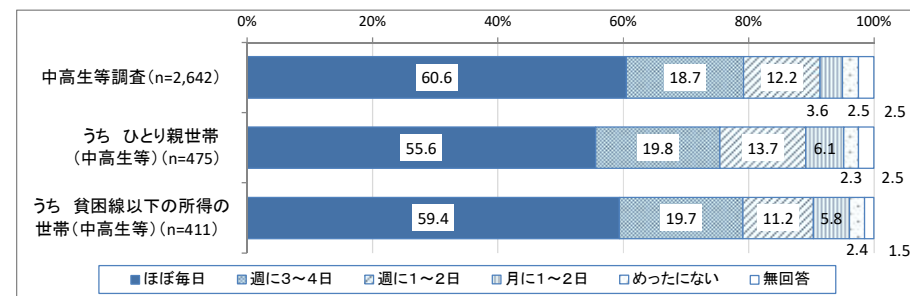
【勉強を教える頻度（小学生・中高生等）】

- 保護者が子どもに勉強を教える頻度については、小学生では「よくある」と「ときどきある」の割合が43.1%、43.2%と高く、中高生等では「あまりない」や「ない」の割合が33.8%、32.9%と高くなっています。
- 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」について、「よくある」の割合が全体と比較して低くなっています。

図表 76 子どもと遊ぶ頻度



図表 77 子どもと話す頻度



図表 78 保護者の就労状況別 子どもとの関わり

(乳幼児、小学生は遊ぶ頻度、中学生等は日常の会話の頻度) (単位: %)

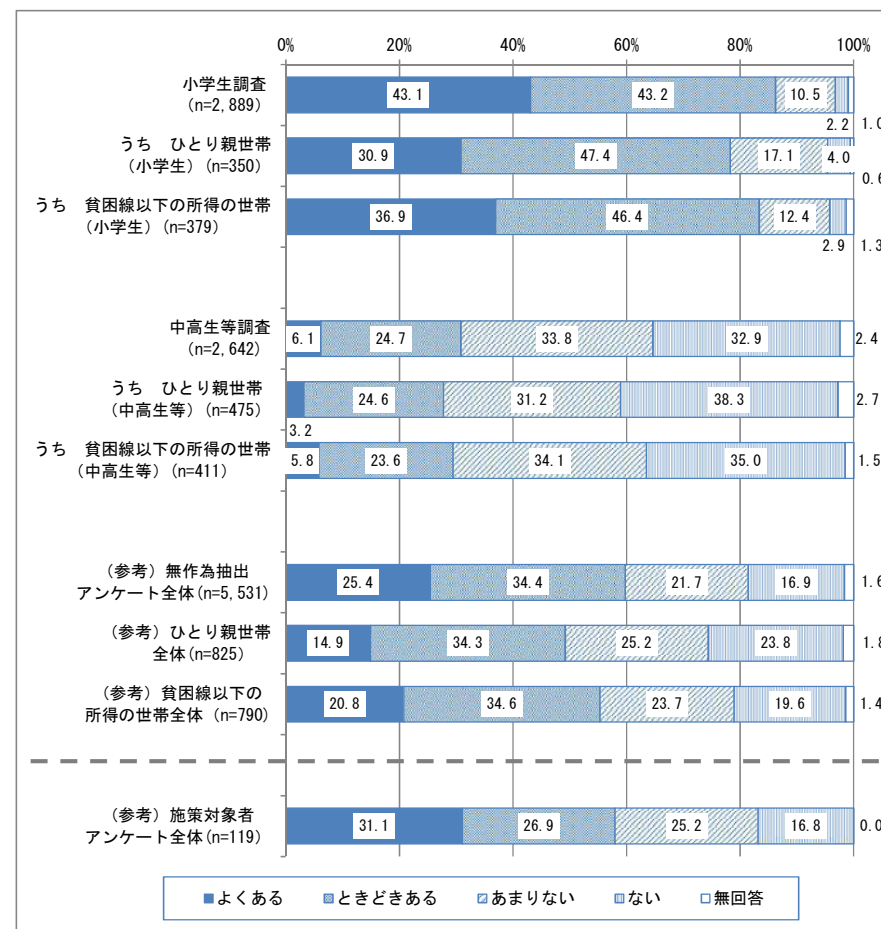
	(n=)	ほぼ毎日	週に 3～4日	週に 1～2日	月1～2日・ めったにない	無回答
乳幼児調査	3,248	65.5	13.9	17.9	2.3	0.5
うち 正社員×正社員	873	60.0	14.2	23.0	2.3	0.5
うち 正社員×パート等	803	60.1	16.6	20.2	2.6	0.5
うち 専業主婦(夫)	1,205	78.7	9.9	9.3	1.8	0.3
うち その他	59	54.2	23.7	20.3	1.7	0.0

小学生調査	2,889	15.3	17.9	45.0	20.9	1.0
うち 正社員×正社員	478	9.6	15.1	54.6	19.9	0.8
うち 正社員×パート等	1,204	13.4	18.5	45.9	21.4	0.7
うち 専業主婦(夫)	701	24.0	20.1	37.1	18.3	0.6
うち その他	69	13.0	11.6	44.9	26.1	4.3

中学生等調査	2,642	60.6	18.7	12.2	6.1	2.5
うち 正社員×正社員	400	56.0	23.0	15.0	4.0	2.0
うち 正社員×パート等	1,127	62.6	18.0	12.1	5.2	2.1
うち 専業主婦(夫)	441	64.4	15.2	10.4	7.9	2.0
うち その他	88	68.2	18.2	6.8	5.7	1.1

※ その他は父母の就労状況が「パート等×パート等」、「無職×無職」の人の合計

図表 79 勉強を教える頻度



(3) 子どもに望む最終学歴，子育てにかかる時間やお金等の優先度

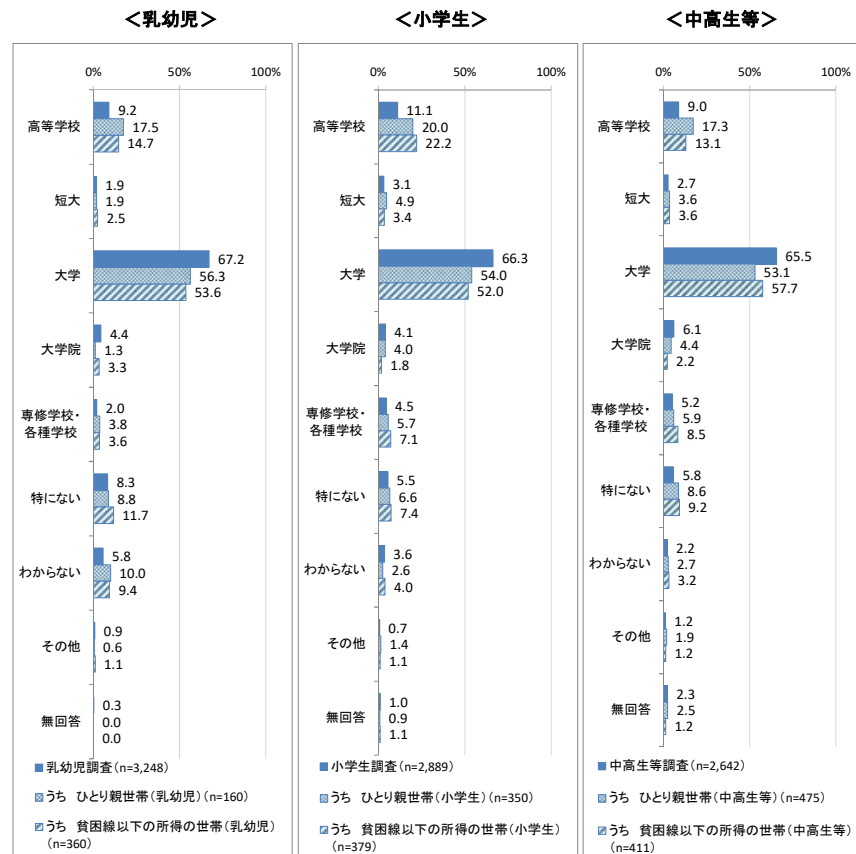
【子どもに望む最終学歴】

- 子どもに望む最終学歴については，乳幼児，小学生，中学生等のいずれも「大学」までを希望する人が半数を超えています。
- 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」について，全体と比較して，「大学」までを希望する割合が低く，「高等学校」までを希望する割合が高くなっています。

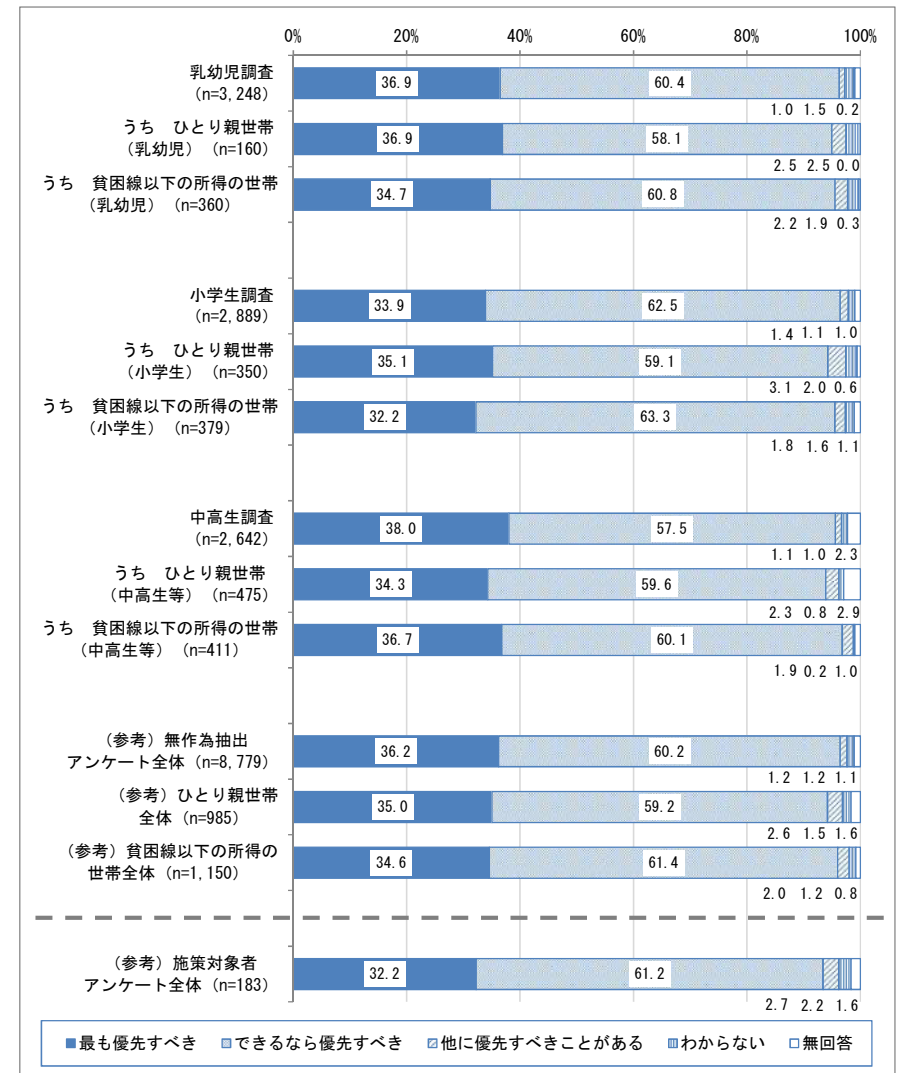
【子育てにかかる時間やお金等の優先度】

- 乳幼児，小学生，中学生等のいずれも「できるなら優先すべき」の割合が最も高く，次いで「最も優先すべき」となっています。
- 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」についても同様の傾向となっています。

図表 80 子どもに望む最終学歴



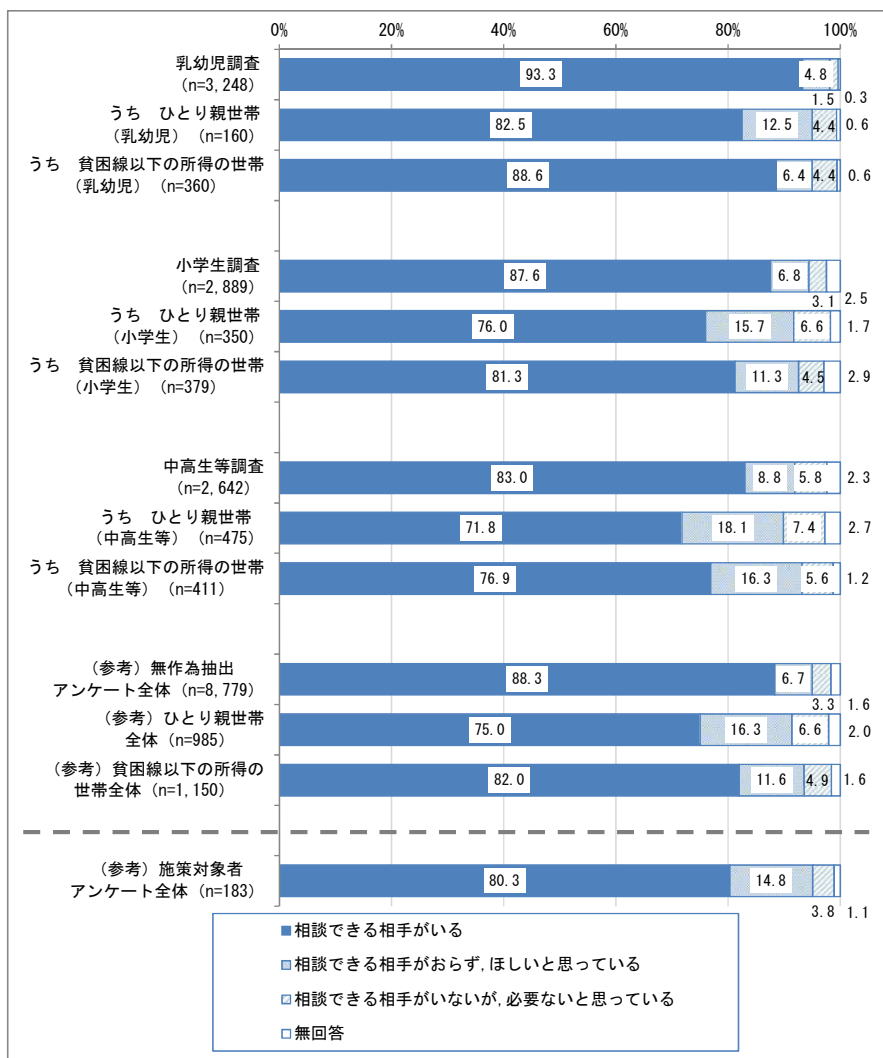
図表 81 子育てにかかる時間やお金等の優先度



(4) 相談相手の状況

- 相談相手の状況については、すべての年齢区分で「相談できる相手がいる」の割合が最も高くなっています。
- 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」について、「相談できる相手がおらず、ほしいと思っている」の割合が全体と比較して高くなっています。

図表 82 相談相手の状況



図表 83 相談相手

(単位: %)

	夫・妻	親・親族	子ども	友人・知人	隣人・地域の 人	幼稚園・保育 園(所)の先生	学校の 先生
乳幼児調査 (n=3,031)	83.9	81.6	3.2	62.0	9.0	24.4	1.6
うち ひとり親世帯 (乳幼児) (n=130)	3.8	83.1	3.8	67.7	2.3	18.9	0.8
うち 貧困線以下の所得の 世帯(乳幼児) (n=319)	63.0	85.0	5.6	60.2	11.6	23.2	2.2
小学生調査 (n=2,530)	74.8	69.3	16.3	66.6	8.6	4.3	14.5
うち ひとり親世帯 (小学生) (n=266)	1.5	72.9	20.7	76.7	6.0	2.3	13.9
うち 貧困線以下の所得の 世帯(小学生) (n=308)	44.5	71.1	21.1	71.1	11.0	4.5	15.3
中学生等調査 (n=2,194)	68.7	55.8	28.8	63.7	6.6	0.5	11.9
うち ひとり親世帯 (中学生等) (n=341)	1.5	64.2	36.7	78.6	4.1	0.3	13.2
うち 貧困線以下の所得の 世帯(中学生等) (n=316)	36.7	59.5	34.8	75.6	5.4	0.3	11.4
(参考) 無作為抽出 アンケート全体 (n=7,755)	76.6	70.3	14.7	63.9	8.2	11.1	8.7
(参考) ひとり親世帯全体 (n=737)	1.9	70.5	25.0	75.8	4.5	4.3	11.2
(参考) 貧困線以下の所得 の世帯全体 (n=943)	48.1	71.9	20.5	68.9	9.3	9.4	9.5
(参考) 施策対象者 アンケート全体 (n=147)	2.7	69.4	18.4	76.9	6.1	15.6	10.9

	カウンセラー などの専門家	民生委員・ 児童委員	公的な 相談機関	民間団体や ボランティア	その他	無回答
乳幼児調査 (n=3,031)	1.3	1.1	1.8	0.5	1.5	0.2
うち ひとり親世帯(乳幼児) (n=130)	0.8	0.8	2.3	0.0	3.8	0.0
うち 貧困線以下の所得の 世帯(乳幼児) (n=319)	1.3	1.6	1.9	0.3	2.2	0.0
小学生調査 (n=2,530)	2.9	0.3	1.7	0.3	1.7	0.1
うち ひとり親世帯(小学生) (n=266)	3.4	0.8	3.8	0.0	4.5	0.4
うち 貧困線以下の所得の 世帯(小学生) (n=308)	2.9	0.3	2.6	0.3	1.0	0.0
中学生等調査 (n=2,194)	2.9	0.1	1.8	0.6	1.5	0.1
うち ひとり親世帯 (中学生等) (n=341)	6.7	0.0	3.8	0.9	2.1	0.0
うち 貧困線以下の所得の 世帯(中学生等) (n=316)	4.7	0.3	2.5	1.3	2.2	0.0
(参考) 無作為抽出 アンケート全体 (n=7,755)	2.3	0.6	1.8	0.5	1.6	0.1
(参考) ひとり親世帯全体 (n=737)	4.5	0.4	3.5	0.4	3.2	0.1
(参考) 貧困線以下の所得 の世帯全体 (n=943)	3.0	0.7	2.3	0.6	1.8	0.0
(参考) 施策対象者 アンケート全体 (n=147)	4.1	1.4	4.8	0.0	2.7	0.0

(5) 悩んでいること

【子育てに関する悩み】

- 子育てに関する悩みについて、乳幼児では「子どもの教育費」(46.6%),「子どもに対するしつけや教育への自信」(34.1%),小学生、中学生等では「子どもの教育費」(小学生 53.9%, 中学生等 57.8%),「子どもの進学や受験」(小学生 45.7%, 中学生等 55.9%)に関して悩んでいることが多くなっています。
- 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」において、全体と比較して悩んでいる項目に大きな違いはありませんが、「子どもの教育費」,「子どもの進学や受験」,「子どもに十分な食事や栄養を与えられていない」,「イライラして子どもに厳しく接してしまう」に関して、「悩んでいる+どちらかという悩んでいる」の割合が全体と比較して高くなっています。

【子どもに関する悩み】

- 乳幼児では「子どもに基本的な生活習慣(あいさつ, 規則正しい食生活, 整理・整頓など)が身についていない」(16.6%),「子どもの発育や病気」(16.2%),小学生、中学生等では「子どもに基本的な生活習慣(あいさつ, 規則正しい食生活, 整理・整頓など)が身についていない」(小学生 27.9%, 中学生等 23.9%),「子どもが勉強しない」(小学生 26.4%, 中学生等 32.8%),「子どものテレビやゲーム, スマートフォンの使用時間が長い」(小学生 30.1%, 中学生等 43.0%)に関して悩んでいることが多くなっています。
- 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」において、全体と比較して悩んでいる項目に大きな違いはありませんが、全体と比較して「悩んでいる+どちらかという悩んでいる」の割合が高くなっています。

図表 84 子育てに関する悩み(悩んでいる, どちらかという悩んでいるの合計の割合) (単位: %)

	子どもに対するしつけや教育に自信がもてない	子どもに対するしつけや教育について、相談する相手がない	夫・妻が子育てにあまり協力してくれない	夫・妻と子育てのことで意見が合わない	子どもの進学や受験のことが心配である	子どもの就職のことが心配である	子どもの教育費のことが心配である	子どもに十分な食事や栄養を与えることができていない	イライラして子どもに厳しく接してしまう
乳幼児調査(n=3,248)	34.1	8.3	13.2	12.8	27.3	19.2	46.6	9.6	31.9
うち ひとり親世帯(乳幼児)(n=160)	41.3	18.1	7.5	8.8	40.0	28.1	66.3	19.4	46.9
うち 貧困線以下の所得の世帯(乳幼児)(n=360)	36.9	12.2	17.2	16.9	32.5	23.9	63.6	14.2	38.1
小学生調査(n=2,889)	36.3	10.7	11.8	14.1	45.7	34.3	53.9	6.4	35.1
うち ひとり親世帯(小学生)(n=350)	42.9	22.3	7.4	7.4	56.0	44.3	71.4	14.3	41.1
うち 貧困線以下の所得の世帯(小学生)(n=379)	42.7	17.4	12.4	16.6	55.4	43.0	73.4	15.3	38.5
中学生等調査(n=2,642)	28.1	11.3	12.2	14.5	55.9	49.0	57.8	8.2	18.3
うち ひとり親世帯(中学生等)(n=475)	35.8	20.2	7.2	6.3	64.2	57.9	74.5	19.8	26.7
うち 貧困線以下の所得の世帯(中学生等)(n=411)	33.3	17.8	11.2	12.7	68.1	58.6	82.2	15.8	24.8
(参考)無作為抽出アンケート全体(n=8,779)	33.0	10.0	12.4	13.7	42.0	33.1	52.4	8.1	28.8
(参考)ひとり親世帯全体(n=985)	39.2	20.6	7.3	7.1	57.4	48.2	72.1	17.8	35.1
(参考)貧困線以下の所得の世帯全体(n=1,150)	37.6	15.9	13.5	15.3	52.8	42.6	73.5	15.1	33.5
(参考)施策対象者アンケート全体(n=183)	38.8	17.5	9.3	9.3	54.6	44.8	76.5	16.9	37.2

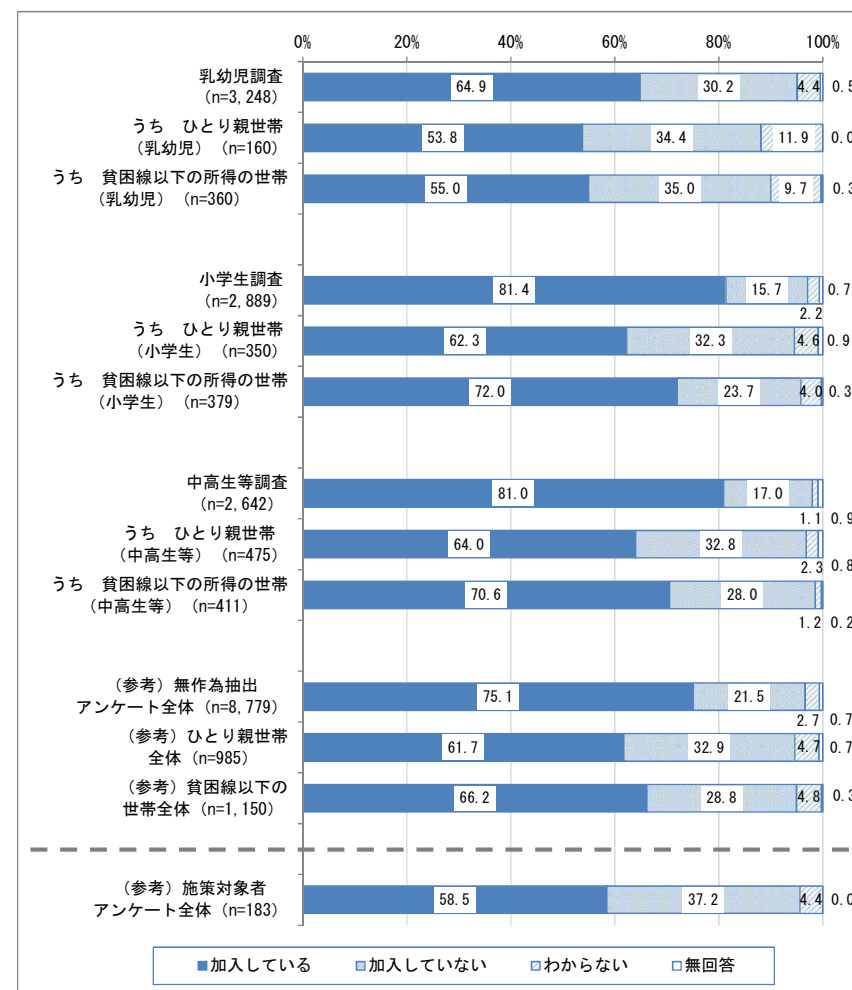
図表 85 子どもに関する悩み(悩んでいる、どちらかというと悩んでいるの合計の割合) (単位: %)

	子どもの基本的な生活習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理・整頓など)が身につけていない	子どもが勉強しない	子どもが反抗的で、なかなか言うことをきかない	子どもが何事に対しても消極的である	子どもが良好な友人関係を築けない	子どもの発育や病気が心配である	子どもの非行や問題行動が心配である	子どもが学校や幼稚園、保育園(所)等に行かない(行き渋る)ことが心配である	子どものテレビやゲーム、スマートフォンの使用時間が長い
乳幼児調査(n=3,248)	16.6	4.8	16.1	7.3	6.0	16.2	5.8	4.2	15.8
うち ひとり親世帯(乳幼児)(n=160)	21.3	10.0	26.3	10.6	8.8	21.3	16.9	8.1	20.0
うち 貧困線以下の所得の世帯(乳幼児)(n=360)	18.1	7.5	23.3	9.4	7.2	17.5	10.6	7.5	17.2
小学生調査(n=2,889)	27.9	26.4	21.6	17.1	12.8	14.1	8.4	3.7	30.1
うち ひとり親世帯(小学生)(n=350)	34.9	31.7	26.0	21.4	19.1	18.6	18.0	7.4	33.1
うち 貧困線以下の所得の世帯(小学生)(n=379)	29.8	32.5	25.9	21.4	17.2	16.9	14.2	6.1	37.7
中高生等調査(n=2,642)	23.9	32.8	19.4	18.8	10.1	11.0	5.4	4.0	43.0
うち ひとり親世帯(中高生等)(n=475)	28.8	37.9	25.7	21.3	12.2	15.8	10.5	7.4	44.6
うち 貧困線以下の所得の世帯(中高生等)(n=411)	28.2	37.5	24.3	18.2	12.9	13.1	8.5	4.9	45.0
(参考)無作為抽出アンケート全体(n=8,779)	22.5	20.3	18.9	14.0	9.5	13.9	6.5	4.0	28.7
(参考)ひとり親世帯全体(n=985)	29.7	31.2	25.9	19.6	14.1	17.7	14.2	7.5	36.5
(参考)貧困線以下の所得の世帯全体(n=1,150)	25.6	26.4	24.5	16.5	12.5	15.7	11.0	6.1	33.9
(参考)施策対象者アンケート(n=183)	22.4	24.0	26.2	18.0	18.6	19.7	15.3	9.8	25.7

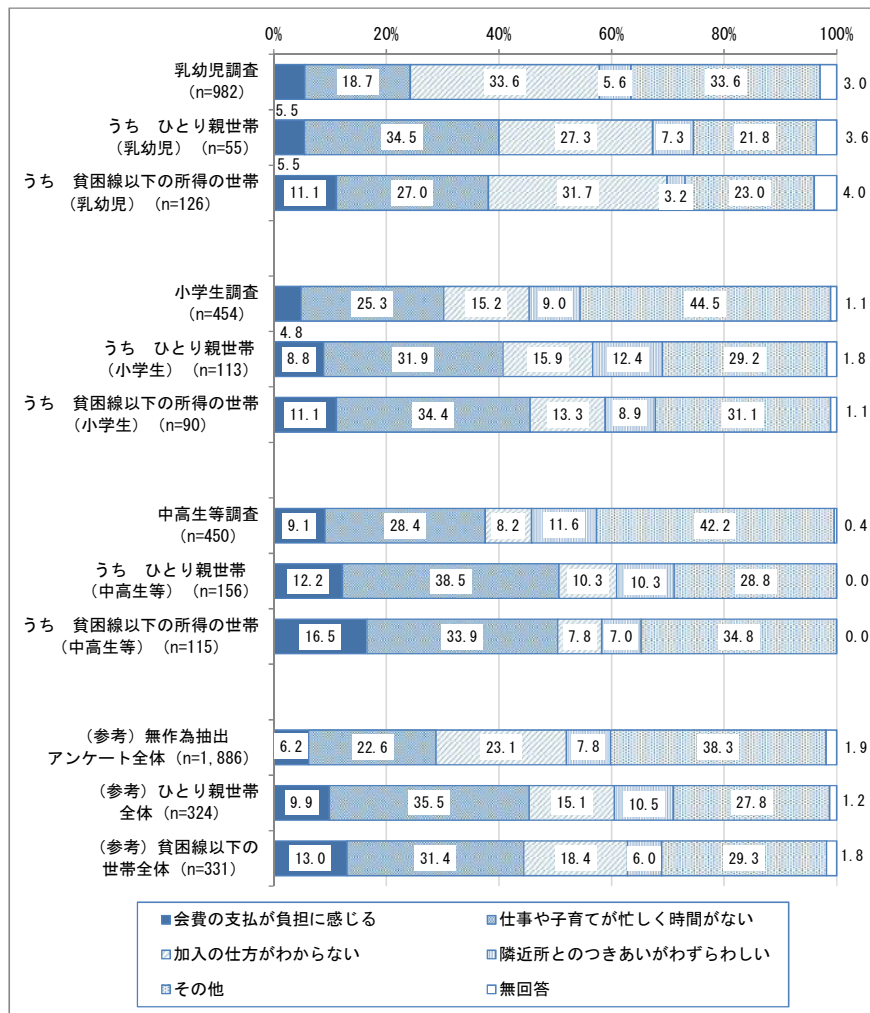
(6) 町内会への加入状況

- 町内会への加入状況については、「加入している」の割合が小学生 81.4%、中高生等 81.0%と、80%以上が加入している状況となっている一方で、乳幼児は 64.9%と小学生や中高生等と比較して「加入している」の割合が低くなっています。
- 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」について、「加入している」の割合が全体と比較して低くなっており、加入していない理由は、「会費の支払が負担に感じる」、「仕事や子育てが忙しく時間がない」の割合が全体と比較して高くなっています。

図表 86 町内会への加入状況



図表 87 町内会に加入していない理由



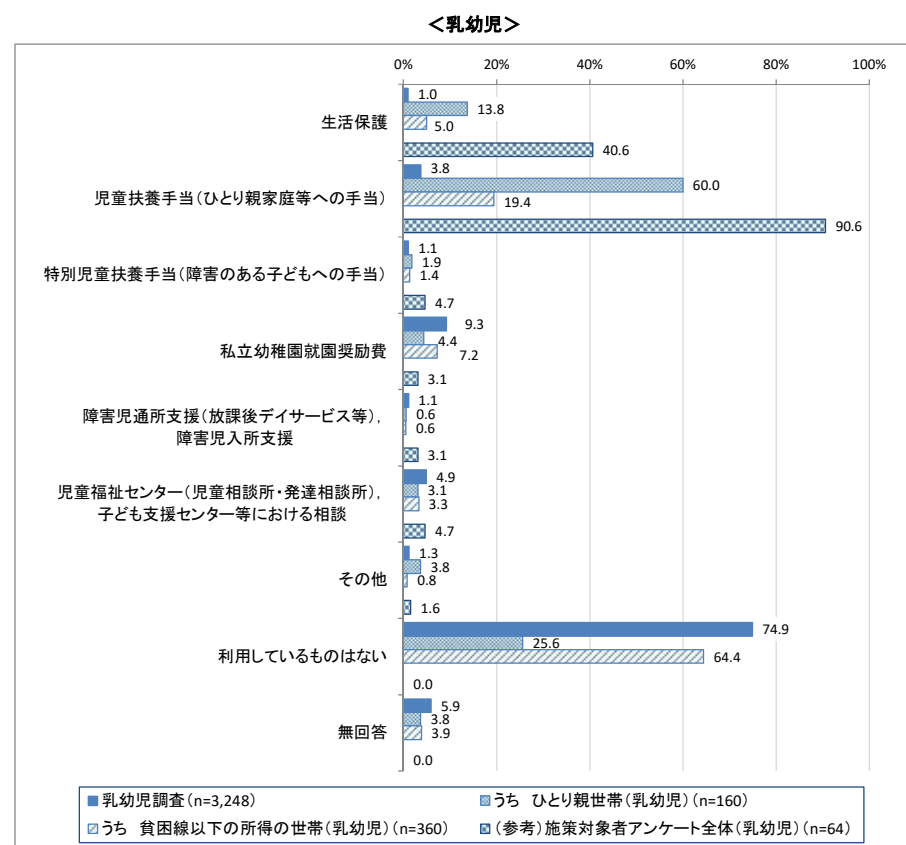
※ 施策対象者については、標本数が少ないため、掲載していない。

5 支援策について

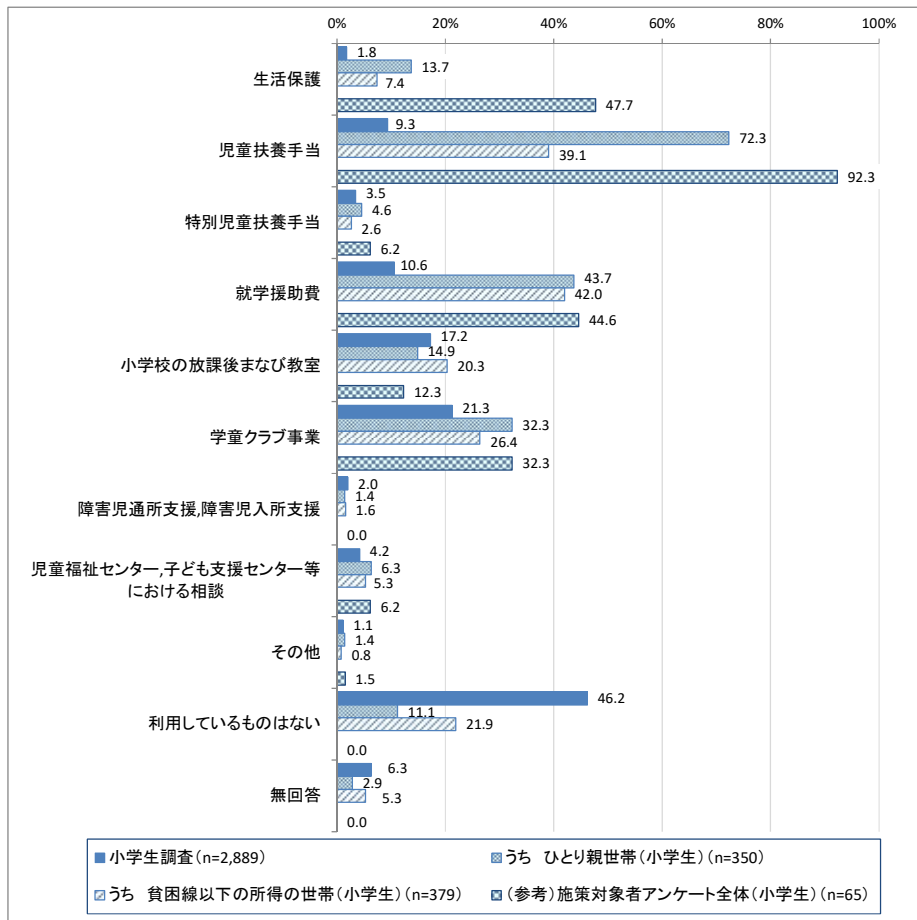
(1) 各種支援策の利用状況

- 各種支援策の利用状況については、「利用しているものはない」の割合が乳幼児 74.9%、小学生 46.2%、中高生等 54.0%と最も高くなっています。
- 「ひとり親世帯」では「児童扶養手当」の利用が多く、また、全体と比較すると、すべての年齢区分で「生活保護」（乳幼児 13.8%、小学生 13.7%、中高生等 15.6%）、小学校では「就学援助費」（43.7%）や「学童クラブ事業」（32.3%）、中高生等では「就学援助費」（35.2%）や「高校進学就学支援金（22.1%）」の割合が高くなっています。
- 「貧困線以下の所得の世帯」について、乳幼児では「利用しているものはない」の割合が 64.4%と最も高くなっていますが、小学生、中高生等においては「ひとり親世帯」とおおむね同じ傾向になっています。

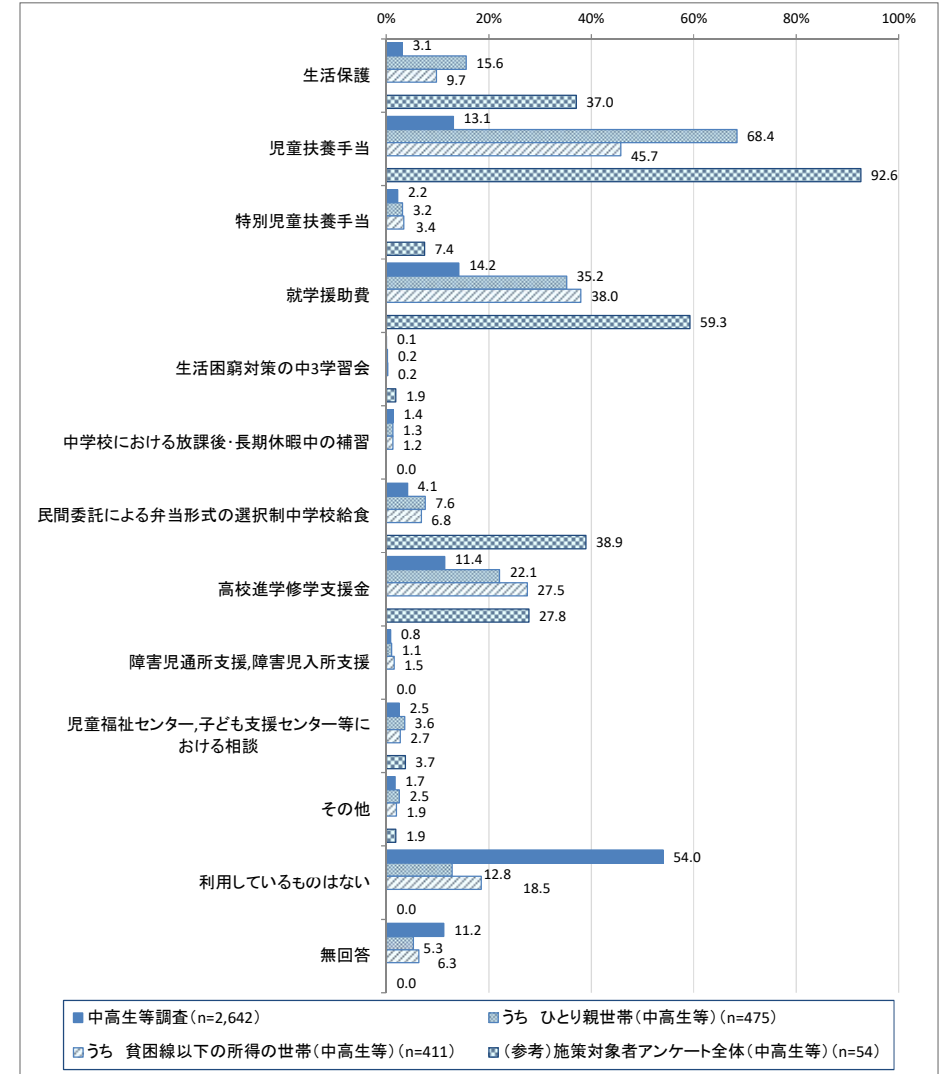
図表 88 各種支援策の利用状況



<小学生>



<中高生等>



(2) 求めている子育て支援策

- 求めている子育て支援策については、乳幼児では「保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供」(45.9%)、「生活や就学のための経済的補助」(43.0%)、「自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供」(40.9%)、小学生では「生活や就学のための経済的補助」(40.8%)、「自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供」(34.8%)、「保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供」(28.8%)、中高生等では「生活や就学のための経済的補助」(46.2%)、「会社などでの職場体験等の機会」(21.3%)、「仕事に就けるようにするための就労に関する支援」(19.7%)の割合が高くなっており、年齢区分によって求める支援策に違いがあります。
- 「ひとり親世帯」や「貧困線以下の所得の世帯」では、上記のほか、「低い家賃で住める住居の確保」の割合が高くなっています。

図表 89 求めている子育て支援策

(単位: %)

	子どもを預かる場やサービスの提供	保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供	低い家賃で住める住居の確保	生活や就学のための経済的補助	進路や生活などについてなんでも相談できるようなところ	仲間と出会う、一緒に活動できるようなところ	多様な活動機会の提供	自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供	地域における子どもの居場所の提供	読み書き計算などの基礎的な学習への支援	会社などでの職場体験等の機会	仕事に就けるようにするための就労に関する支援	望ましい食生活を育むための環境整備	その他	特になし	わからない	無回答
乳幼児調査 (n=3,248)	45.9	14.1	43.0	8.4	24.8	40.9	30.2	12.7	5.4	7.0	6.0	5.8	3.3	1.5	1.6		
うち ひとり親世帯(乳幼児) (n=160)	39.4	38.8	56.3	10.6	16.3	23.1	19.4	21.9	1.9	6.9	3.8	6.9	3.1	1.9	1.3		
うち 貧困線以下の所得の世帯(乳幼児) (n=360)	40.0	36.1	60.8	6.9	14.4	29.2	21.9	15.6	4.4	8.9	6.7	4.4	1.9	1.4	1.4		
小学生調査 (n=2,889)	28.8	9.0	40.8	12.3	26.7	34.8	24.5	15.4	14.3	9.6	3.2	4.1	5.2	1.6	1.6		
うち ひとり親世帯(小学生) (n=350)	26.6	35.1	59.7	11.1	16.3	25.4	16.6	15.7	8.6	10.6	3.4	4.0	3.1	2.3	1.4		
うち 貧困線以下の所得の世帯(小学生) (n=379)	23.5	26.6	64.1	11.9	17.4	24.0	21.6	17.9	9.5	10.8	4.5	1.8	4.5	0.8	0.3		
中高生等調査 (n=2,642)	4.7	10.7	46.2	18.0	16.7	10.3	5.6	4.7	21.3	19.7	3.9	4.6	14.0	2.8	3.2		
うち ひとり親世帯(中高生等) (n=475)	5.7	33.1	63.6	16.6	13.9	7.4	4.6	6.5	13.9	20.4	6.9	4.0	7.6	3.2	3.6		
うち 貧困線以下の所得の世帯(中高生等) (n=411)	4.9	28.7	66.9	18.7	12.2	4.9	4.4	8.8	16.8	22.6	5.1	4.6	6.1	2.9	1.0		
(参考)無作為抽出アンケート全体 (n=8,779)	27.9	11.4	43.3	12.6	23.0	29.7	20.9	11.2	13.1	11.7	4.4	4.9	7.2	1.9	2.1		
(参考)ひとり親世帯 (n=985)	18.6	34.7	61.0	13.7	15.1	16.3	11.3	12.3	10.1	14.7	5.2	4.5	5.3	2.6	2.4		
(参考)貧困線以下の所得の世帯 (n=1,150)	22.0	30.3	64.1	12.8	14.6	18.8	15.6	13.9	10.5	14.4	5.4	3.7	4.3	1.7	0.9		
(参考)施策対象者アンケート全体 (n=183)	19.1	42.6	59.6	11.5	12.0	15.3	16.4	18.6	6.0	10.9	8.2	4.4	4.4	1.6	2.7		

<参考資料>

・ お住まいの行政区

(単位: %)

	北区	上京区	左京区	中京区	東山区	山科区	下京区	南区
乳幼児調査 (n=3,248)	6.9	4.9	11.8	8.3	2.2	8.8	6.3	7.5
小学生調査 (n=2,889)	8.5	6.0	11.3	7.3	1.7	8.7	4.9	6.5
中高生等調査 (n=2,642)	8.2	4.9	11.1	7.1	1.7	8.4	4.2	6.2

(参考)無作為抽出 アンケート全体 (n=8,779)	7.8	5.2	11.4	7.6	1.9	8.6	5.2	6.7
-----------------------------------	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----

(参考)施策対象者 アンケート全体 (n=183)	5.5	4.4	7.7	6.0	3.8	13.7	6.6	8.2
---------------------------------	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	-----

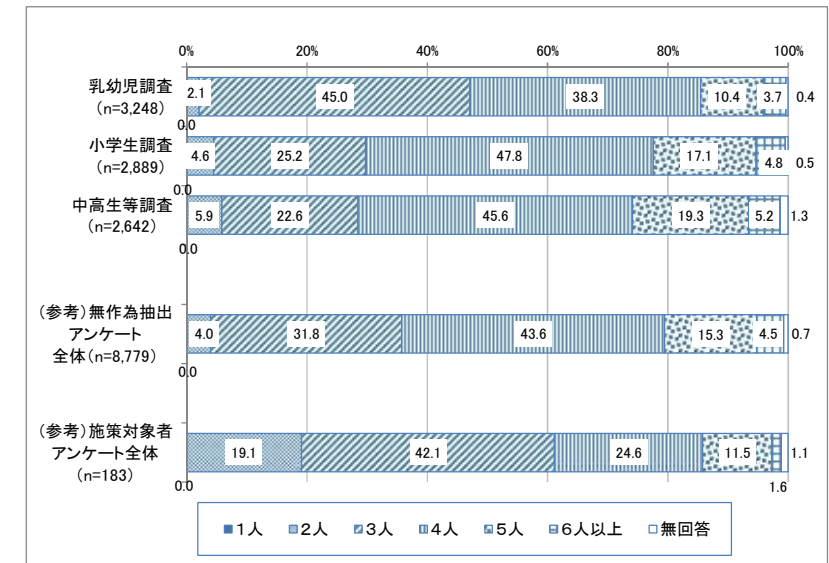
	右京区 (京北地域 を除く)	右京区 (京北地域)	西京区 (洛西支所 管内を除く)	西京区 (洛西支所 管内)	伏見区 (深草・醍醐 支所管内を 除く)	伏見区 (深草支所 管内)	伏見区 (醍醐支所 管内)	無回答
乳幼児調査 (n=3,248)	13.7	0.3	8.6	3.4	10.0	4.8	2.6	0.1
小学生調査 (n=2,889)	13.3	0.7	7.7	3.7	10.8	4.7	3.7	0.5
中高生等調査 (n=2,642)	13.1	0.6	7.9	5.6	11.6	5.0	3.7	0.8

(参考)無作為抽出 アンケート全体 (n=8,779)	13.4	0.5	8.1	4.1	10.8	4.8	3.3	0.5
-----------------------------------	------	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----

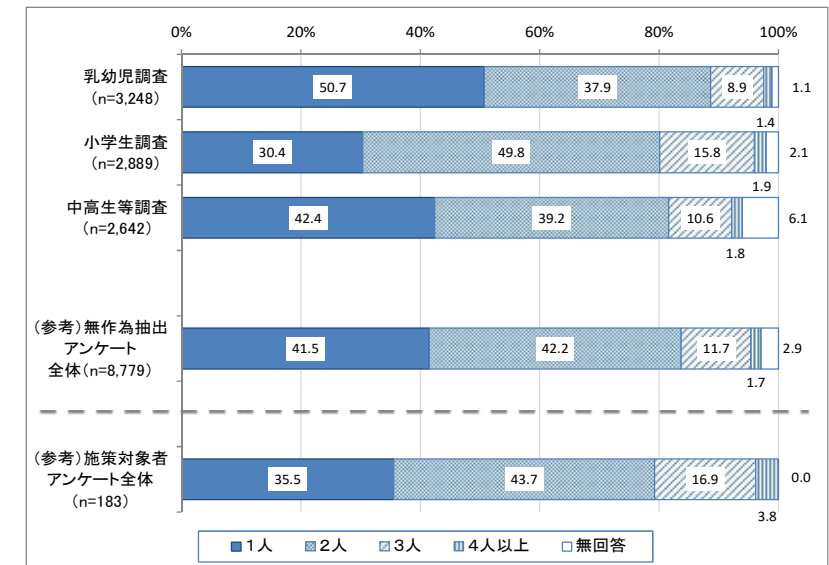
(参考)施策対象者 アンケート全体 (n=183)	10.4	1.1	3.8	4.4	15.3	4.9	3.3	1.1
---------------------------------	------	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----

・ 世帯員の人数及び世帯員のうち18歳までの子どもの数

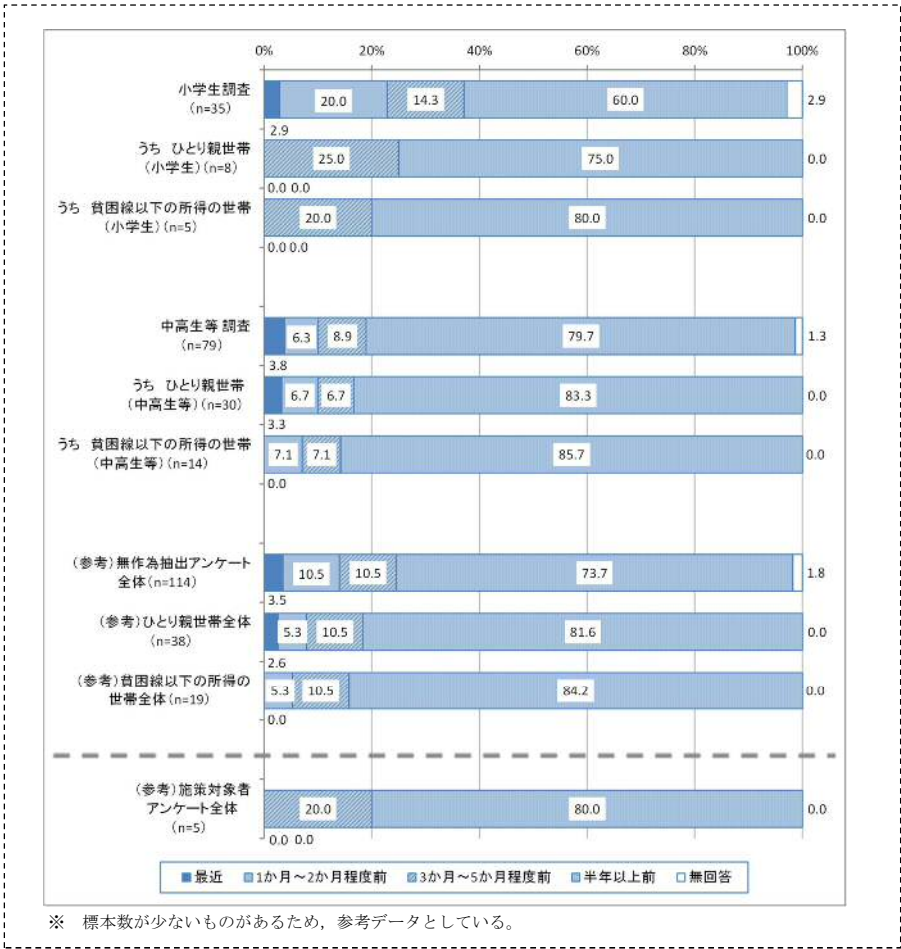
<世帯員の人数>



<世帯員のうち、18歳までの子どもの数>



・ 登校状況について、「学校を休みがちである」と回答された方の休みがちになった時期



・ 夕食をつくる頻度について、「月に数日（休日など）」又は「ほとんどつくらない」と回答された方の最も多い食事の内容

(単位: %)								
	外食	購入するお惣菜・弁当	スーパーやコンビニ等で食品	インスタント・レトルト	お菓子	親戚・知人がつくった料理	わからない	その他
乳幼児調査 (n=52)	11.5	3.8	7.7	0.0	42.3	0.0	23.1	11.5
うち ひとり親世帯 (乳幼児) (n=9)	22.2	11.1	0.0	0.0	55.6	0.0	0.0	11.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (乳幼児) (n=7)	14.3	0.0	14.3	0.0	57.1	0.0	14.3	0.0
小学生調査 (n=53)	1.9	9.4	5.7	0.0	67.9	0.0	5.7	9.4
うち ひとり親世帯 (小学生) (n=21)	4.8	4.8	0.0	0.0	81.0	0.0	4.8	4.8
うち 貧困線以下の所得の世帯 (小学生) (n=12)	0.0	16.7	8.3	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0
中高生等調査 (n=86)	3.5	20.9	8.1	1.2	31.4	2.3	19.8	12.8
うち ひとり親世帯 (中高生等) (n=37)	0.0	16.2	10.8	0.0	43.2	2.7	21.6	5.4
うち 貧困線以下の所得の世帯 (中高生等) (n=21)	0.0	38.1	4.8	4.8	33.3	4.8	9.5	4.8
(参考)無作為抽出アンケート全体 (n=191)	5.2	13.1	7.3	0.5	44.5	1.0	16.8	11.5
(参考)ひとり親世帯全体 (n=67)	4.5	11.9	6.0	0.0	56.7	1.5	13.4	6.0
(参考)貧困線以下の所得の世帯全体 (n=40)	2.5	25.0	7.5	2.5	50.0	2.5	7.5	2.5
(参考)施策対象者アンケート全体 (n=7)	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	42.9	14.3

※ 標本数が少ないものがあるため、参考データとしている。

- 保護者の就労状況について、「今は働いていないがそのうち働きたい」と回答された方の仕事をしていない理由

＜父親＞

(単位: %)

	収入について条件のあう仕事がない	時間について条件のあう仕事がない	年齢制限のため仕事がない	仕事に必要な専門知識や資格がない	子どもの保育の手だてがない	子どもの健康等の問題	自身の健康等の問題	家族の介護	今は子育てに専念したい	仕事の探し方がわからない	その他	無回答
乳幼児調査 (n=21)	9.5	14.3	0.0	4.8	4.8	0.0	19.0	0.0	14.3	4.8	33.3	14.3
うち ひとり親世帯 (乳幼児) (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち 貧困線以下の所得の世帯 (乳幼児) (n=8)	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5	62.5	0.0

小学生調査 (n=19)	10.5	15.8	5.3	5.3	15.8	5.3	26.3	10.5	31.6	5.3	15.8	0.0
うち ひとり親世帯 (小学生) (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (小学生) (n=7)	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	42.9	0.0	28.6	0.0

中高生等調査 (n=9)	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	55.6	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1
うち ひとり親世帯 (中高生等) (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち 貧困線以下の所得の世帯 (中高生等) (n=4)	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(参考)無作為抽出 アンケート全体 (n=49)	10.2	16.3	4.1	6.1	10.2	2.0	28.6	6.1	18.4	4.1	22.4	8.2
(参考)ひとり親世帯 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
(参考)貧困線以下の所得の世帯 (n=19)	10.5	15.8	5.3	5.3	5.3	0.0	36.8	0.0	15.8	5.3	36.8	0.0

(参考)施策対象者 アンケート全体(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
---------------------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----	-----	-----	-----

※ 標本数が少ないものがあるため、参考データとしている。

＜母親＞

(単位: %)

	収入について条件のあう仕事がない	時間について条件のあう仕事がない	年齢制限のため仕事がない	仕事に必要な専門知識や資格がない	子どもの保育の手だてがない	子どもの健康等の問題	自身の健康等の問題	家族の介護	今は子育てに専念したい	仕事の探し方がわからない	その他	無回答
乳幼児調査 (n=1,012)	2.4	22.3	1.4	3.8	26.9	1.5	3.6	1.0	69.1	1.8	4.8	3.3
うち ひとり親世帯 (乳幼児) (n=20)	10.0	30.0	0.0	15.0	10.0	5.0	25.0	5.0	20.0	10.0	15.0	10.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (乳幼児) (n=86)	1.2	26.7	0.0	7.0	25.6	2.3	7.0	1.2	59.3	1.2	2.3	7.0

小学生調査 (n=517)	3.9	42.0	5.8	7.7	18.4	3.9	10.1	4.4	61.3	1.7	4.3	0.4
うち ひとり親世帯 (小学生) (n=21)	9.5	19.0	14.3	9.5	0.0	4.8	42.9	0.0	23.8	4.8	9.5	0.0
うち 貧困線以下の所得の世帯 (小学生) (n=41)	2.4	36.6	4.9	9.8	9.8	7.3	17.1	7.3	48.8	0.0	0.0	0.0

中高生等調査 (n=276)	6.9	38.0	15.2	8.7	2.9	6.2	21.4	15.6	36.6	2.5	9.1	1.8
うち ひとり親世帯 (中高生等) (n=32)	3.1	15.6	12.5	12.5	0.0	3.1	43.8	21.9	18.8	0.0	15.6	3.1
うち 貧困線以下の所得の世帯 (中高生等) (n=46)	8.7	21.7	13.0	10.9	0.0	10.9	37.0	23.9	21.7	0.0	17.4	2.2

(参考)無作為抽出 アンケート全体 (n=1,805)	3.5	30.4	4.8	5.7	20.8	2.9	8.1	4.2	61.9	1.9	5.3	2.2
(参考)ひとり親世帯 (n=73)	9.8	24.4	7.3	12.2	4.9	4.9	34.1	2.4	22.0	7.3	12.2	4.9
(参考)貧困線以下の所得の世帯 (n=173)	3.5	27.7	4.6	8.7	15.0	5.8	17.3	8.7	46.8	0.6	5.8	4.0

(参考)施策対象者 アンケート全体 (n=17)	5.9	41.2	5.9	29.4	5.9	5.9	52.9	5.9	5.9	0.0	17.6	0.0
--------------------------------	-----	------	-----	------	-----	-----	------	-----	-----	-----	------	-----

※ 標本数が少ないものがあるため、参考データとしている。

・ 市民アンケート調査における自由記載欄の回答内容について

いただいた御意見について、類似する項目ごとに分類したところ、下表のような結果であった。

(自由記載欄の意見内容集計)

項 目	意見数	主な意見
保育・幼稚園関連	477	保育所の箇所増，預かり保育の充実 など
教育・子どもの居場所関連	1,264	学力保障にむけた学校での取組の充実，放課後・長期休業中の子どもの居場所の確保 など
経済的負担の軽減関連	1,769	保育料，学費等の軽減 など
就労環境関連	219	働きながら子育てしやすい雇用環境の実現 など
子育て環境の整備関連	483	子どもの遊び場の確保 など
病気・障害関連	134	病気や障害のある子ども等への更なる支援 など
その他	1,228	
合 計	5,574	

※ 1人の方が多岐の分野において意見を記載されている場合は，各意見ごとにカウントしている。